

パブリックアートの時代へ

同じ は 違う。

プロフィール

BIRD-KISS がめざす世界

BIRD-KISS メソッド

BIRD-KISS = 「同じは、違う。」

21世紀を生きる子供たちのために

パーソナルアートの時代へ

BIRD-KISS x ステーション

BIRD-KISS x 空間

BIRD-KISS x クラスメイト

BIRD-KISS x 地球

BIRD-KISS x WHO?

BIRD-KISS x CRAB

BIRD-KISS x ネッピー

BIRD-KISS x ありがとう

BIRD-KISS x いきいき君

BIRD-KISS x ING-01

BIRD-KISS x ING-02

BIRD・HPとWEB美術館

BIRDぬり絵&おりがみシート

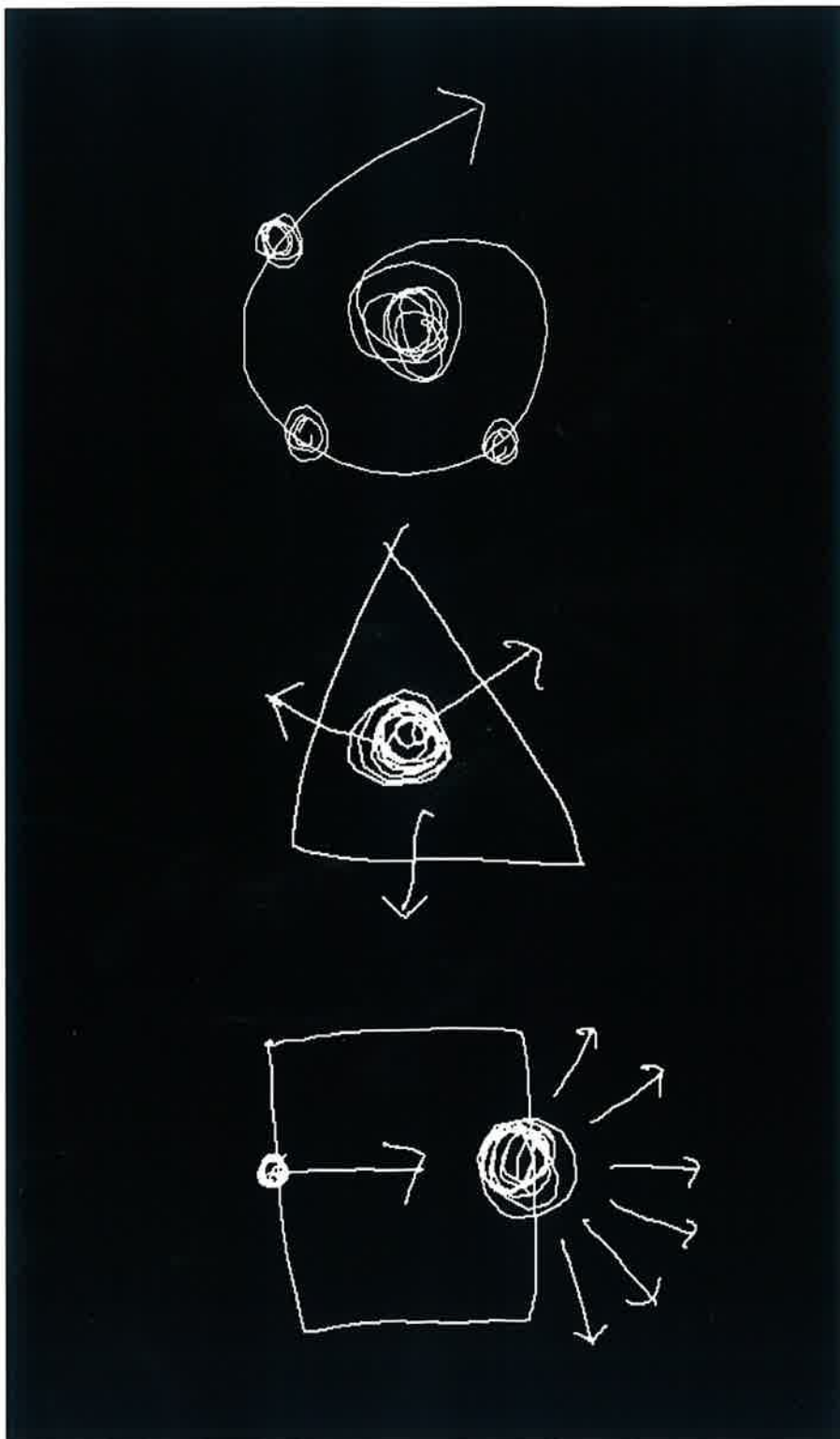
BIRD-KISSコンセプトメッセージ

アートボトラックレポート

IN・CON (株)

セルフエデュケーション・ワード24

仕事の考え方(1)~(3)仕事の範囲



Kazumi Otake

「プロフィール」



大塚 一省 Kazumi Otake

**IN・COM株式会社
代表取締役社長
アーティスト・アートディレクター。**

株式会社リクルートに28年間勤務。メディア制作局エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクターとして、主に高等教育機関の部門を担当。学生募集の広報プラン、UI（ユニバーサル・アイデンティティ）、SI（スクール・アイデンティティ）、VI（ビジュアル・アイデンティティ）などブランディング広報戦略など、幅広く携わる。その一方で「アナログとデジタルの関係」をテーマにしたアート活動によるプロジェクトを行う。

2003年に独立し、現在の事務所を設立。リクルート時代の経験をいかした広報活動に加え、オリジナルメソッド「BIRD-KISS」を活用した大学や企業や行政などの組織活性化、インナーブランディングを手掛ける。また、子どもたちのアート活動「ぬり絵やらくがきを通して、多様性の中で光る自分への気づき、セルフエスティーム（Self-Esteem）を高めるワークショップ」を積極的に展開。那須高原にあるBIRDステーションという情報発信基地を世界の子どもたちとのハブ機能として常設。他にもBIRD美術館を併設しワークショップを開催。最近ではBIRDウェブ美術館と題した参加型ワークショップを実験的にオープン。

●BIRD-KISSコミュニケーションアートメソッド；気づいたターゲットと深いところでコミュニケーションできるのがアートの良さ。アートとは、「あっ、こんな世界知らなかった！」という、なにかニンマリとした喜び、未知の世界を頭だけでなく、五感で感じるすることができるもの。それをきっかけに自分を見つめることのできるアート。そんなメソッドをつねに考えてゆきたい。

●JAGDA日本グラフィックデザイン協会会員

●日経主催デジタルパブリッシンググランプリで「BIRD」が大賞を受賞



**BIRD-KISS
/HP**



**BIRD-KISS
/FB**

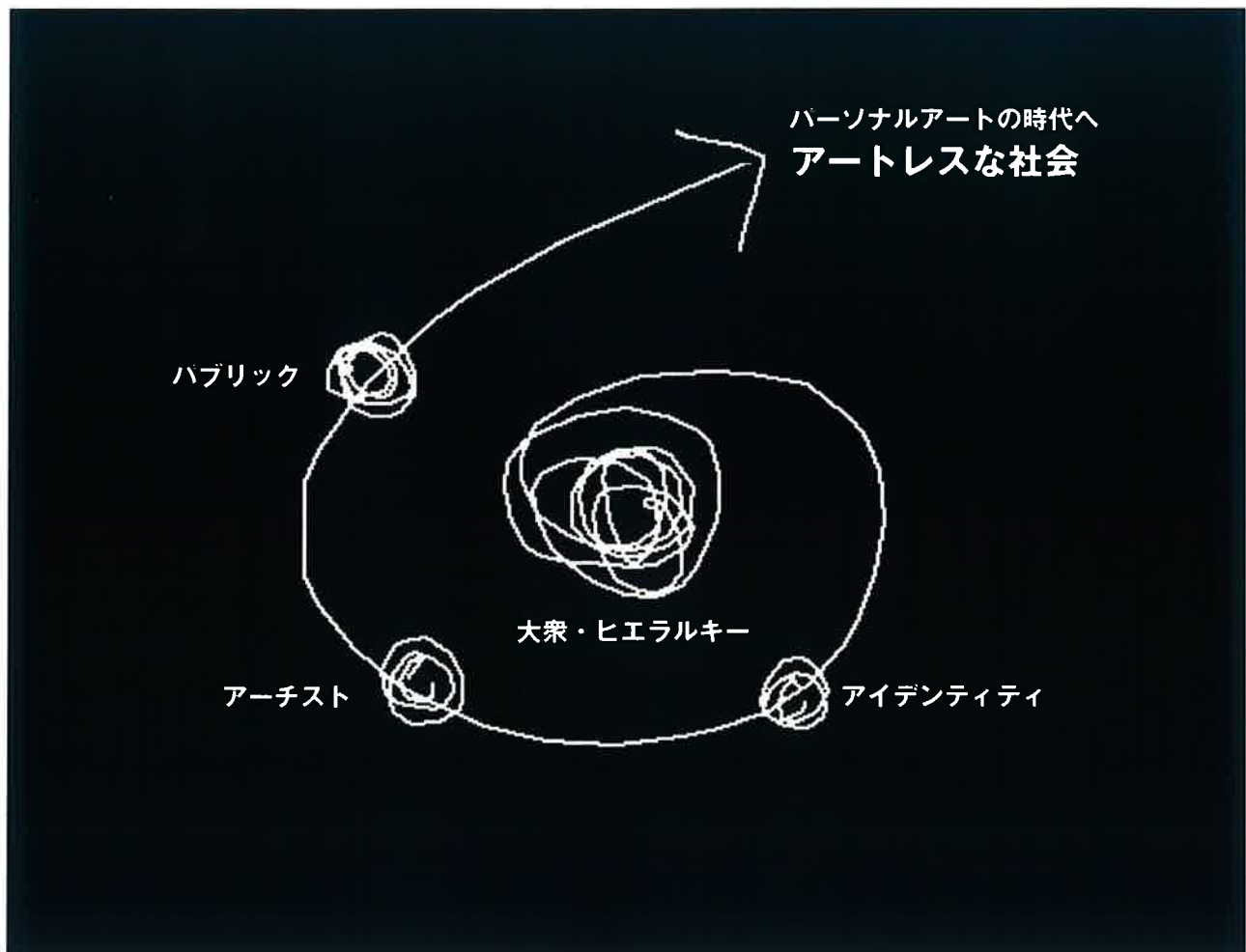


**BIRD-KISS
/美術館**

BIRD-KISSがめざす世界

もともと誰もが持って生まれた存在価値を取り戻し、フラットなヒエラルキーのために自分自身をリセットする。そのきっかけづくりとなる試みがBIRD-KISSの役割です。自分を大切にし、自分を愛することが、地球愛へのスタートだと思います。そして自己愛から他者愛へ。さらには、大きなネットワーク（パブリック）となって、地球規模の愛へと広がっていく。

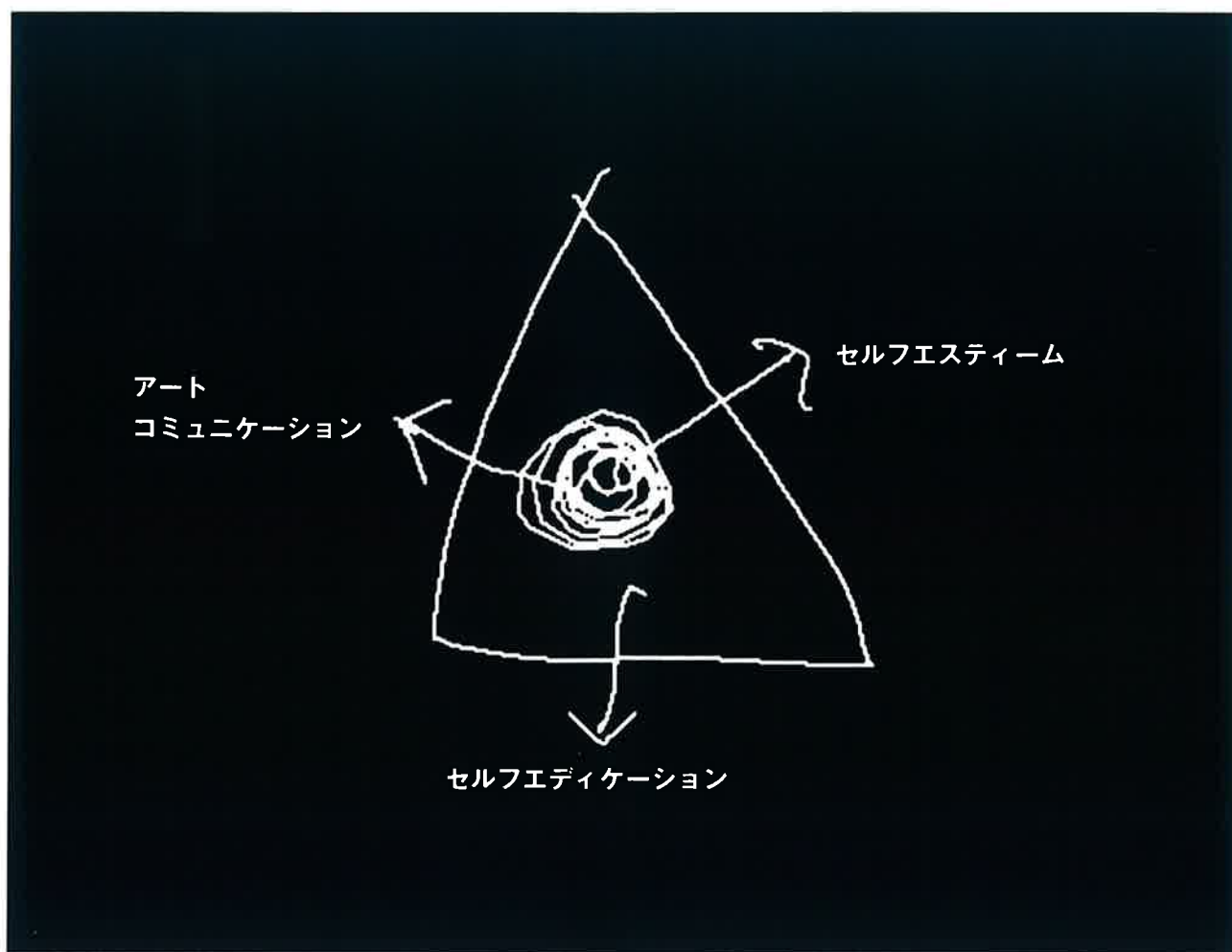
BIRD-KISSは、アートコミュニケーションを用いたメソッドを通してアートからの気づきによる文化的社会の形成をめざしています。アートレスな社会とは、人々が高次の意識と感情を持ち、作品なしでコミュニケーションすること。1人ひとりの人生そのものがパーソナル・ライフ・アートと呼べるような輝きをもった作品に変わっていく。それが巡ってゆく社会が、きっと地球を救うことにつながってゆくんだと信じています。



Kazumi Otake

BIRD-KISSメソッド

アートからの気づきによる文化的社会の形成をめざすために、3つの考え方が大切です。その3つとは、自己肯定感を形成する「セルフエスティーム」、自己発見や自己認知を深めるための自立学習である「セルフエデュケーション」、作品が人々のために役立ち、公的=パブリックなものへと昇華していく「アートコミュニケーション」。この3つの軸でアートによる問題解決を図るのがBIRD-KISSメソッドなのです。「ぬり絵」、「貼り絵」、「折り紙」、「らくがき」など、子供の感性で取り組め、自己投影しやすいシンプルな表現を通して、誰もがオリジナリティを大切にし、自らの作家性を発揮し、素直な自己表現を可能にする。そんなパーソナルアートの時代を構築するための、BIRD-KISSメソッドです。

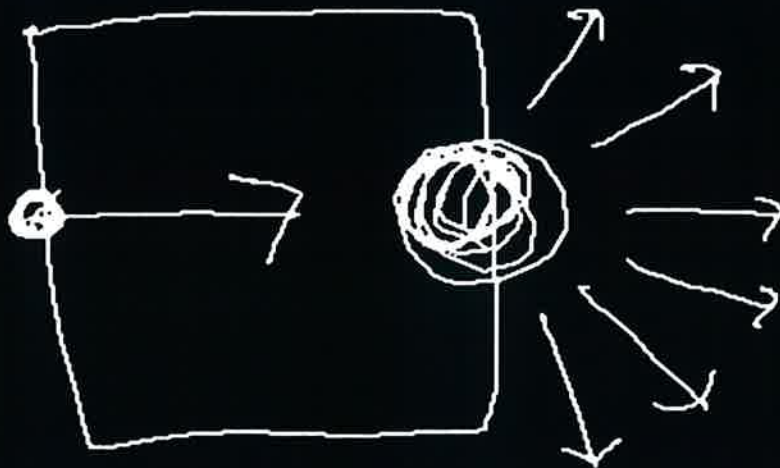


Kazumi Otake

BIRD-KISS=「同じは、違う。」

一見、魚のようにも見える「鳥」たち。愛娘の一葉（当時6歳）とコンピュータを前にして、電子ペンをタブレットの上で動かして遊んでいるうちに、「鳥」たちはついに、100点を超えてしまった。気づいたら「くちばし」「両目」「足」という3つのアイテムさえあれば「鳥」でいいというルールによって「鳥-BIRD」たちはどんどん鳥らしさから離れて自由な生き物として僕の頭の中に定着した。振り返ると、それが自分の創作活動にはなくてはならないスタイルが出来上がった瞬間であった。まったくもって一葉のおかげである。一つの共通したフォームをベースに、どこまで自由に羽ばたくことができるのか？そこから自分自身を考えていく。「同じは違う」という発見からパーソナルアートな時代を考えていきたい。

一つの共通したフォームをベースに、どこまで自由に羽ばたくことができるのか？
そこから自分自身を考えていく。



Kazumi Otake

21世紀を生きる子供たちのためのBIRD-KISS

IT時代の21世紀は、まさにデジタルの時代です。ITの波は好むと好まざるとに関係なく僕たちそして子供たちの生活になだれこんでいる。そんな時代に「優しさ」「暖かさ」「思いやり」「感動」といったいわばアナログなことがデジタルに変換されたときその思いは、どれだけ失わずに伝えられるのだろうか？ 創作活動の周辺をみてもデジタルツールやソフトが高度になったことで誰もが表現者になれる反面、作り手も表面的にしか理解できなくなってしまうかもしれない。また21世紀は共生の時代でもある。共生の時代とは、地球のあらゆる生き物と共に生きること。21世紀を担ってゆく子供たちには、優しさ、暖かさ、そして感動することの大切さを自分なりの方法で伝えていきたいと思う。

ぼくが生み出す作品はメディアである。

僕のビジュアルづくりの特徴は、まず、ひとつのモチーフで、数多くのバリエーションを創作することです。「BIRD」に代表されるように、ある共通のイメージを意識しながらも、ひとつひとつのビジュアルが、表情豊かでそして個性的である事を大切に100点単位で創作しています。また線画をベースに作画し、ぬり絵の手法で制作しているので、ご覧いただいた方にも同じように、好きな色をぬっていただくBIRDワークショップも開催。新たにオリジナルなビジュアルが、100点、150点、200点とどんどん生み出されていく。こうしてひとりひとりが創ったBIRDたちは新しい生を受け、飛び立ちます。単に制作した人とそれを眺めるだけの人という関係ではなく、BIRDを通じて、よりあたたかいつながりを持ちたい。同じメッセンジャーとしての「輪」をいっぱい広げていければいいなと思います。



Kazumi Otake

パーソナルアートの時代へ

雨が降れば降ったほうがいい。

晴れたら晴れたほうがいい。

あなたがすてきだと思っていることを、

すてきと楽しさのエンジンで回して生きていきましょう。

1人ひとりの自己表現をアートに変えながら、

あなた自身の人生をキャンパスとした

アーティストとして自分の人生を彩っていきませんか。

1人ひとりの人生そのものが、

パーソナル・ライフ・アートと呼べるような輝きをもった作品に変わっていく。

人生におけるすべての活動を

自己表現の一環として捉えていけるようなセンスを持っていれば、

社会との関わりもアート活動となり、

それが運っていく社会は

パーソナル・アーティストの躍動するアーティスト空間になります。



フラットなヒエラルキー

BIRDなのに飛べないし。

BIRDなのにクチバシは黄色くないし。

でもね。

**飛ぶからBIRDって誰が決めたの？
クチバシが黄色いのがBIRDだって
誰が決めたの？**

その誰さんってね。

実はワタシかも。



アイデンティティーズ

あえて水の中を飛ぶことにしたBIRD。
あえて飛ぶより早く走ることにしたBIRD。

BIRDだから。
BIRDのくせに。
BIRDらしく生きなきゃって。

誰が言ったの？
誰が決めたの？

その誰さんってね。

実はワタシかも。



セルフエドケーション

葉っぱみたいなBIRD。

金魚みたいなBIRD。

ピアノみたいなBIRD。

みんなの知ってるBIRDだけど

みんなの知らないBIRD。

BIRDがBIRDとKISSすると

新しいBIRDが生まれる。

その新しいBIRDが、きっとワタシ。

ワタシBIRDを見つけてみませんか？



パーソナル描命 (カクメイ) の時代へ

セルフアートとは、自分じゃないものからの脱出への手がかり。

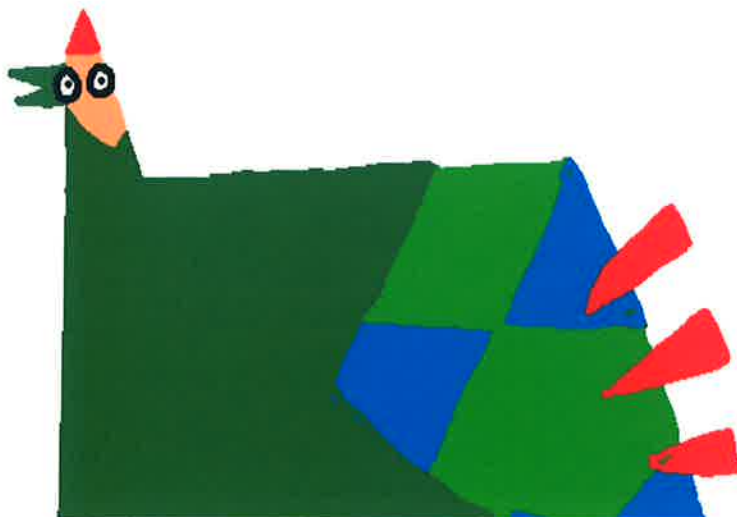
そしてオープンパブリックへ～

アートがパブリック化し、文化創造社会を形成してゆく。

たった1人のわたしから、たった1人のあなたへ～

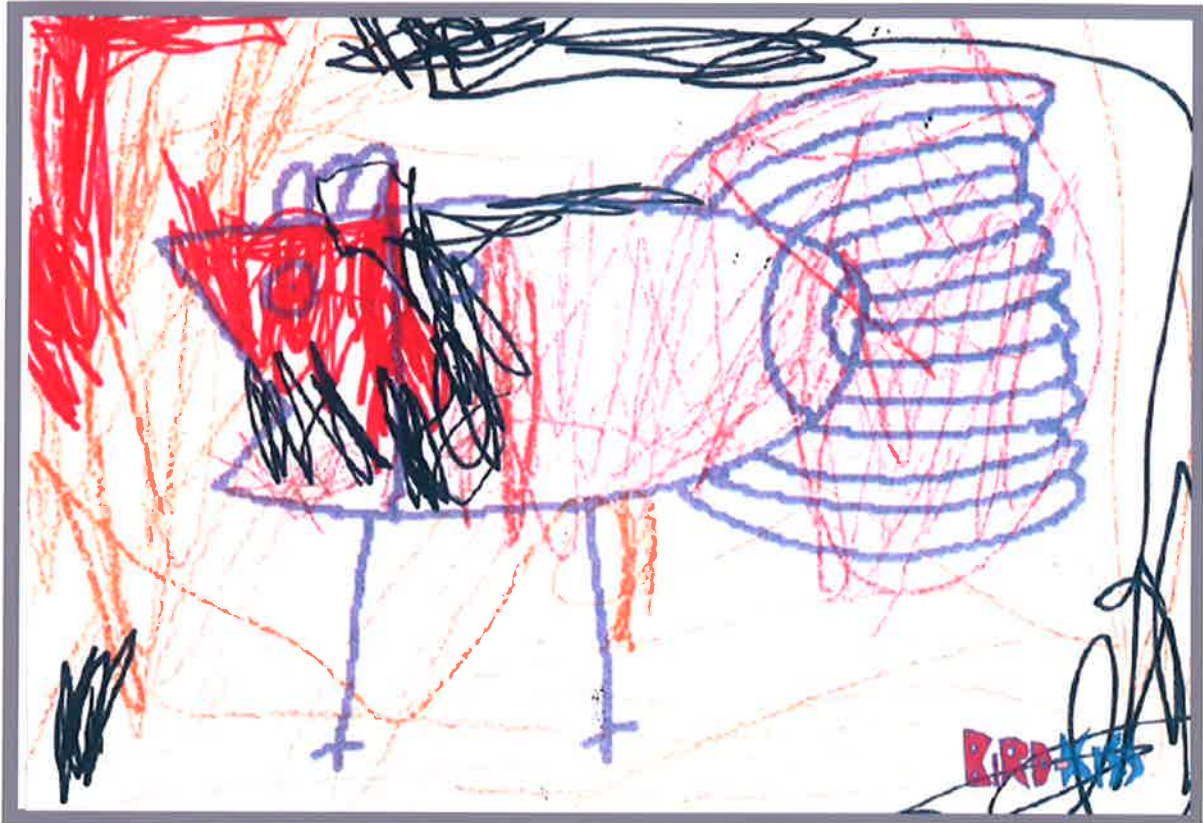
個人～家族～市民～地球人までを巻き込んだアートへ～

みんながアーティストになった社会へ～

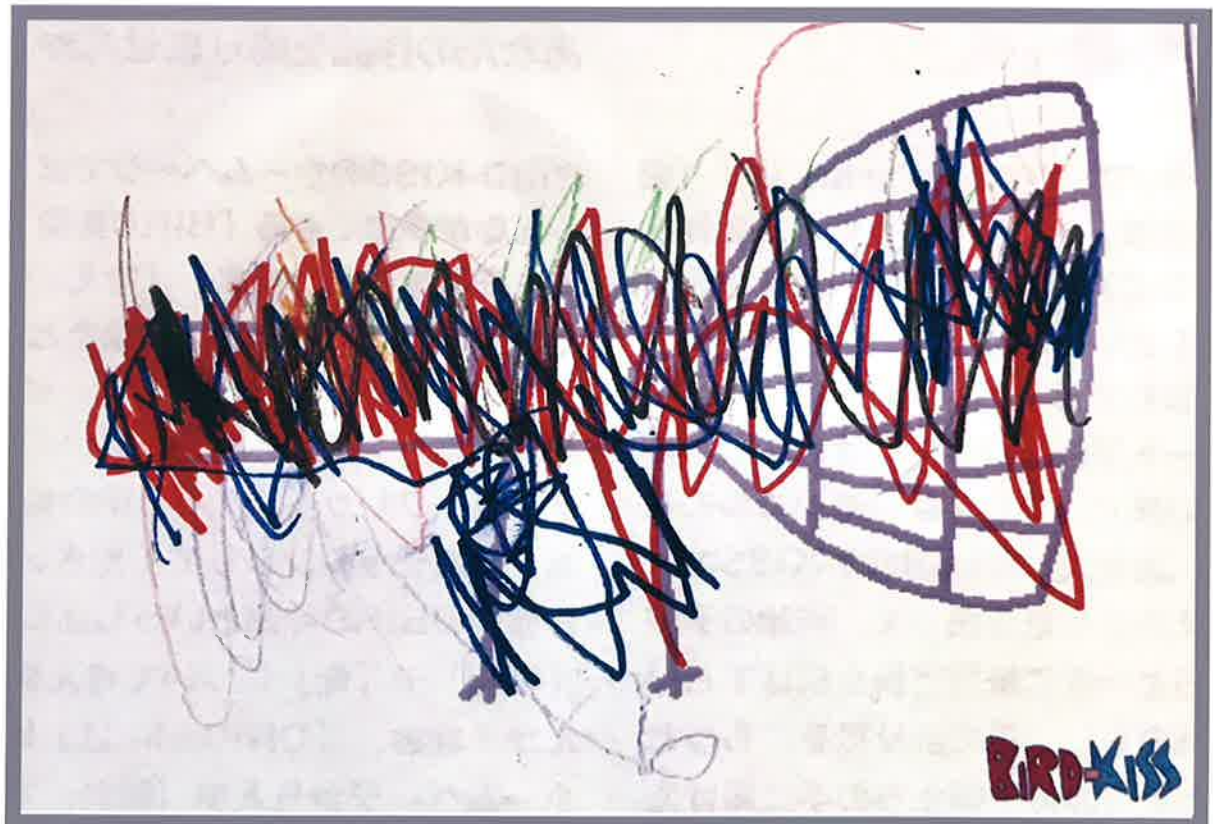


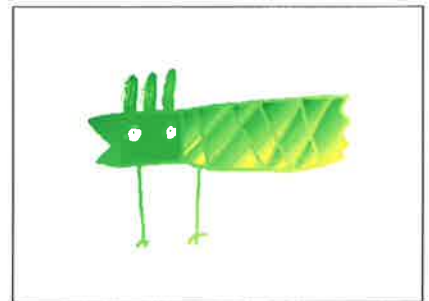
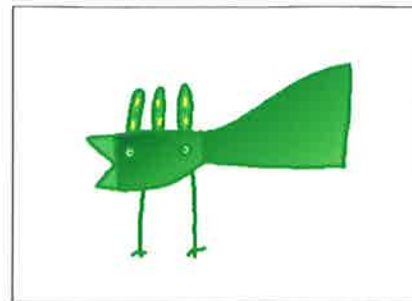
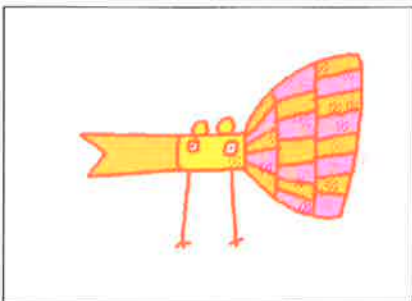
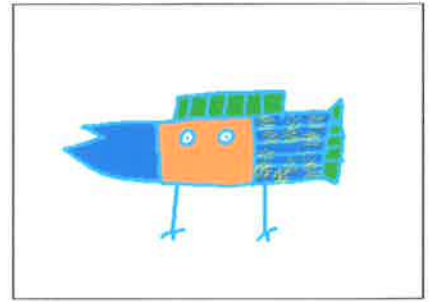
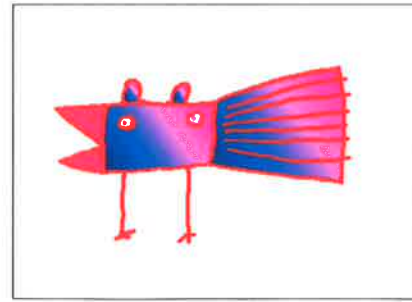
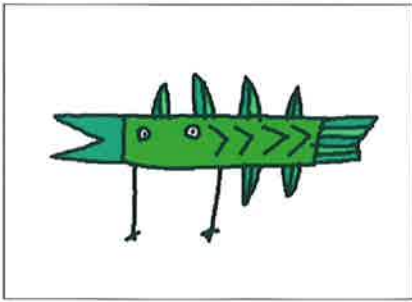
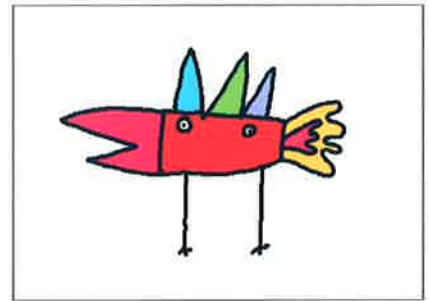
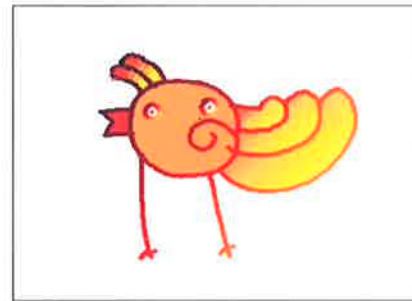
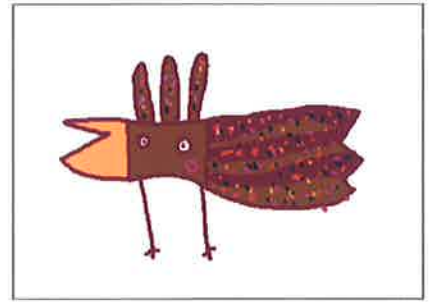
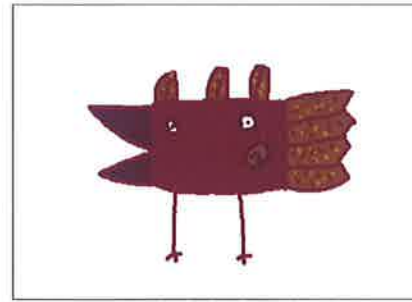
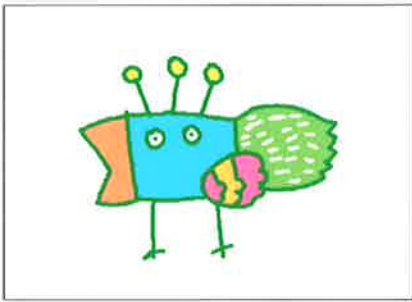
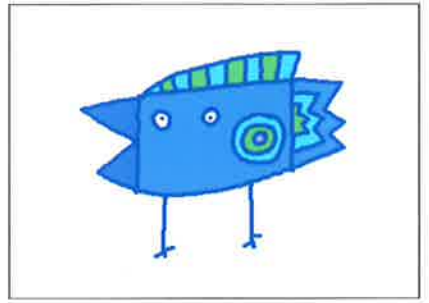
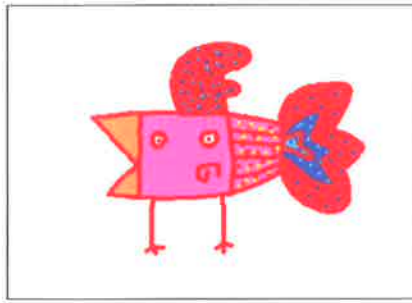
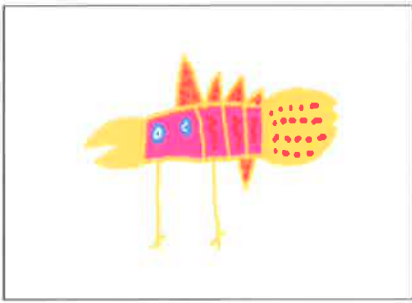
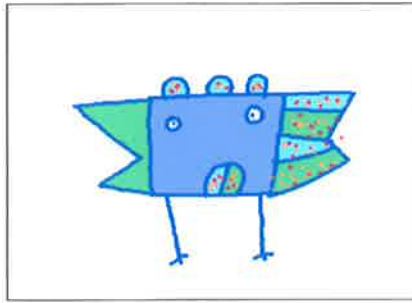
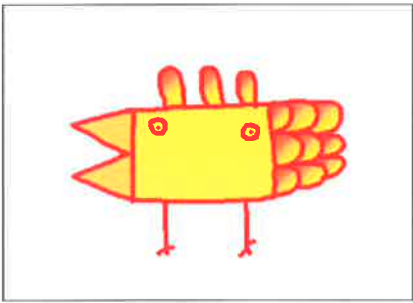
100のBIRDが自由に広がってゆく瞬間。

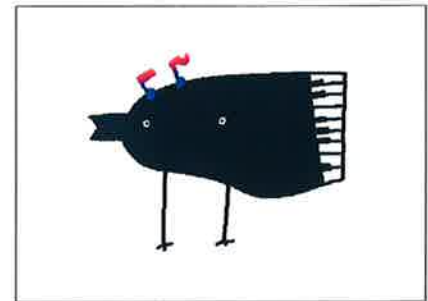
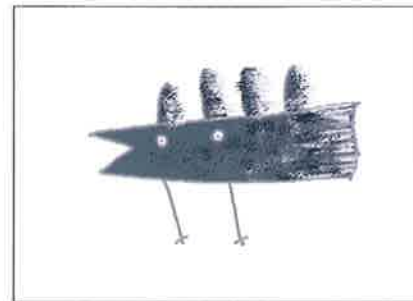
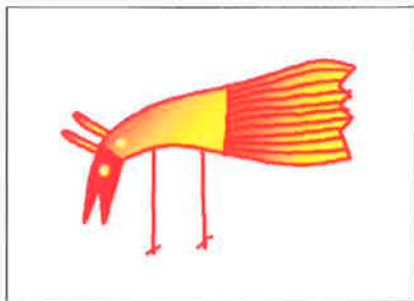
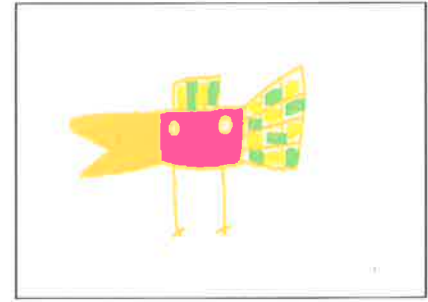
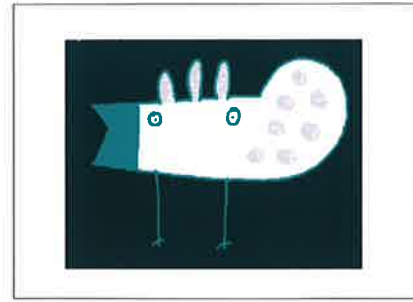
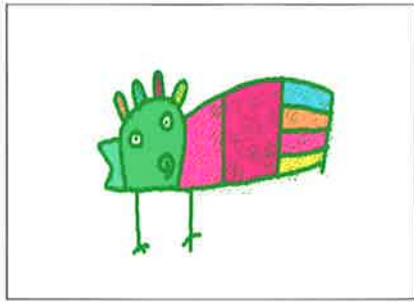
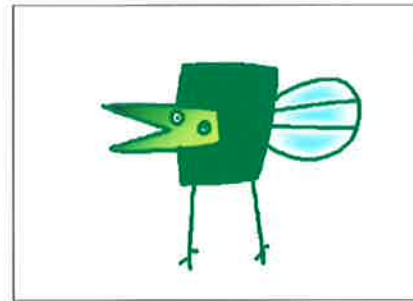
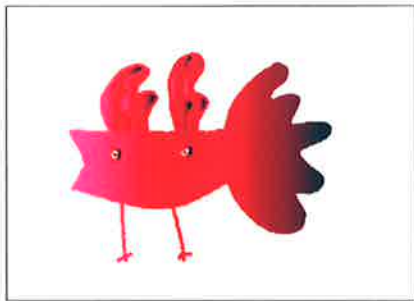
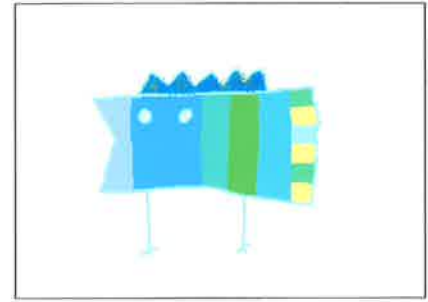
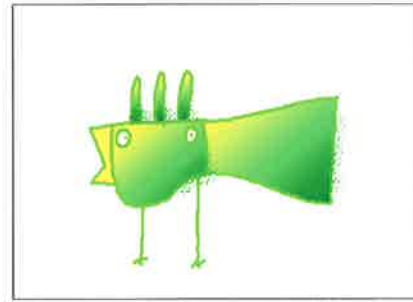
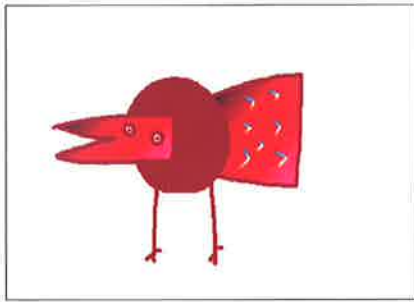
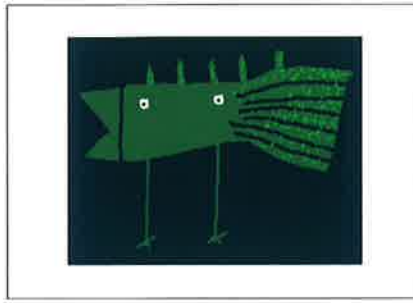
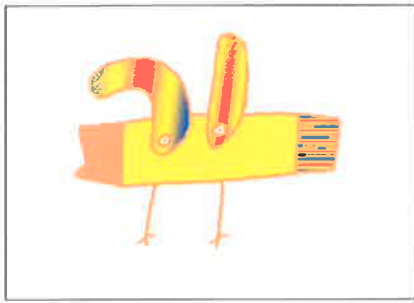
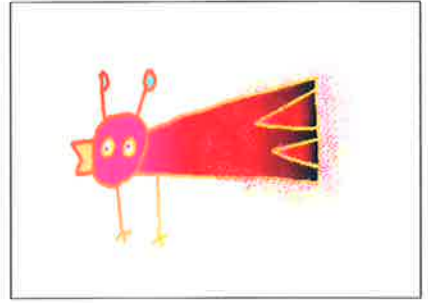
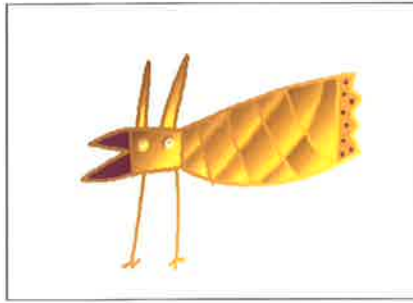
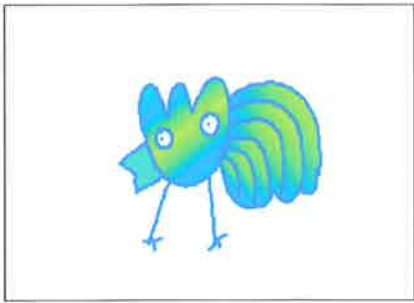
The same is different. bird-kiss:001

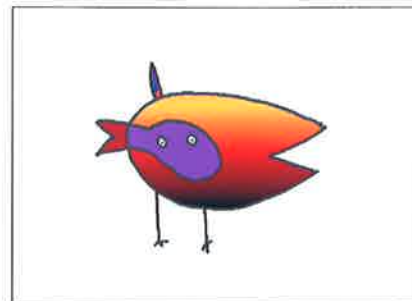
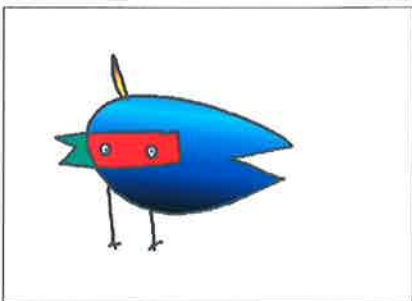
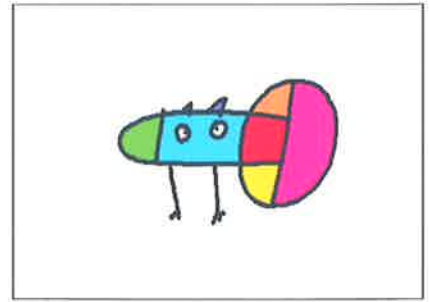
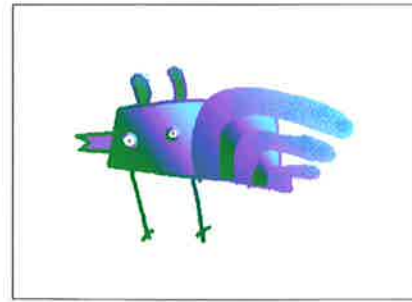
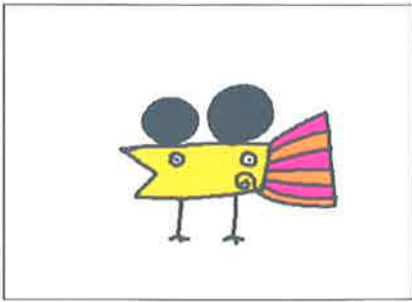
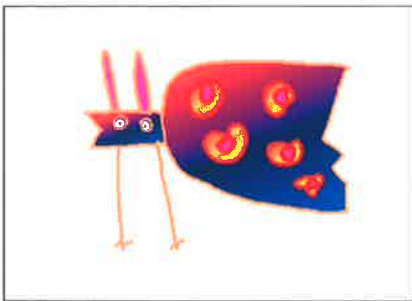
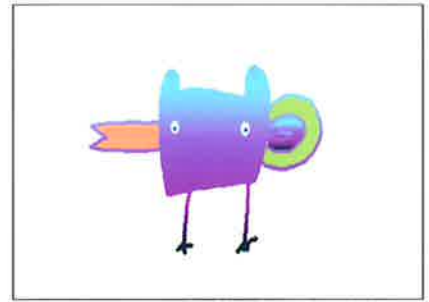
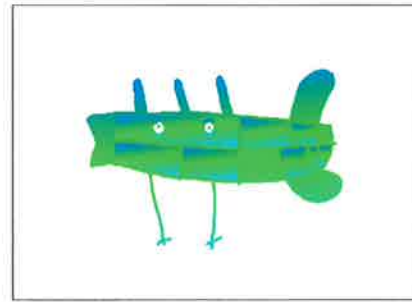
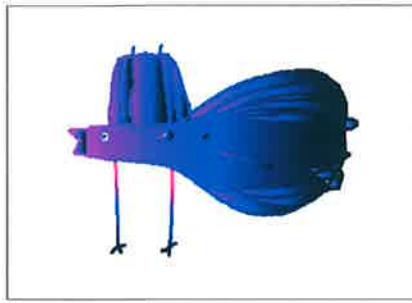
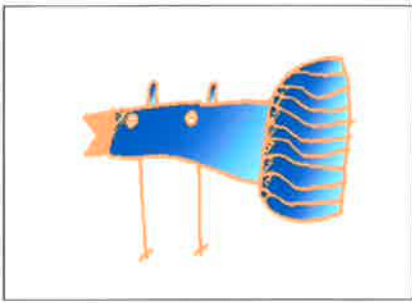
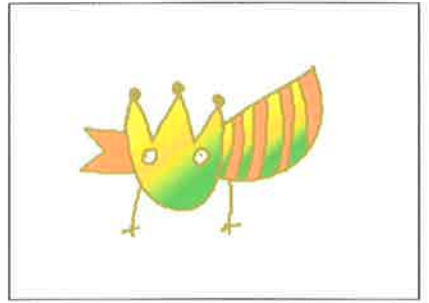
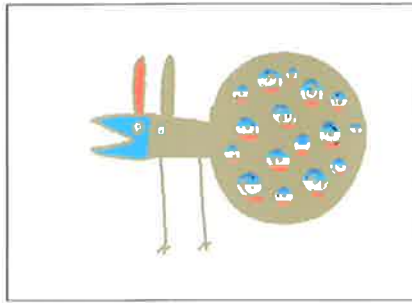
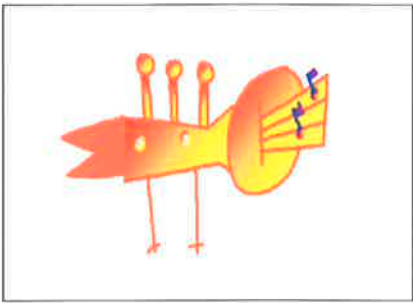


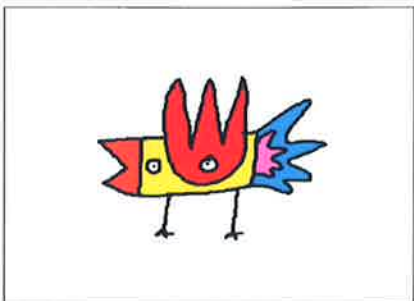
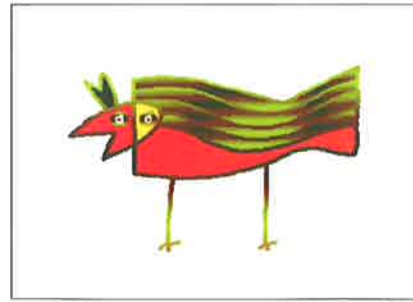
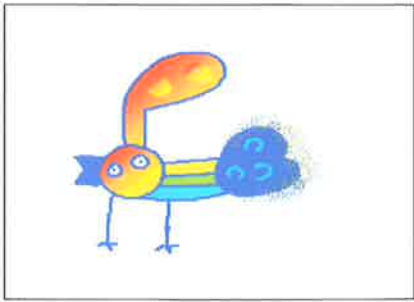
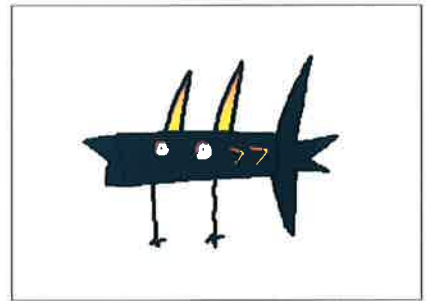
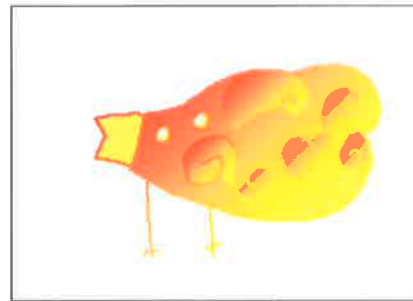
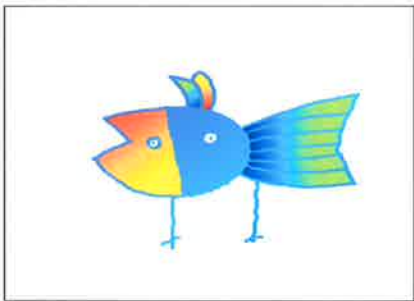
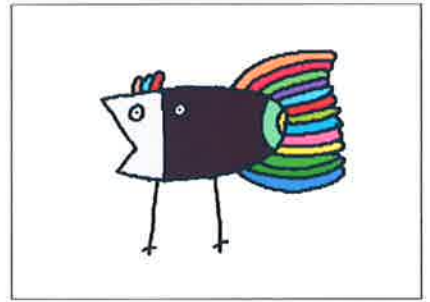
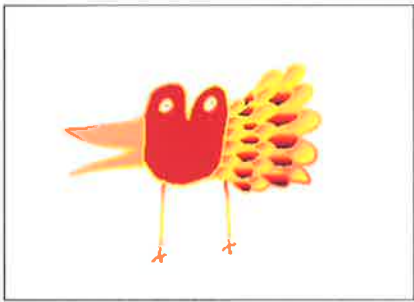
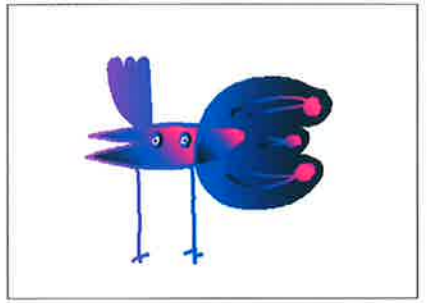
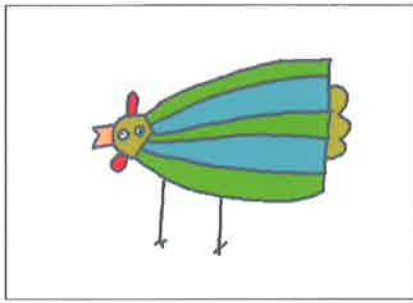
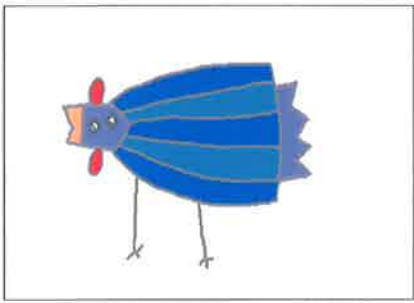
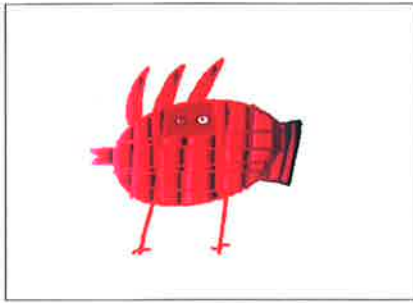
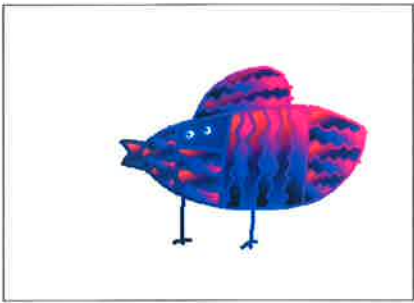
The same is different. bird-kiss:002

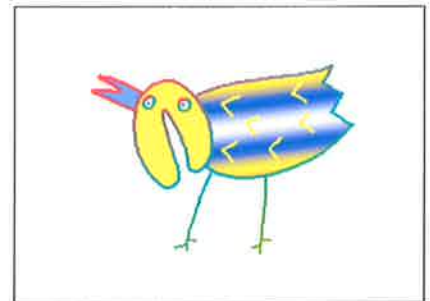
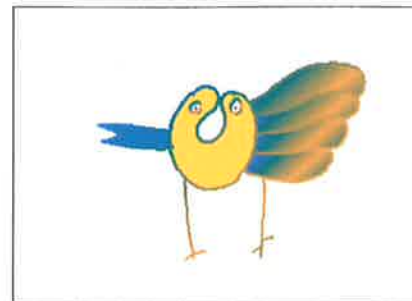
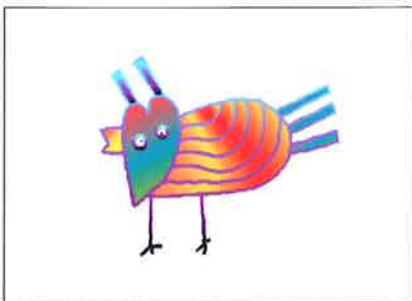
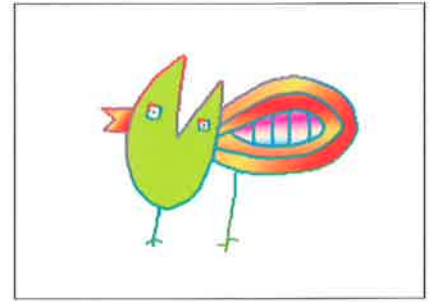
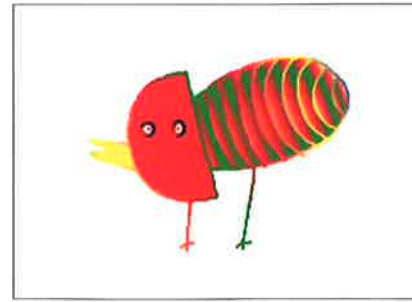
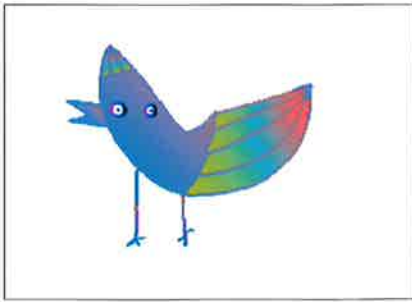
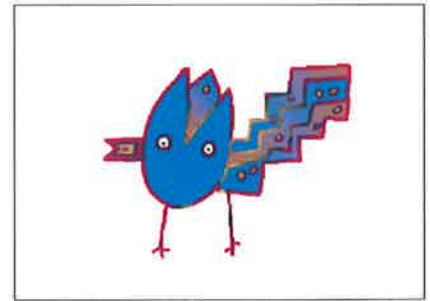
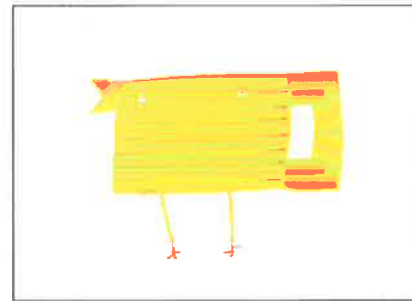
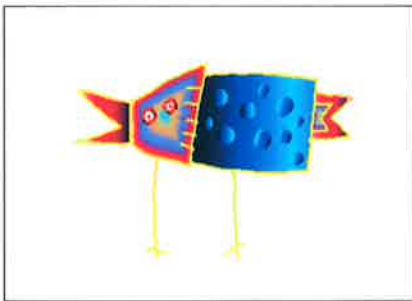
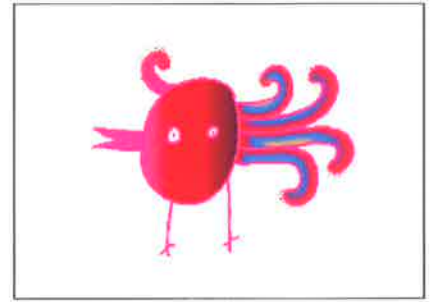
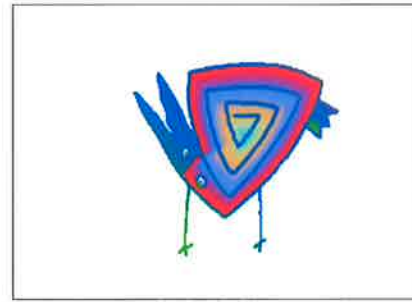
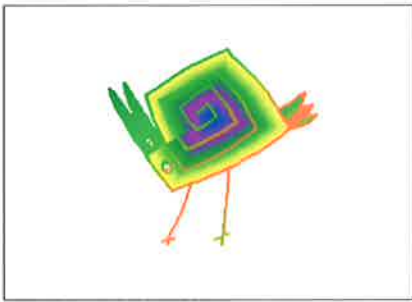
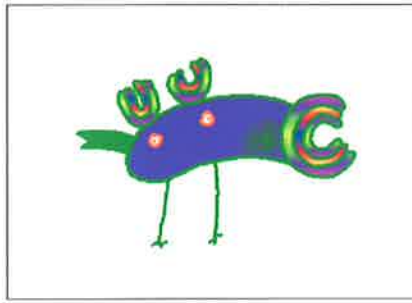
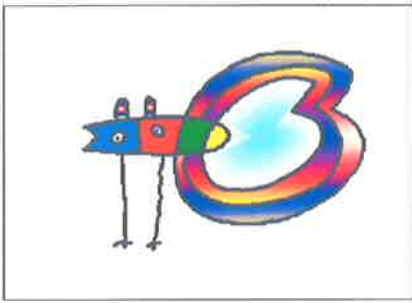
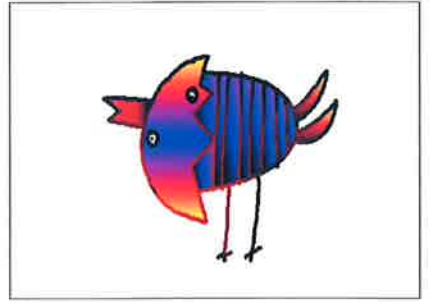
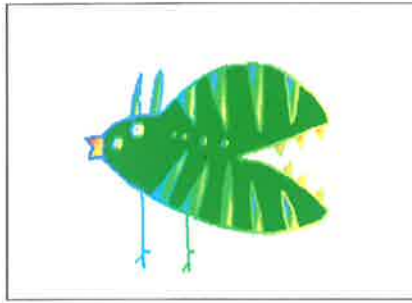
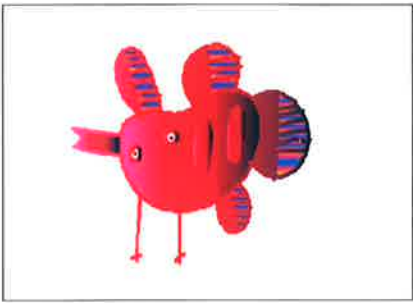


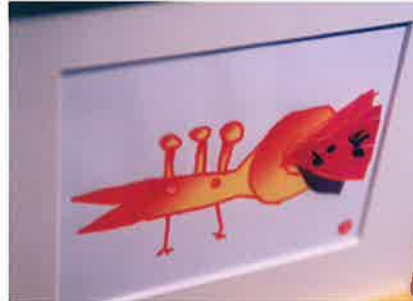
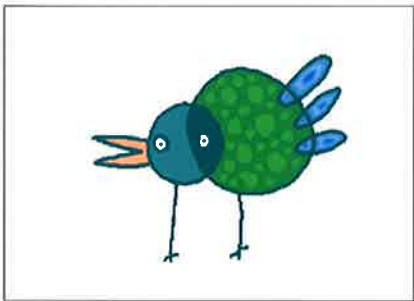
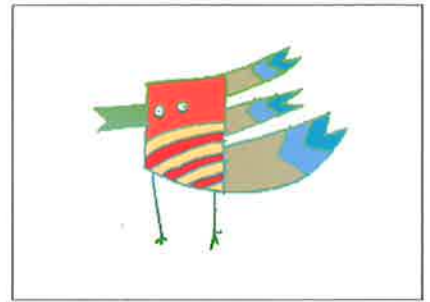
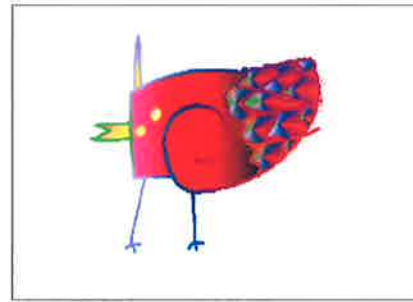
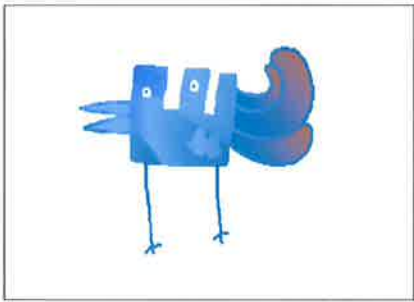
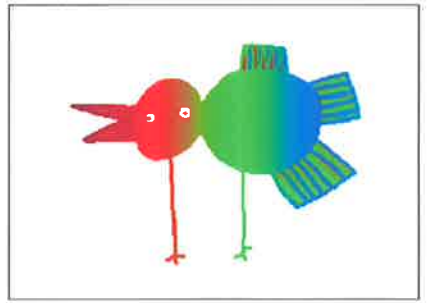
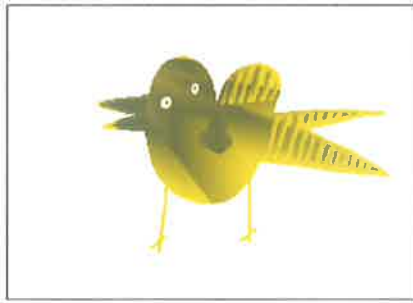
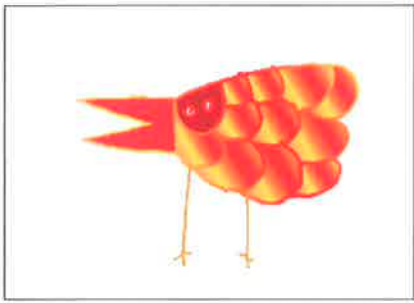
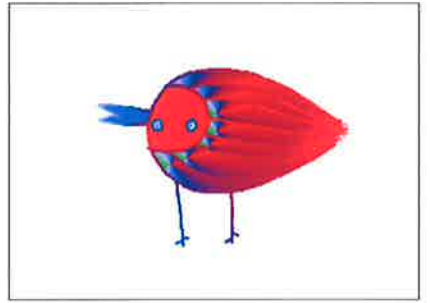
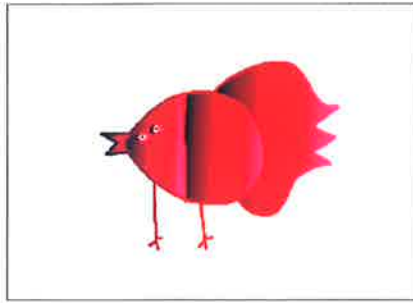
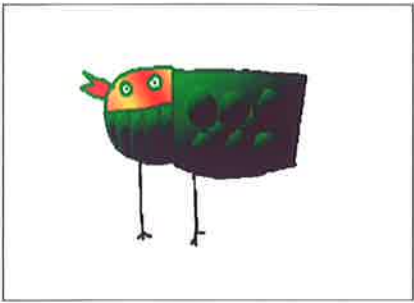


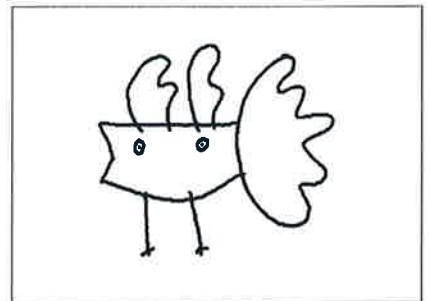
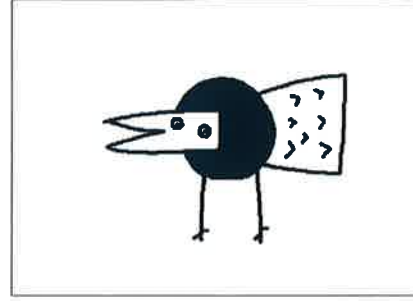
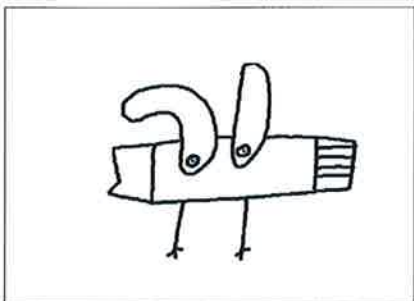
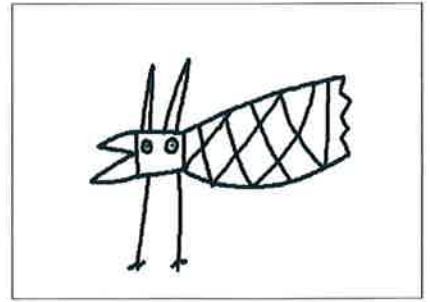
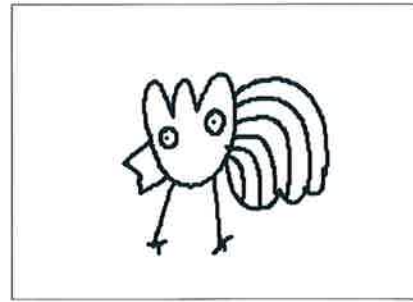
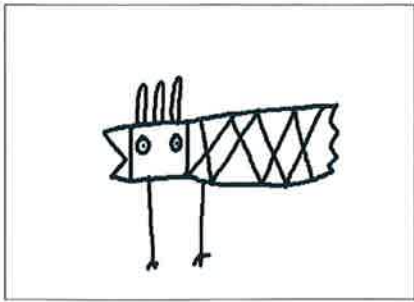
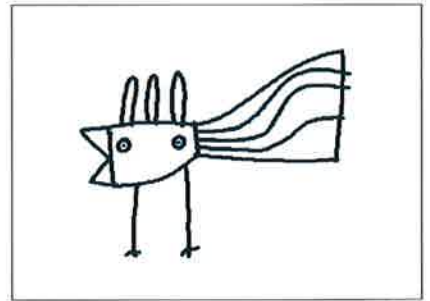
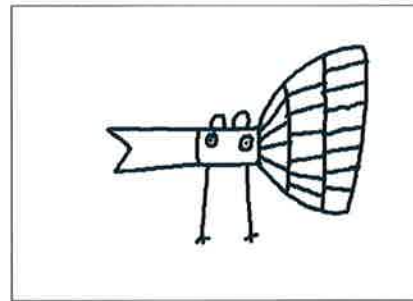
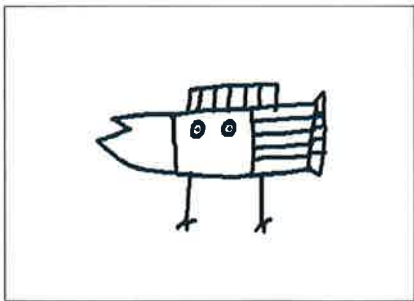
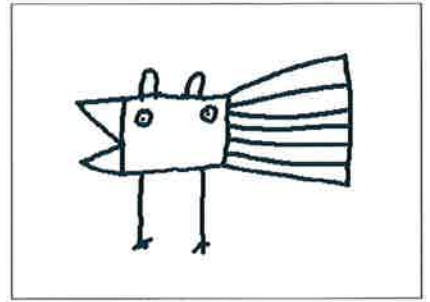
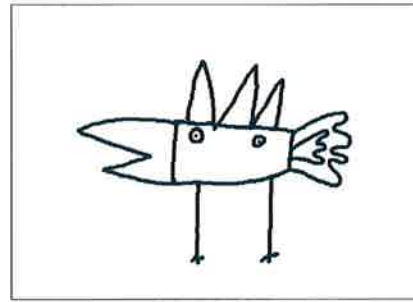
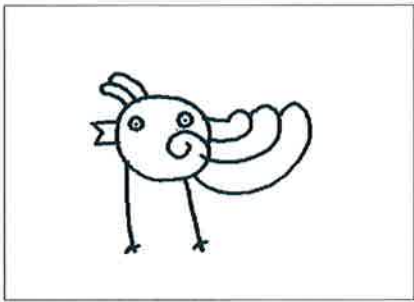
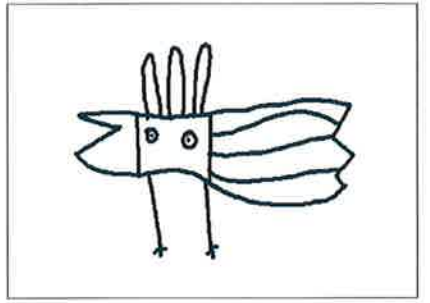
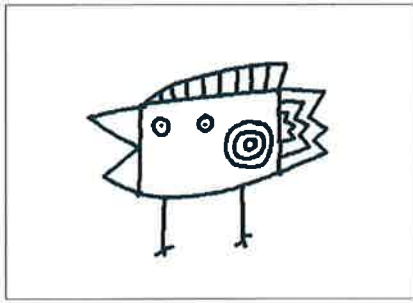
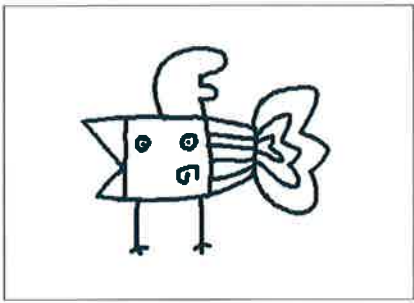
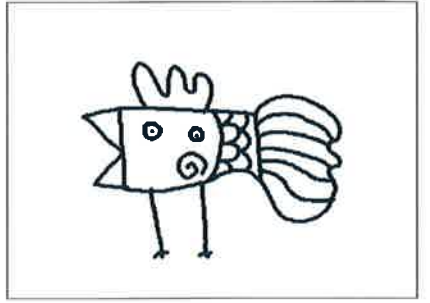
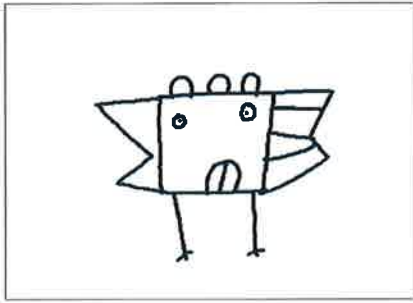
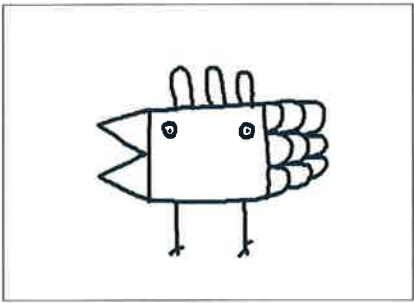


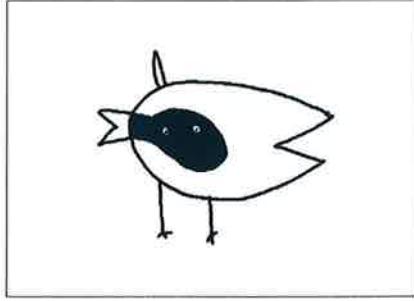
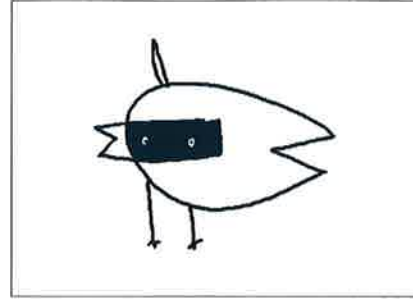
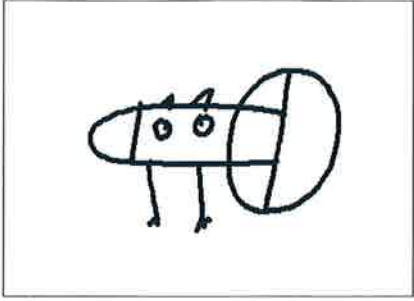
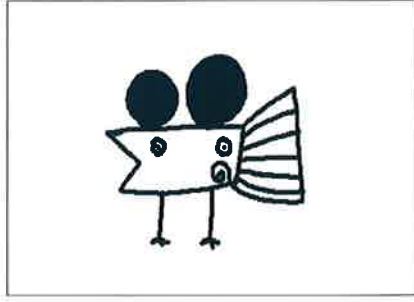
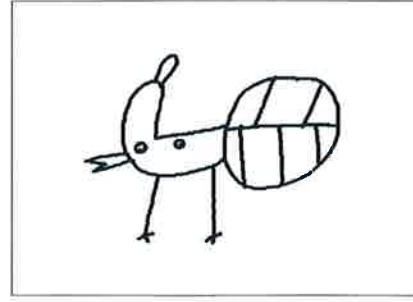
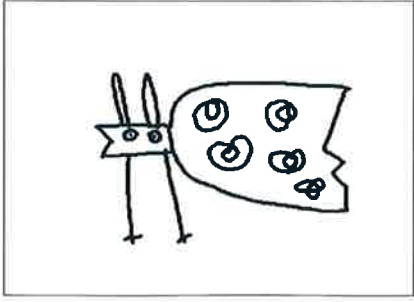
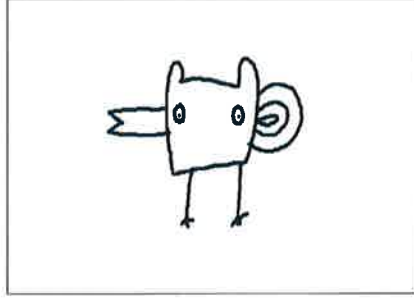
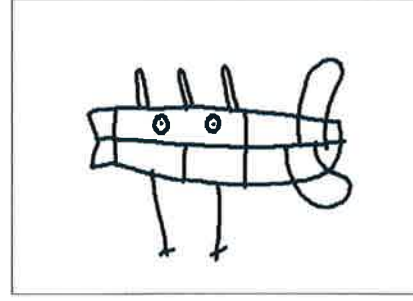
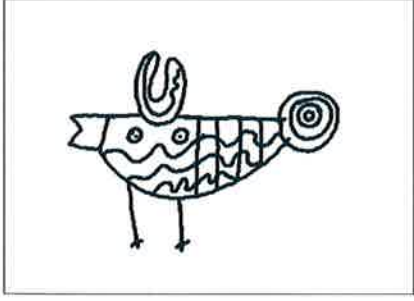
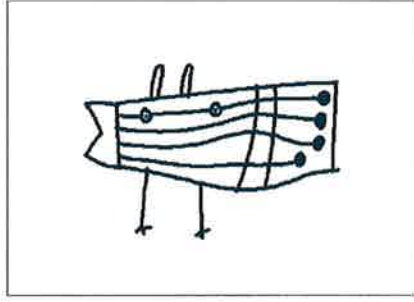
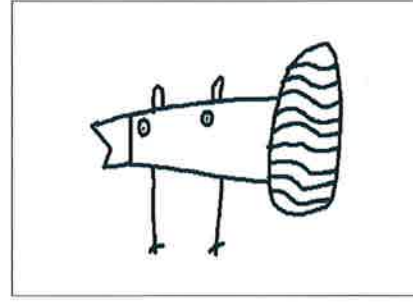
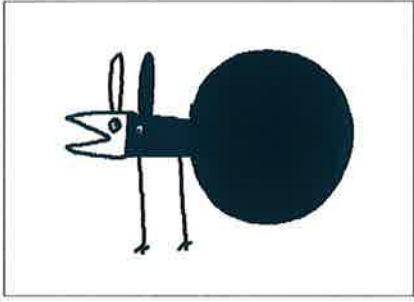
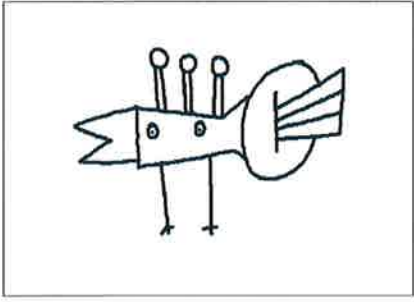
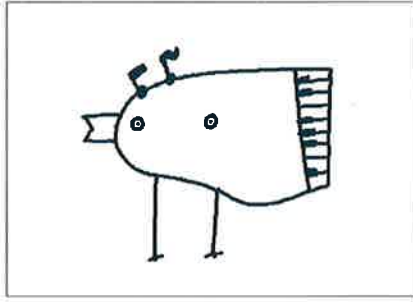
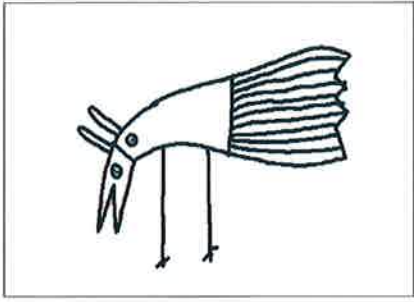
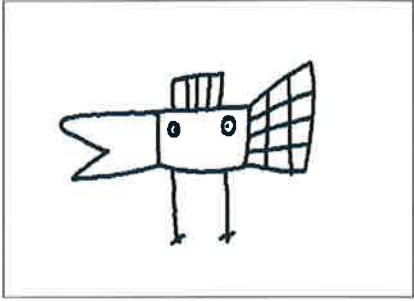
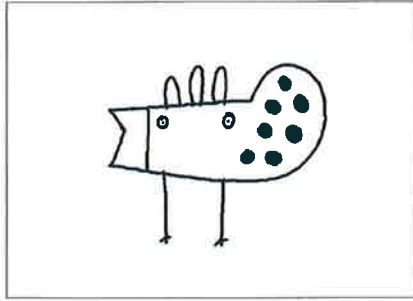
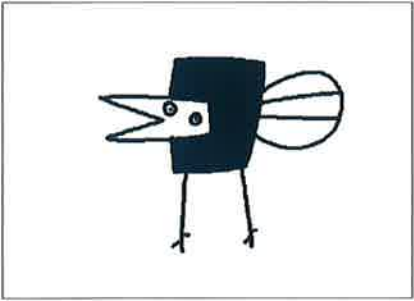


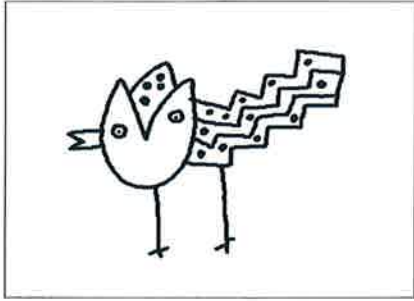
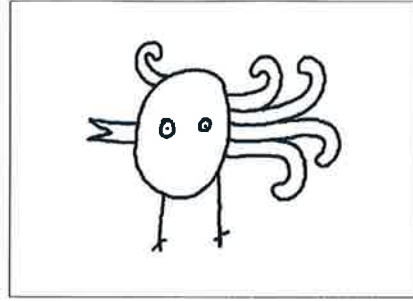
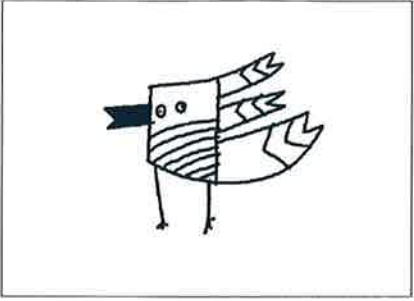
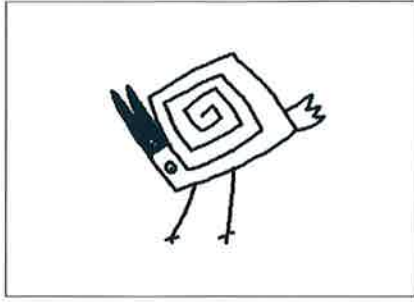
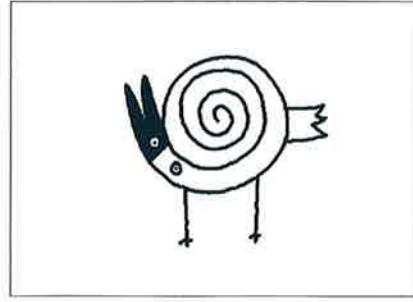
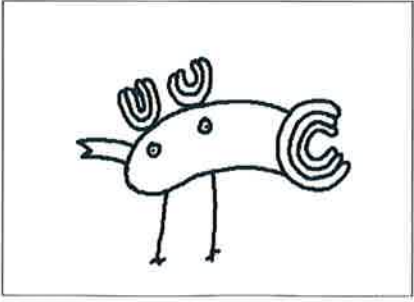
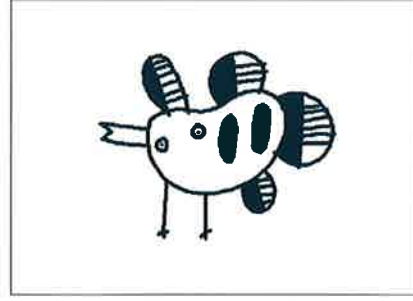
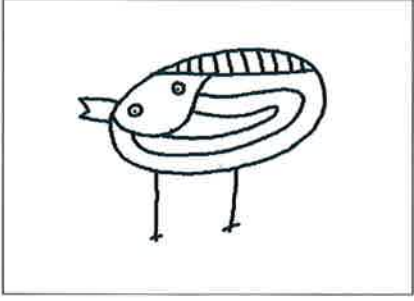
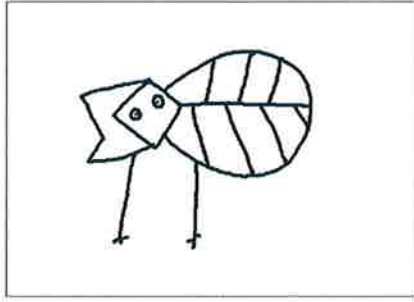
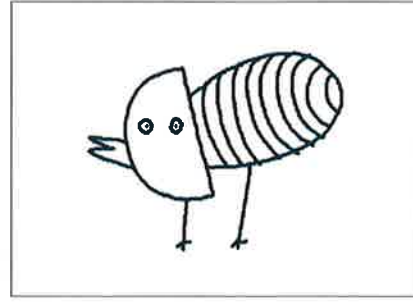
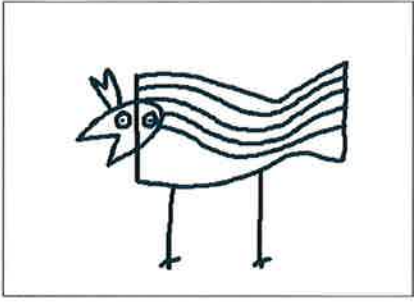
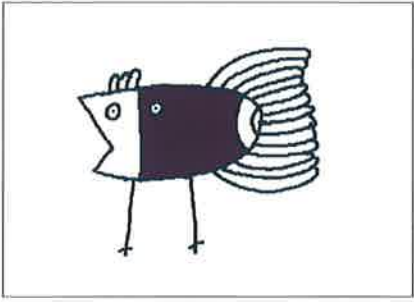
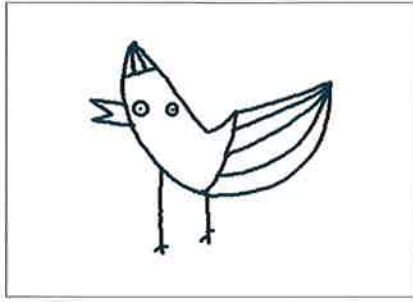
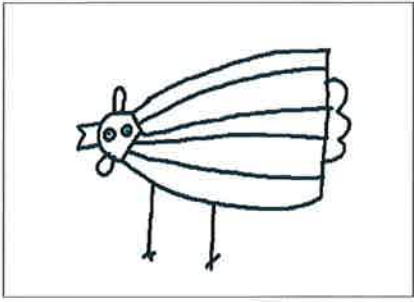
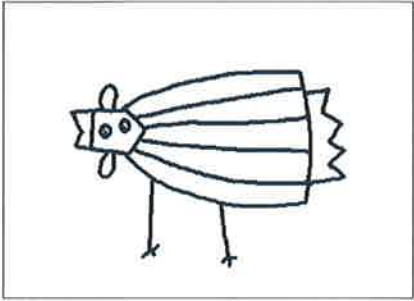
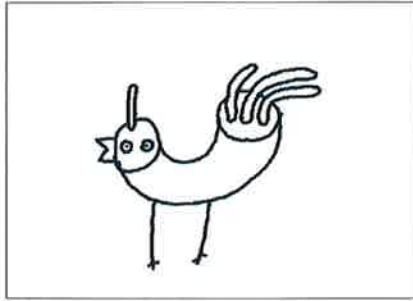
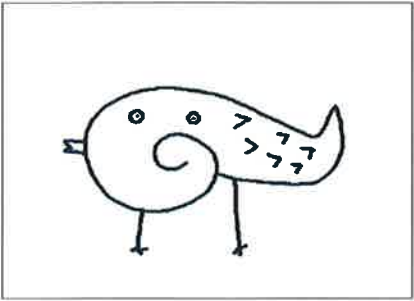


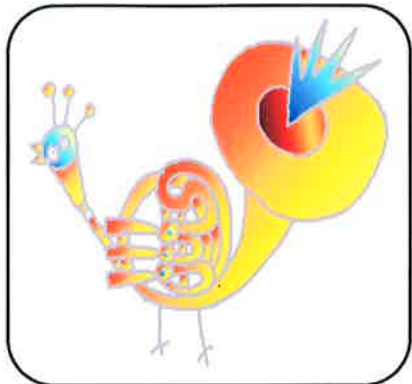
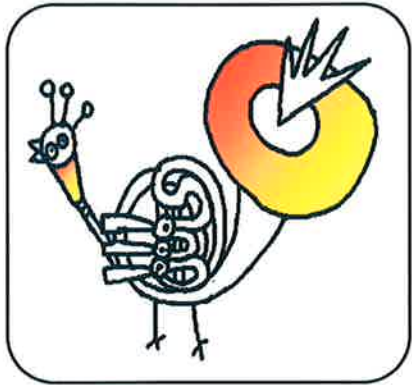
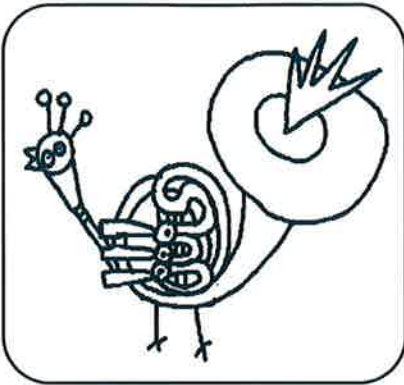
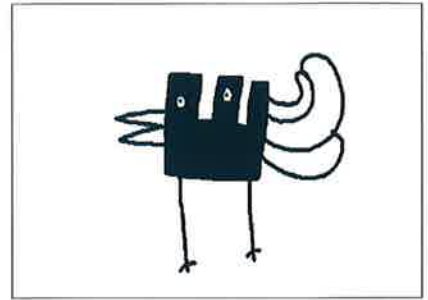
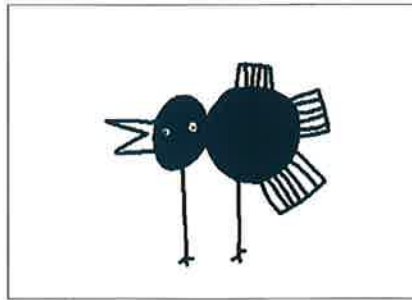
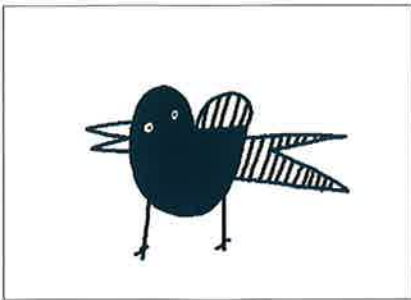
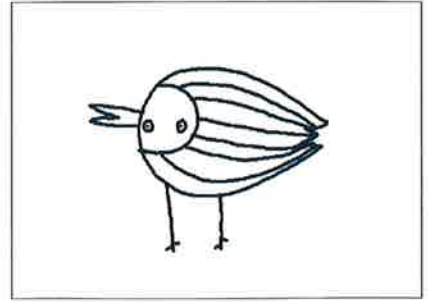
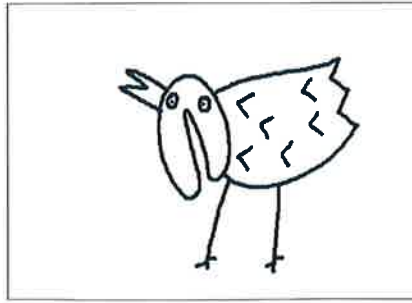
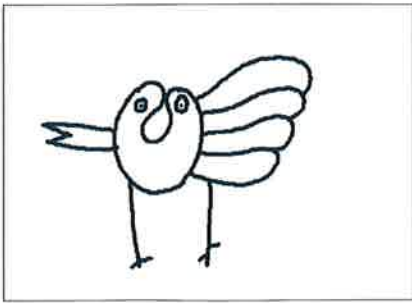


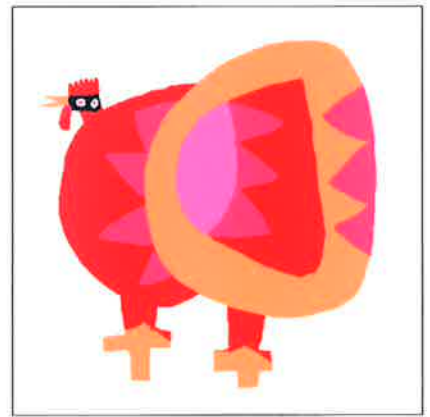
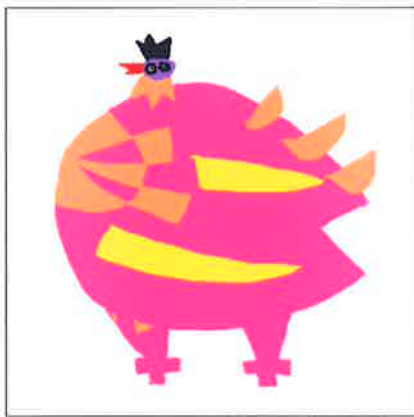
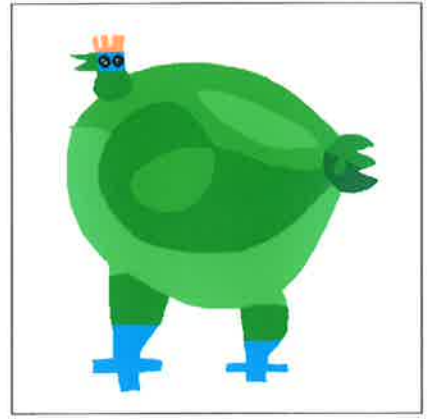
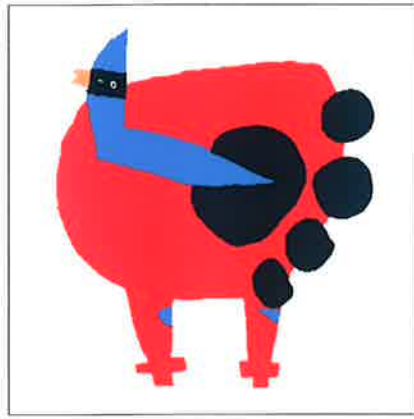
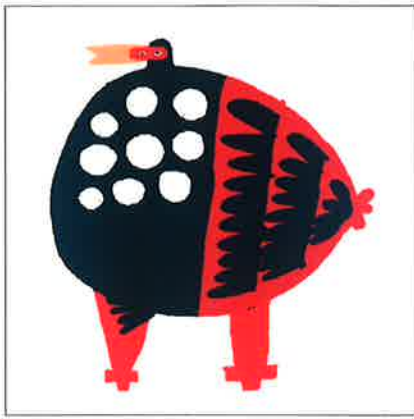


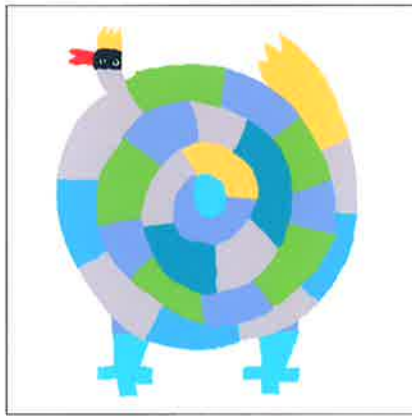
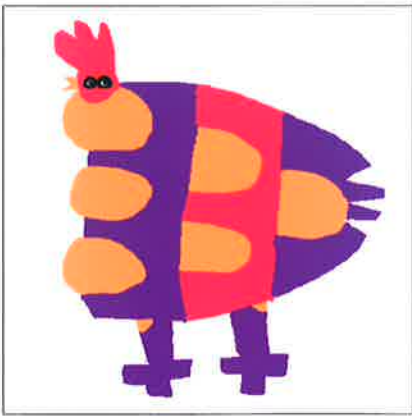
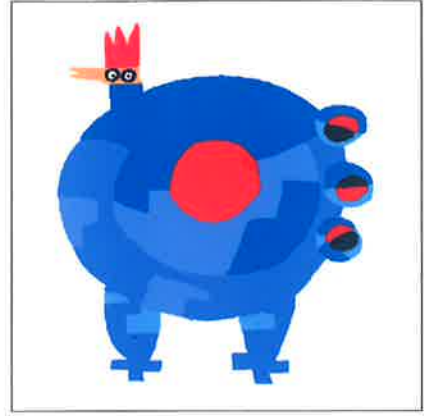
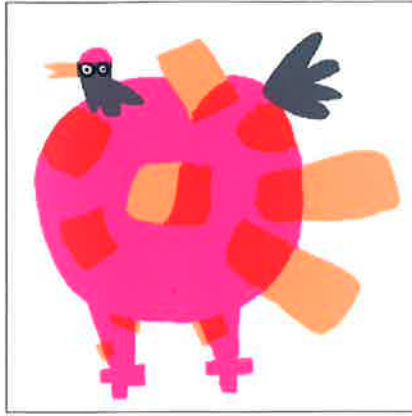
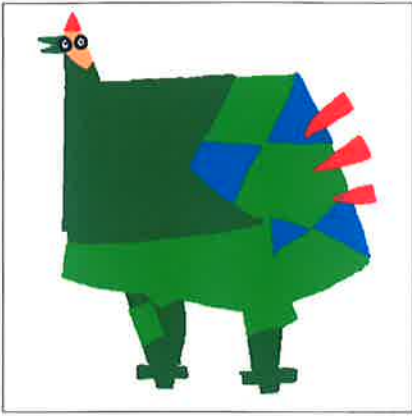


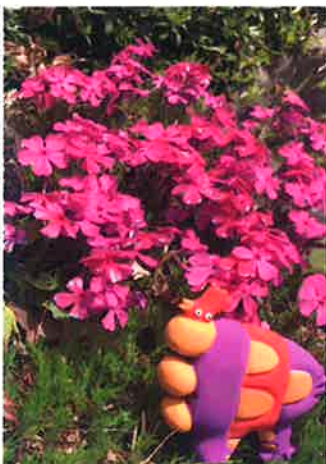














BIRD-KISS Project

001 「BIRD X ステーション」

旅に出たくなったその気持ちをそのままに
BIRDと出会ってほしい。
自然な環境に身をゆだねた先のBIRDステーション。
ぬり絵をしたり、折り紙を折ったり、
バッヂをつくったりしながら、
自分を振り返るきっかけになったらいいな。



フィールドが教えてくれる。

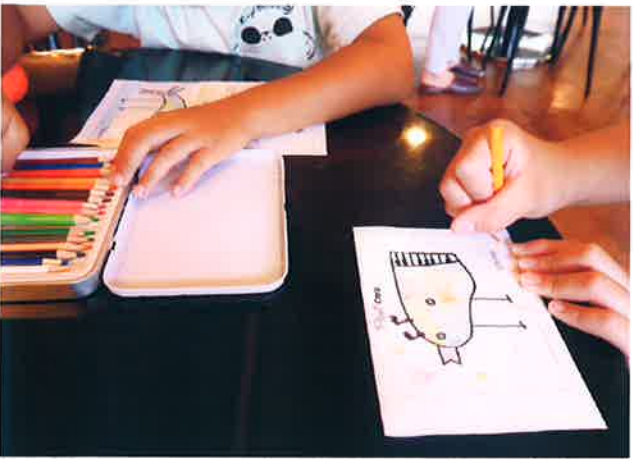
解放された景色。解放された空気。

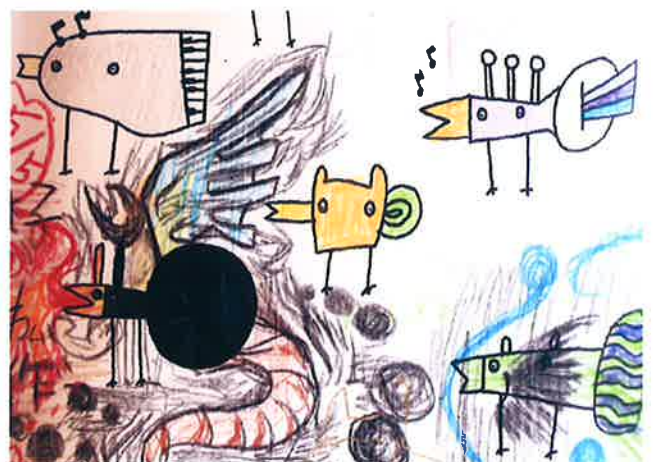
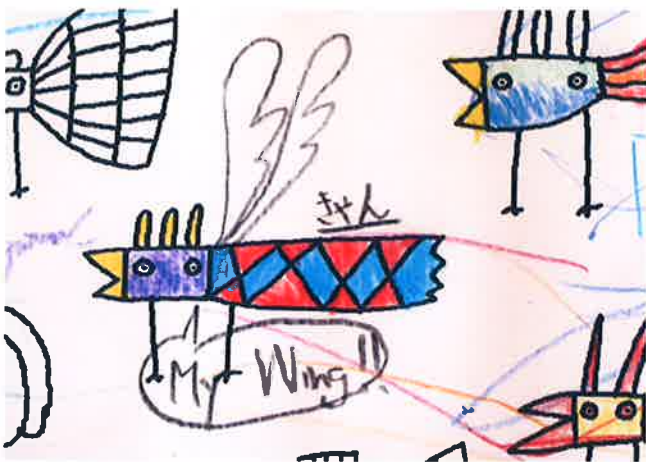
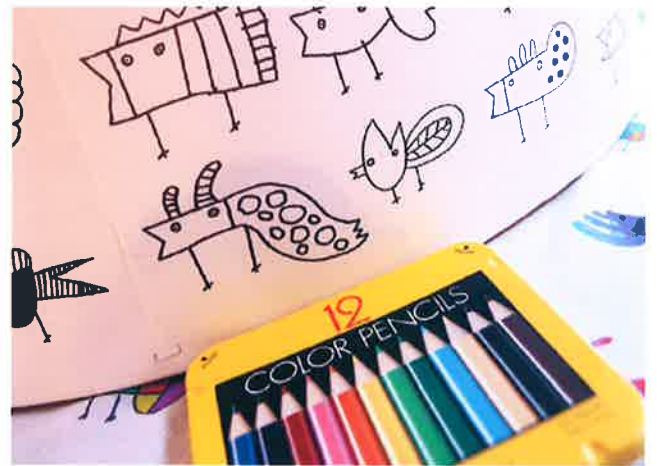
解放された環境。解放された時間。

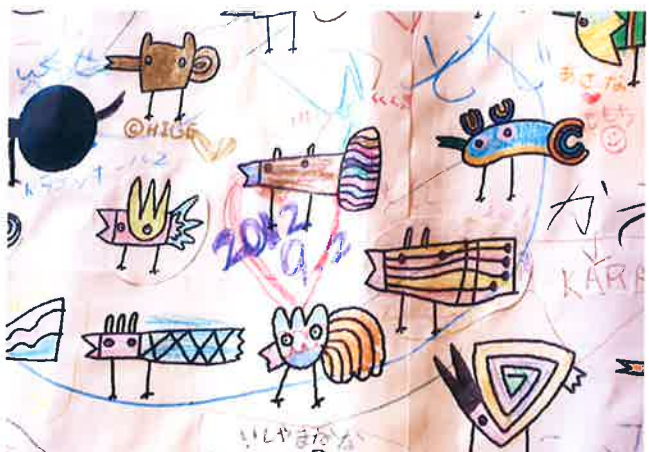
解放された仲間。解放された家族。

そして

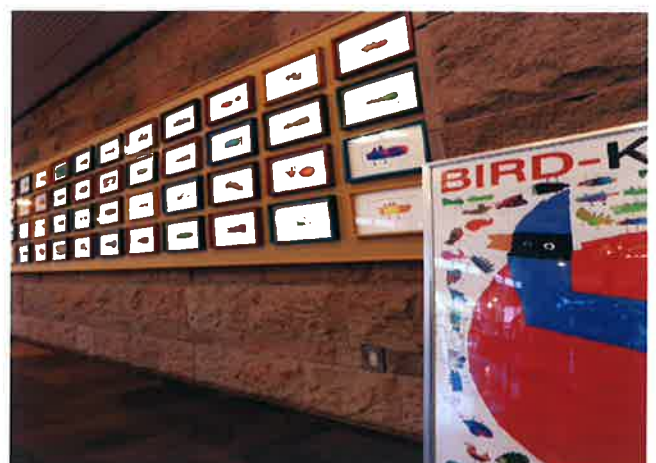
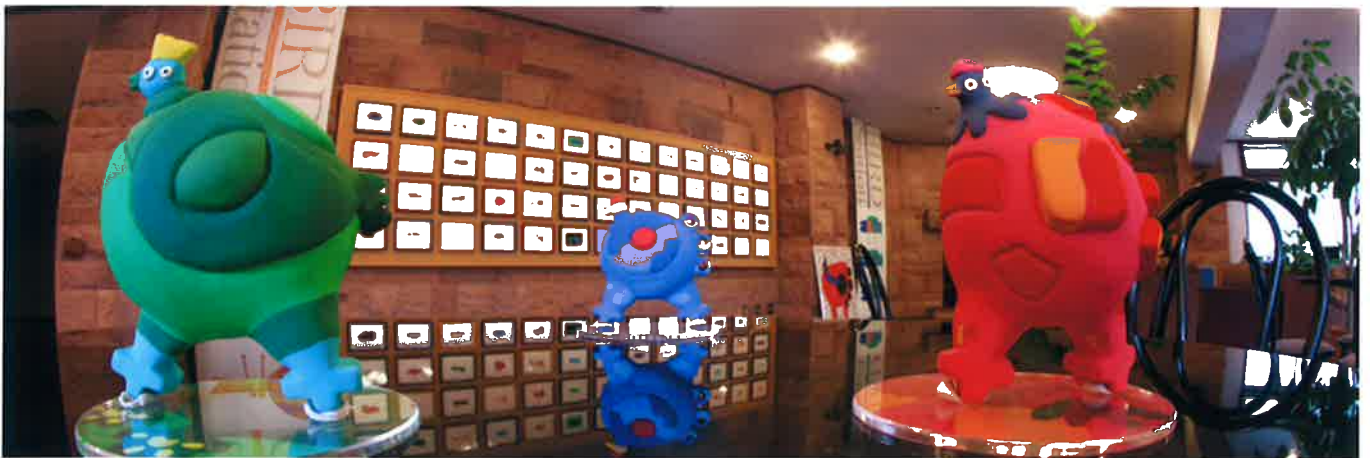
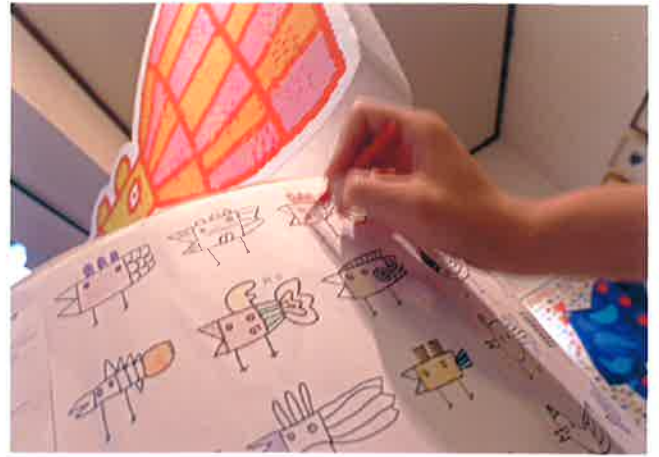
解放された自分へ。



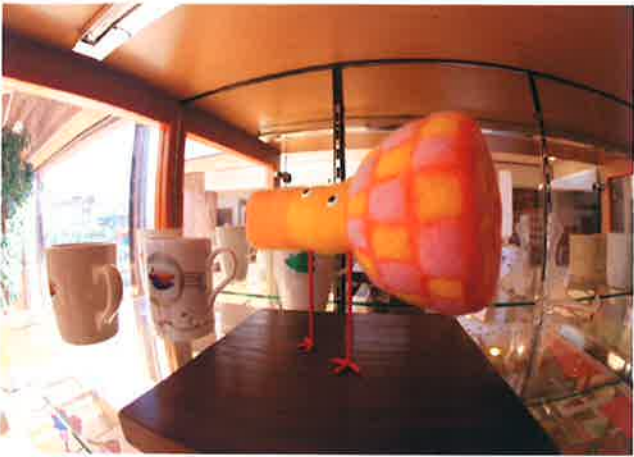
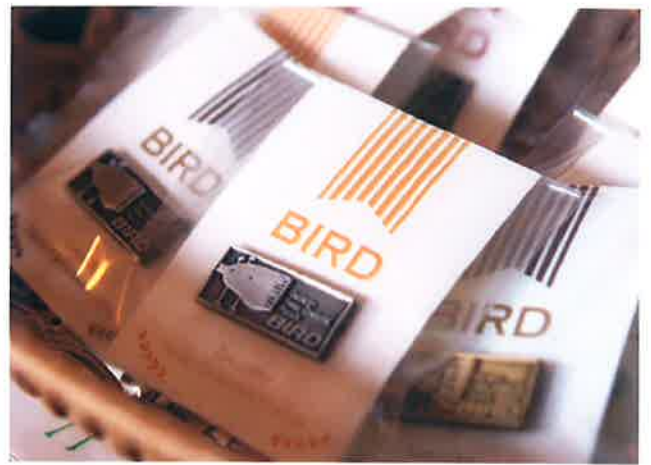










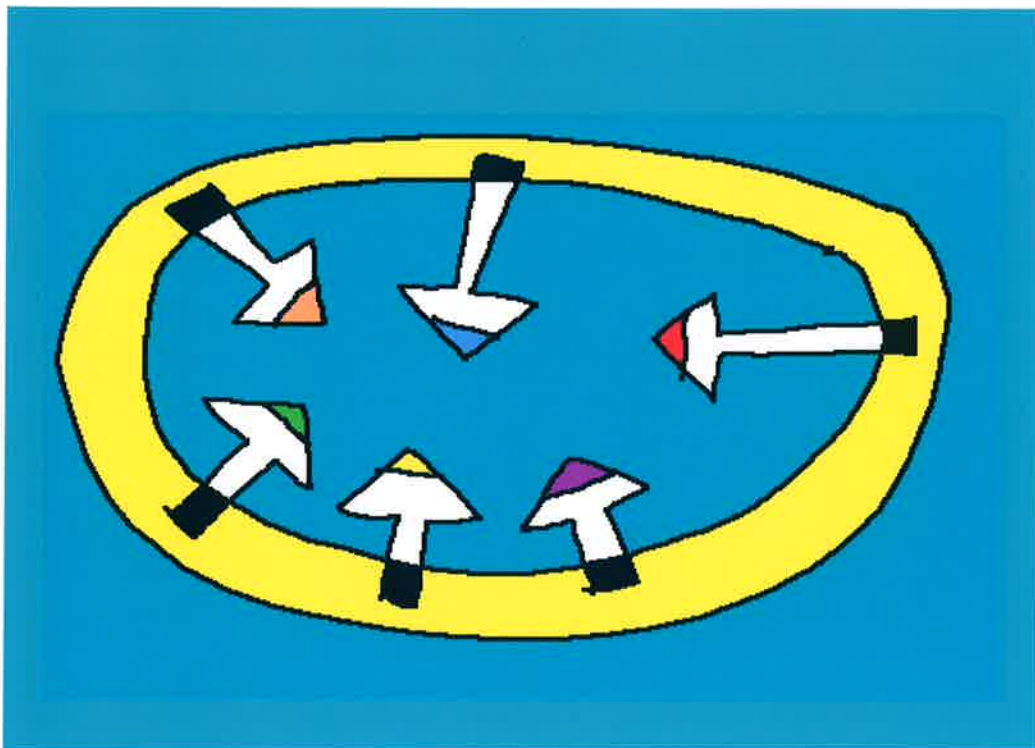


BIRD-KISS Project

002

「BIRD X 空間」

行政と住民の関係はフラットであることで
その関係性は強くなる。
それが、それぞれの自主性を高める。
進化してゆく施設のあり方に
BIRDも応援し続けたい。



場に住む。

自分たちの住む場所だから、

自分たちで楽しむ。

自分たちの生きる空間だから、

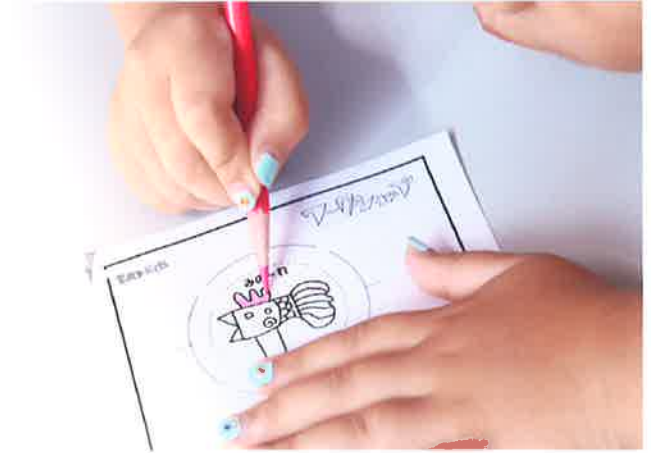
自分たちで支える。

そして、

自分たちのことだから、

自分たちで考える。

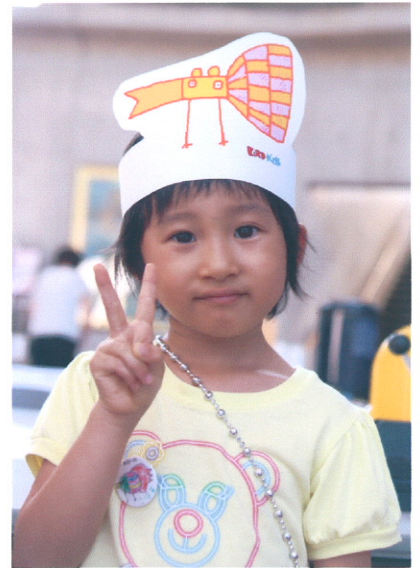




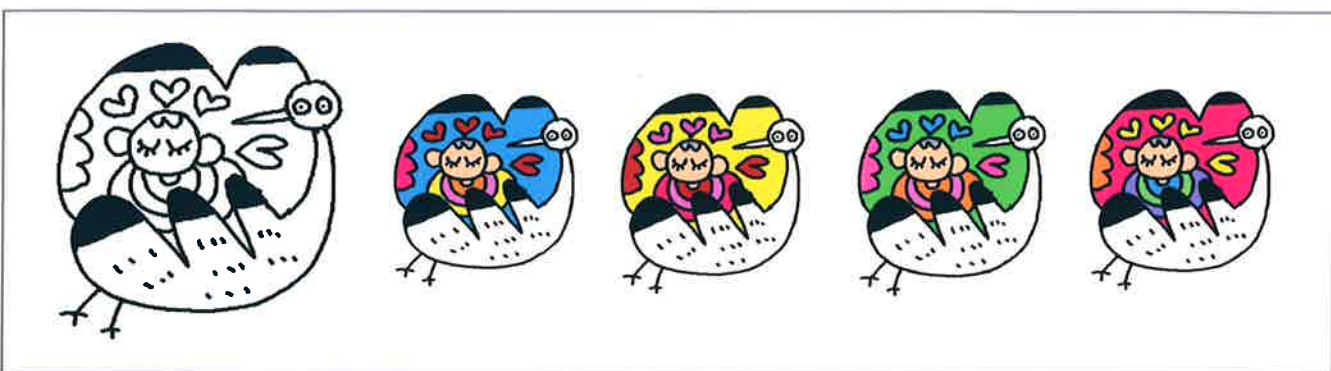


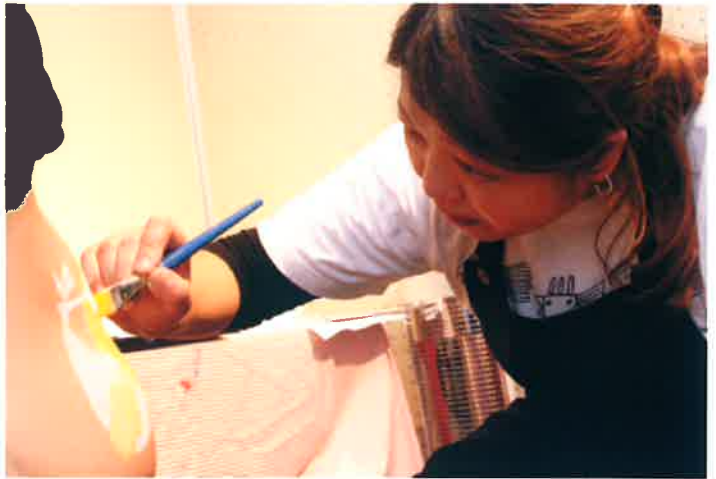




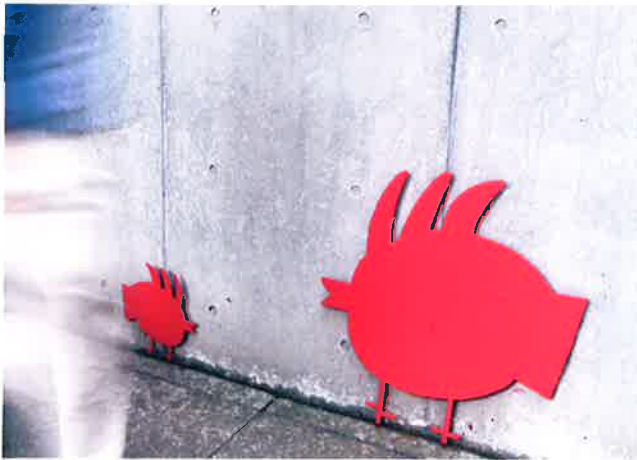








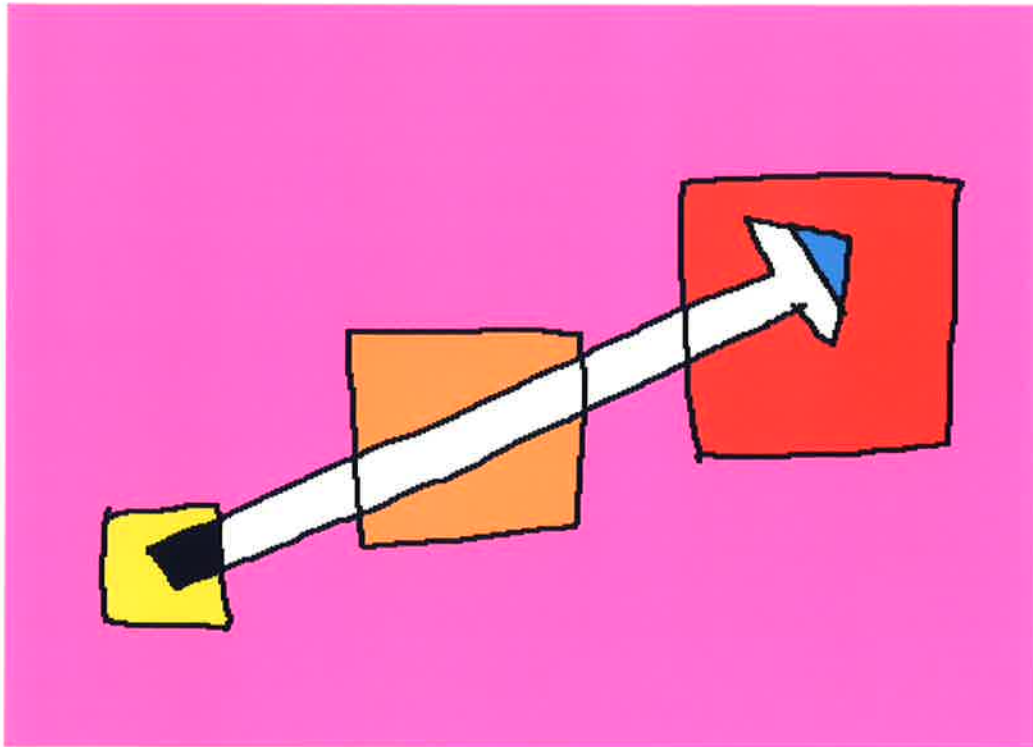




BIRD-KISS Project 003

「BIRD X クラスメイト」

塾に通う子どもたちに必要なモチベーションは？
同じ目標を追いかける「クラスメイト」？
いいえ、違う目的を一緒に追いかける「同士」。
自分を知り、相手を知る。
がんばるという意味をBIRDで気づいてほしい。



成長とは。

学ぶことを楽しむことで

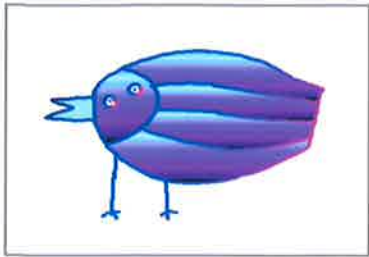
学ぶ大切さを知る。

集うことを楽しむことで

集う大切さを知る。

そして、

お互いに成長することの大切さを知る。



ア-78/ア-79
ぬり絵したBIRDをパッチにします。
ネームもいれます。

■パッチに入れるネーミング(3~5文字)
OMI PLAZ ○○○○○

◎お名前(フリガナ)
◎感想(どんな気持ちで描ったか記入してください)
(担当先生よりパッチができましたらお知らせします)



ア-78/ア-79
ぬり絵したBIRDをパッチにします。
ネームもいれます。

■パッチに入れるネーミング(3~5文字)
OMI PLAZA アアアアア

◎お名前(フリガナ)
◎感想(どんな気持ちで描ったか記入してください)
「最後の夏合宿の、午一にて仲良しパッチ
作りとらへ、持ちこめた。」
(担当先生よりパッチができましたらお知らせします)

100BIRDから1 BIRDをセレクト

「がんべい」とネーミング

あるクラスの「がんべい」たち

ひとり1人「ぬり絵」

ひとり1人「ネーミング」



GENKI



oumin



アヲベエ



いろまめ



カラフォロ



カラベエ



キュアベエ



くさき鳥笑



グラデー



くさベエ



くさそう。



ケケケモケ



ゴ布林



サターン



サバート



じゅっくん



しんベエ



せんベエ



ソーダ



トックン



のんベエ



ぼーどー君



ハーパード



ババード



ヒコベエ



ひめりん



ベエベエ



ぼこペン



ヘドペー



マコベエ



マナベエ



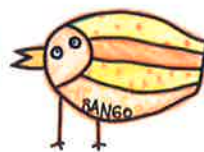
ミジベエ



ゆずりん♥



リノベエ

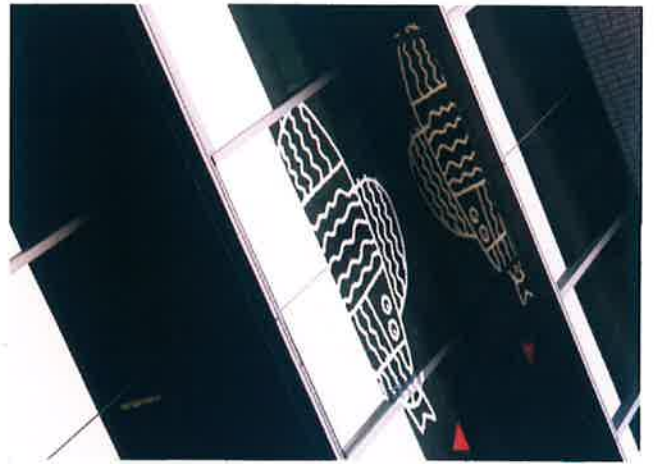


ルナベエ



煮干し





100点
ひとりでは、頑張れないときがありますよね？
 100のBIRDと道プラの仲間たちが、いつも君を応援しています。めざせ、君の100点満点！

道子プラザグループ



新学期スタート！キミの1年をBIRDが応援します！

BIRD CALENDAR

2018年3月～2019年3月

3月から使えるよ！！

進学プラザグループ

Art Communication Project

進学プラザグループの マスコットBIRD

創設20周年の時新たなロゴマークを制作したことを契機に、より親しみやすい学習環境を地域の子どもたちに提供したいという思いから、このマスコットを開発しました。

アーティストおおたけかずみさんが生み出したキャラクター「BIRD」は、先生と生徒たち、保護者の皆様、そして地域とのコミュニケーションにおいても愛され親しまれています。

21世紀を生きる子どもたちのための
BIRD-KISS

BIRD-KISS
www.bird-kiss.com

Artist
Kazumi Otake



進学プラザグループ

それぞれの新しい旅立ちを喜ぶ色のイメージは？

卒業や進学・進学など、3月は、自分も仲間も新しい旅立ちを迎える月です。
みんなの旅立ちをお互いに喜びあう気持ちを表現してみましょう。
別々の進路を選んだ同級生や、卒業して遠くで頑張る先輩など新たな旅立ちのイメージを色にしてみましょう。

3 2018 MAR	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

進学プラザグループ

仲間とともに成長しよう！大切な友達とはどんなイメージ？

5月は、共に学ぶ仲間たちとの交流も活発になる時期です。
お互いに切磋琢磨し、サポートしあえる仲間をイメージしてみてください。
仲間を大切にすることが、自分の成長にもつながります。
あなたの大切な友達をイメージしてBIRDに色をぬってみましょう。

5 2018 MAY	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		





私たちの合言葉は、
「Daijōbu-Daijōbu」

元氣になりたい時、心が折れそうになった時、「だいじょうぶ、だいじょうぶ」と唱えてみてください。きっと、一歩踏み出す勇気が出てくるはずです。選挙アサグループは、その小さな勇気を応援します。次代を担う子どもたちのために、宮城の未来のために、一緒に学び「選挙力」の仲間とともに、今ここから歩み始めましょう。

Daijyoubu
Batch



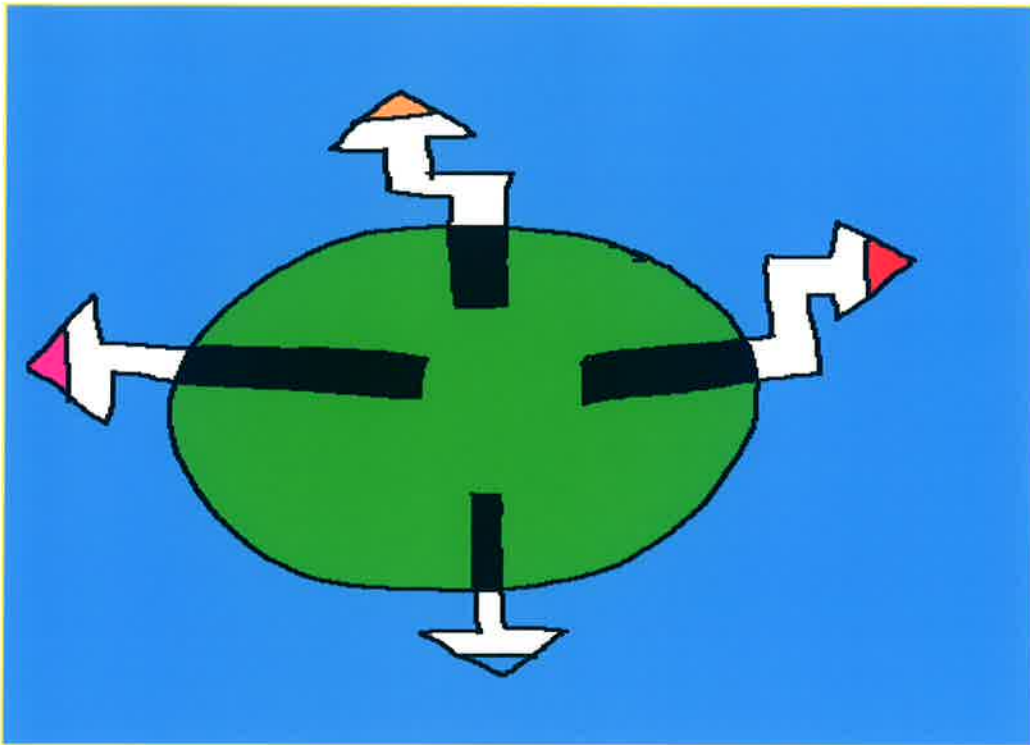
東日本大震災で不安を抱えている
子どもたちのために
「だいじょうぶバッチ」を配布。
いろんな方のご協力によって、
被災地に届けてもらっています。
現在も受付中です。

BIRD-KISS Project

004

「BIRD X 地球」

ORIGAMIは、世界共通語。折り紙は「折り」と「感謝」のコミュニケーションツール。モンゴル、カンボジア、ミャンマー、ウガンダ。いろんな国のKIDSと日本を繋ぐ。その橋渡しになりたいBIRD-KISS。同じ笑顔で、同じ思いを。



関係を結ぶ。

自分と違うから、楽しい。

自分と違うから、面白い。

自分と違うから、嬉しい。

自分と違うから、自分がわかる。

そして、

そこから、自分と地球の関係を考えてゆく。

モンゴル

モンゴル国 ウランバートルにある
ゾリルタトブレグにて





モンゴルウルブハンガイ県ブルドソムにある交換留学を行っている学校の先生達がBIRDノTシャツで歓迎してくれました。
学校名(ブルドソミン ユルンヒーボロブスロリーン ソルゴーリ)



モンゴルでお世話になったポロスレンさんが、BIRDの折り紙をもって、ゲル地区に住んでいる片親家庭の子ども達の保養所に行ってきました。BIRDの折り紙の飛行機をみんなに教えて、飛ばしてくれました。

カンボジア

公益財団法人CIESF (シーセフ)
シーセフ・リーダーズアカデミーにて



モンゴル

自然と共生するモンゴルに人々が暮らす
壮大な大地に「BIRD」もデビューしました。





私達は、21世紀を生きる子供たちのためのBIRD-KISS(アートコミュニケーションプロジェクト)として、100種類の創作BIRDのぬり絵や折り紙を中心としたワークショップを各地で積極的に展開しています。「自分らしく、他人を認めあい仲良く」をテーマに、セルフエドケーション(しなやかで、自由で、生きること自体が、知らない間に、学ぶことになっているようなスタイル)の大切さを伝えていきたいと思っています。ぜひ、ホームページをご覧ください。 www.bird-kiss.com

モンゴルは広かった！

2018年6月18日からモンゴルへいってきました。成田から、首都ウランバートルのチンギス・ハーン国際空港まで直行便で5時間半。意外と遠い？ 近い？ 飛行機から見た大草原は、まるでゆっくりうねった波のような丘が永遠に続く「緑の海」そのものでした。どこに行くにも2～3時間かかるモンゴル。どこまでもまっすぐな道や草原の中のでこぼこ道を進むと遊牧民が住む「ゲル(移動式テント)」がポツポツと出現する。多くの羊や馬、牛の群れがそのゲル周辺でゆっくり草を食べていた。お隣さんまで1時間以上かかるよなあ。とにかく広い！ 心も広い！

モンゴルの大草原で、BIRD折り紙を大空に向かって飛ばしました。

首都ウランバートルから西へ50kmに位置するノマディックキャンプで、遊牧民の生活や文化を体験。モンゴルの「白い食べ物」と呼ばれる乳製品、塩味のミルクティーやチーズ、バターそして馬乳酒など、ポールツォグという揚げパンと一緒にいただきました。そして遊牧民の家族の子どもたちとBIRD折り紙で遊びました。スタッフがツルと一緒に折ったのですが、「もっとゆっくり折って！」といわれたり(笑)。とっても真剣に取り組んでくれました。また、飛行機を折って、みんなで飛ばし合いもしました。モンゴルの風に乗って飛ばしたかったのですが、難しかったです！(笑)


モンゴルBIRDデビュー！

大草原を進む途中で、BIRDのオブジェの撮影もしてきました。はじめてのモンゴルの広大な景色にBIRDたちも感動していました。



モンゴルの小学校(テンゲル交換ホームステイ)。校長先生はじめみんなBIRD仲間！



BIRD
Origami connects
the heart of the World



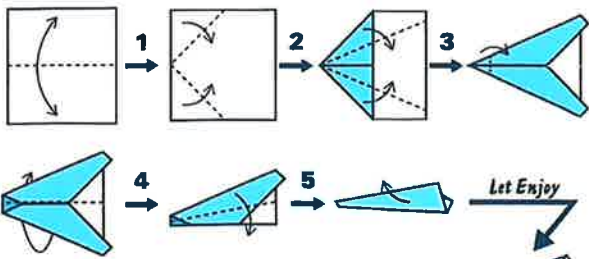
ORIGAMI
Digital Publishing Grand Prix - Artist Kazumi Otake

THINK, CREATE AND SHARE
Origami is a great communication tool for you to expand your own world and the world around you

BIRD-KISS WORLD
www.bird-kiss.com

PAPER AIRPLANE




Let Enjoy

Origami connects
the heart of the World

THINK, CREATE AND SHARE
Origami is a great communication tool for you to expand your own world and the world around you

BIRD-KISS WORLD
Digital Publishing Grand Prix - Artist Kazumi Otake




「BIRD-KISS World」は、「愛と信頼」をコンセプトにした世界をつなぐアート活動です。地球を大切にしたい。愛を語り、信頼でつながる世界でありたい。そんな想いをアートで結びつけていければと考えています。たとえば、モンゴルではBIRD-KISSオリジナル折り紙を使って、現地の子供たちと一緒に紙飛行機を飛ばすという活動などを実施しました。この折り紙を、もっともっと世界の子供たちの手に届けたいと思っています。ぜひ、あなたもそんなBIRDを手になしてみませんか？

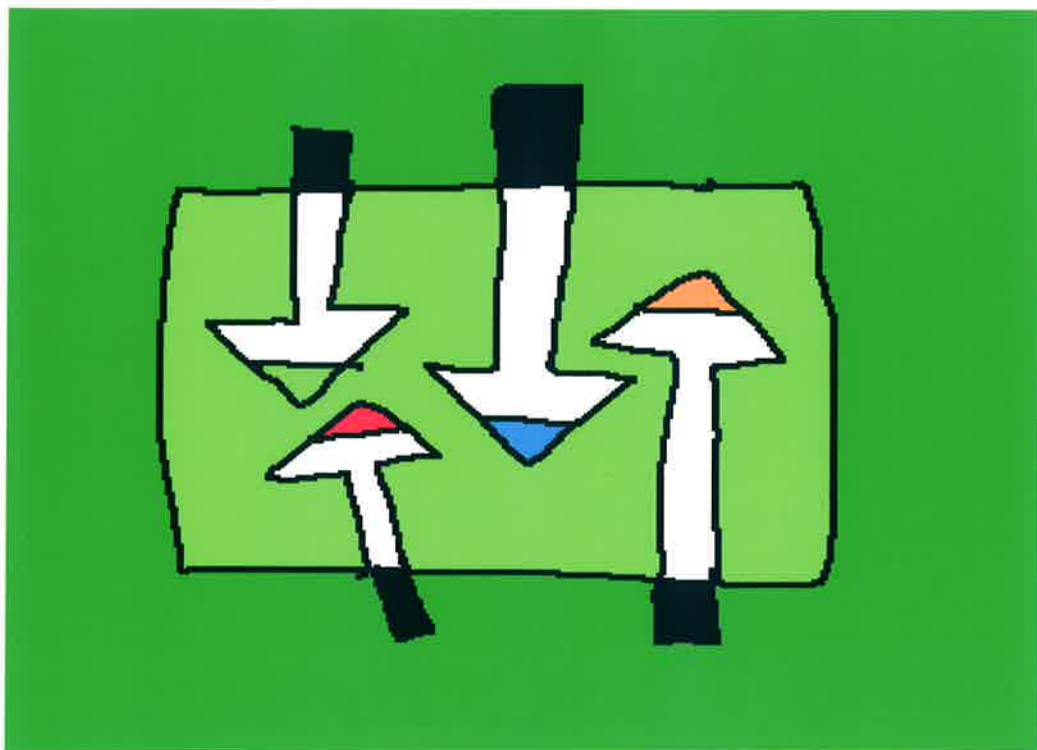


BIRD-KISS Project

005

「BIRD X WHO?」

自己認知と他者認知。
自分は誰だということを、
自分を良く知っている人から探してみる。
しかし、評価はポジションによって異なる。
樂の自分になれるか？
そこから、あらためて自分は誰かを考える。



私とは？

さて、あなたに質問です。

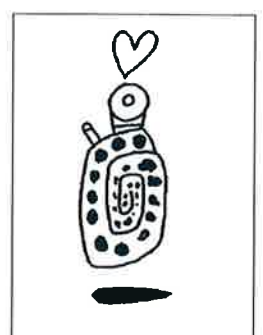
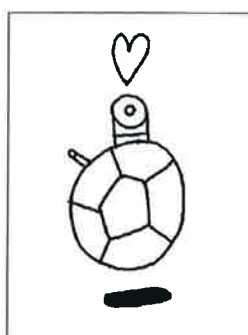
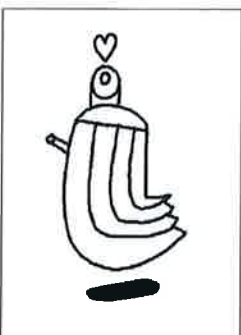
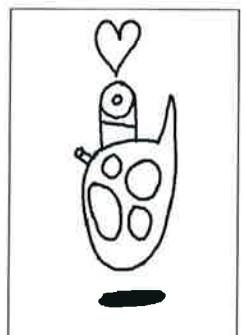
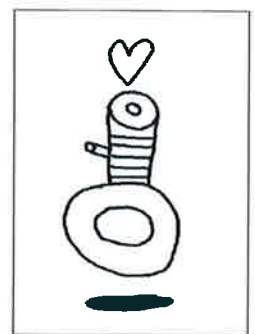
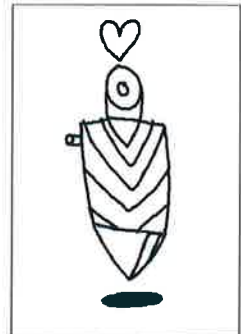
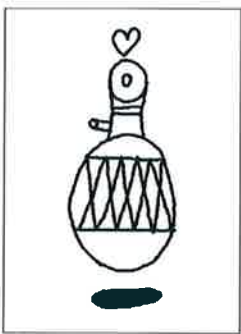
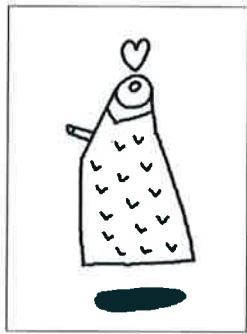
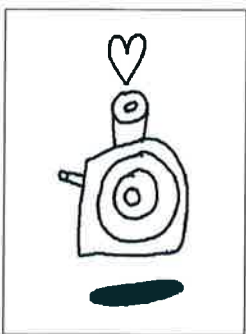
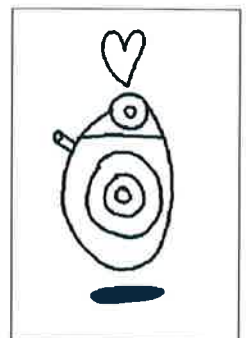
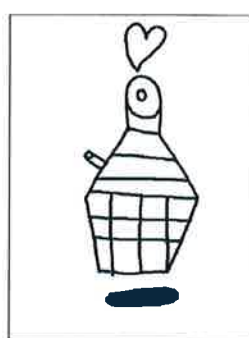
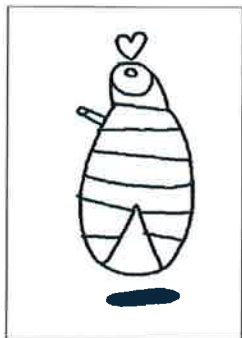
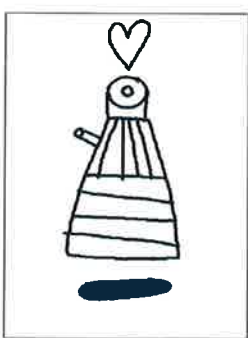
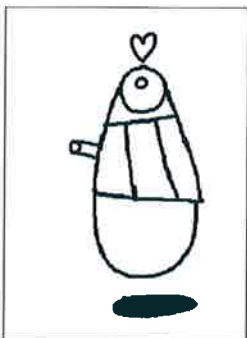
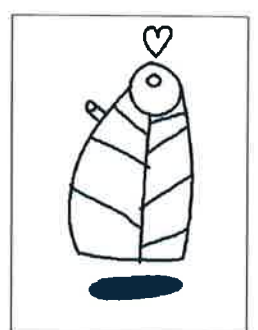
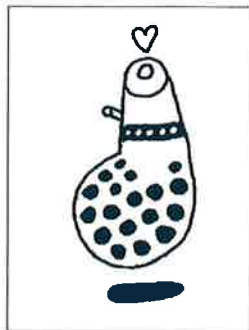
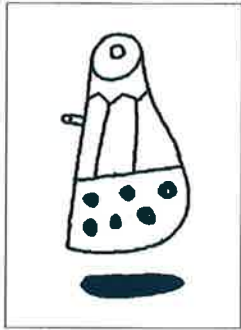
あなたをよく知ってる人は誰ですか？

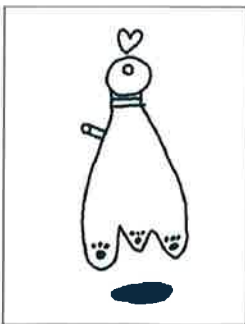
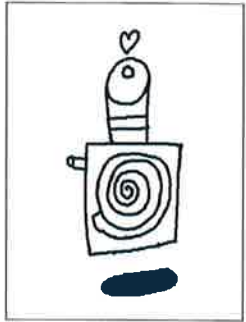
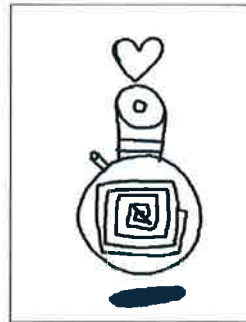
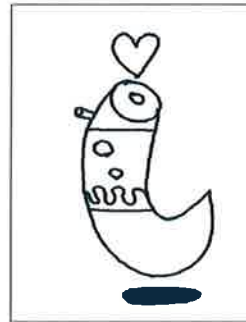
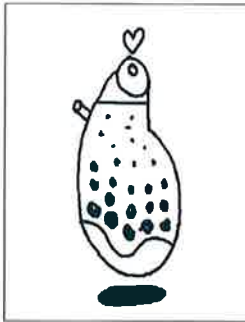
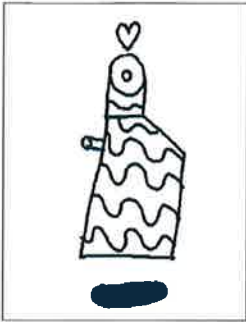
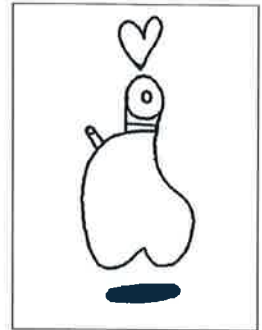
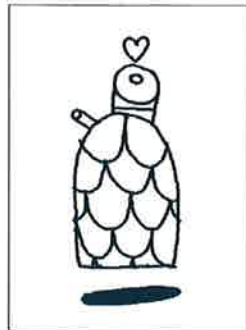
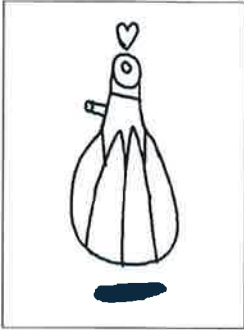
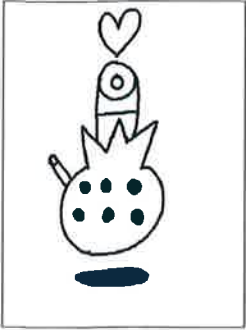
そのためにあなたは何をしましたか？

あなたがよく知ってる人は誰ですか？

そのためにあなたは何をしましたか？

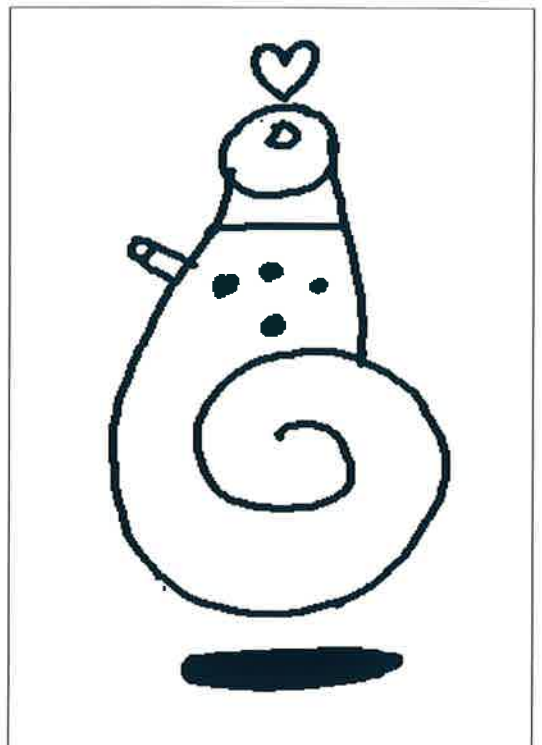
さて、あなたは誰ですか？





WHO ? . . .

WHO ? . . .



WHO? CLUB

WHO? CLUBへようこそ!!

"ほっと・ふう〜ファミリー"が
インターネットで得てます!

すいーと・ふう〜
(甘い味見のキャラクター)



あなたをわかってくれる人は誰ですか?

誰とどのくらい話しかけてくれるかは重要で、
他人の意見や感情を察知し、それに基づいて
自分の行動を調整する能力が、人間関係の
構築に不可欠です。自分自身で、自分自身
の個性や価値観を表現し、他人と
つながる能力が、人間関係の
構築に不可欠です。



あなたの「ほっと・ふう〜」って?

あなたの「ほっと・ふう〜」って? (質問文が繰り返されている)

IC 茨城キリスト教大学
文学部 / 生活科学部 / 看護学部

あなたをわかってくれる人は誰ですか?

WHO? CLUB

member's card

NO. _____ NAME _____


IC 茨城キリスト教大学



「誰かをわかってあげる」7つのヒント

ICオリジナルグッズをプレゼント!

誰かをわかってあげるには、まず自分自身を知ることが大切です。
その次に気がつくのは、相手の心、身なり、
でも、その次に気がつくのは、相手の心、身なり、
具体的な行動のヒントを、まず自分自身で探してみてください。
その次に気がつくのは、相手の心、身なり、
具体的な行動のヒントを、まず自分自身で探してみてください。
その次に気がつくのは、相手の心、身なり、
具体的な行動のヒントを、まず自分自身で探してみてください。



わかってくれる人は、誰でしたか?

誰かをわかってあげるには、まず自分自身を知ることが大切です。
その次に気がつくのは、相手の心、身なり、
でも、その次に気がつくのは、相手の心、身なり、
具体的な行動のヒントを、まず自分自身で探してみてください。
その次に気がつくのは、相手の心、身なり、
具体的な行動のヒントを、まず自分自身で探してみてください。
その次に気がつくのは、相手の心、身なり、
具体的な行動のヒントを、まず自分自身で探してみてください。

IC 茨城キリスト教大学
文学部 / 生活科学部 / 看護学部

いろいろな人の「わかってくれる人」を見てみよう。読んでみよう。

キャラクター、だいたいお母さん

【お母さん】 4P

キャラクター、だいたいお母さん

【姉妹兄弟】 8P

キャラクター、だいたいお母さん

【友だち】 8P

キャラクター、だいたいお母さん

【恋人】 10P

キャラクター、だいたいお母さん

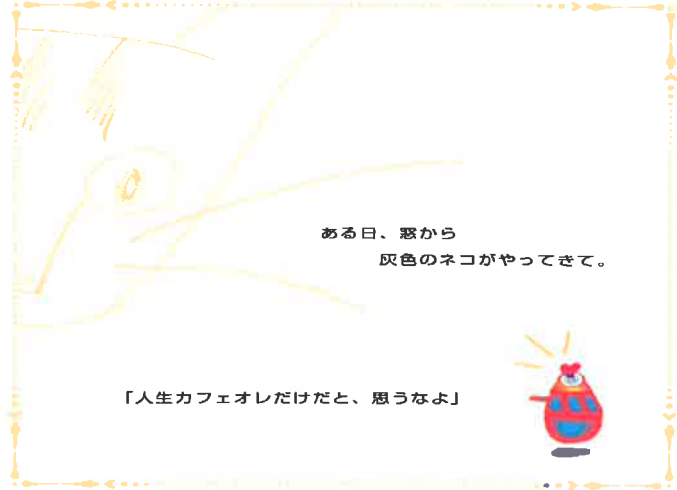
【その他】 12P

2冊目で登場したWHO? CLUBキャラクターの個性は、なんと100種類以上。
あなた、誰とどのくらい話しかけてくれるかは重要で、
他人の意見や感情を察知し、それに基づいて自分の行動を調整する能力が、
人間関係の構築に不可欠です。自分自身で、自分自身の個性や価値観を
表現し、他人とつながる能力が、人間関係の構築に不可欠です。

ぽかぽか・ふうーちゃんのお話



ぽかぽか・ふうーちゃん
ぽかぽか・ふうーちゃん



ある日、窓から
灰色のネコがやってきて。

「人生カフェオレだけだと、思うなよ」



ガッシャーーン。

ぽかぽかちゃん、ほうぜん。



なんと、そこには
ぽかぽかちゃんの仲間
ふうファミリーがたーくさん。



ぽかぽかちゃん、びっくりぎょうてん
だって今まで、れおちゃんが
人生のすべてだったから

動いてみないと、はじまらないのさ

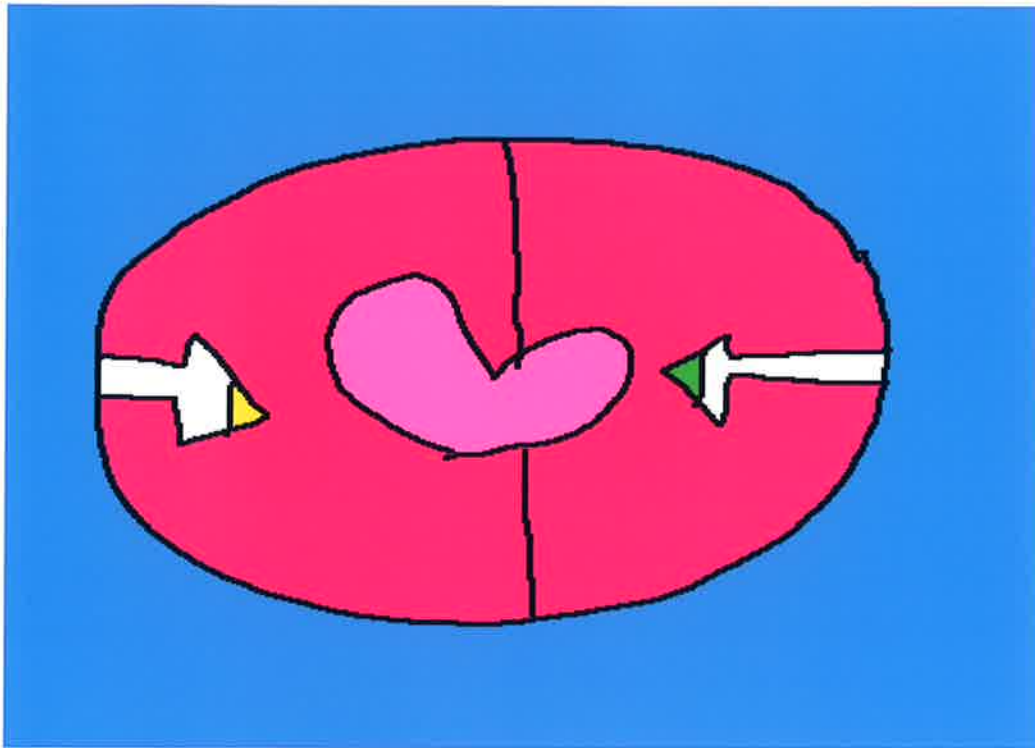


BIRD-KISS Project

006

「BIRD X CRAB」

共通する目的を共通するキャラクターで共有する。
そこからしか得られない「大切なココロ」を共有する。
そのベースづくりから気づく自分らしさ。
自分にとっての「まなざし」とは？
自分にとっての「おもいやり」のココロとは？



まなざしの共有。

ドキドキするココロを育む。

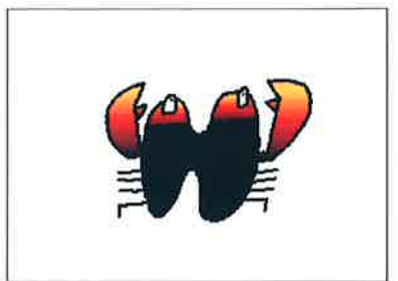
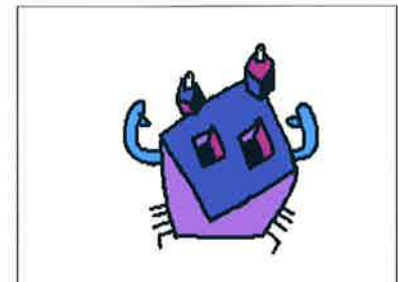
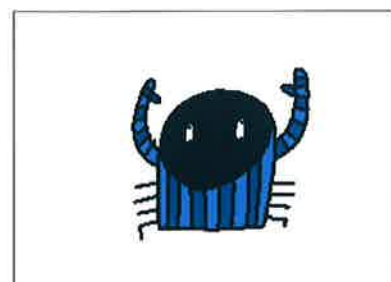
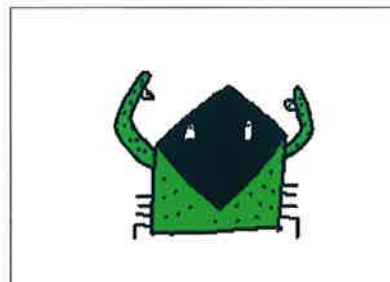
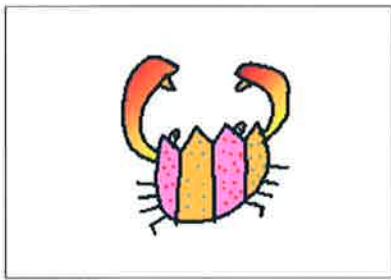
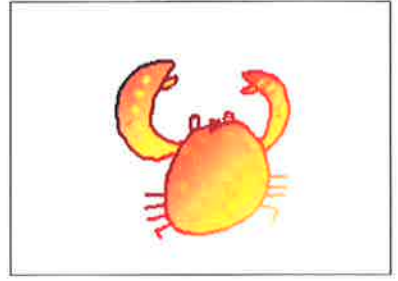
ウキウキするココロを育む。

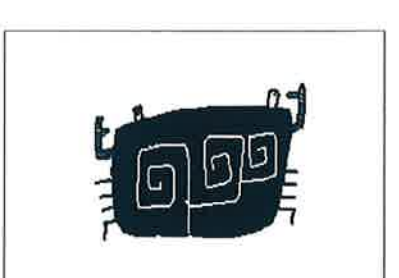
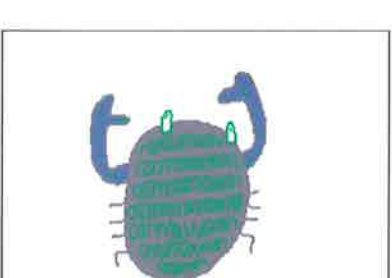
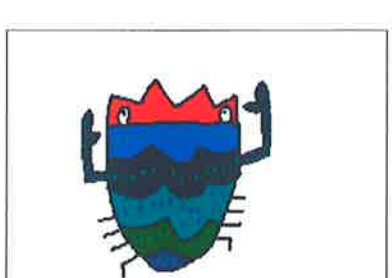
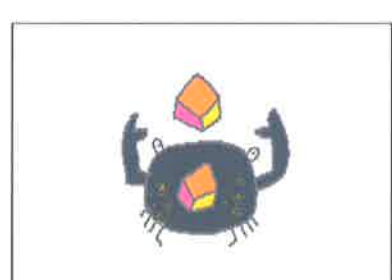
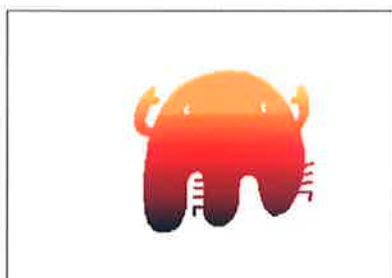
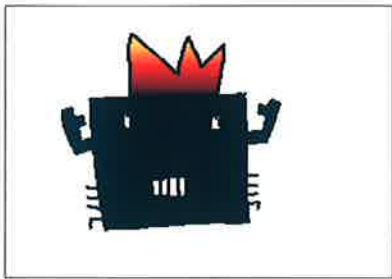
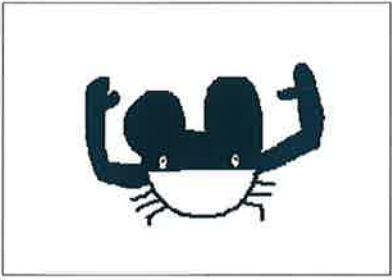
そして、

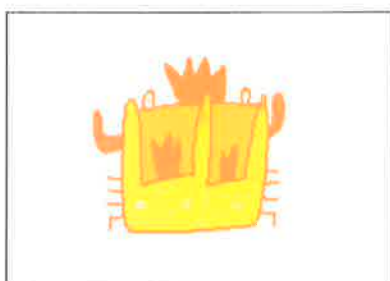
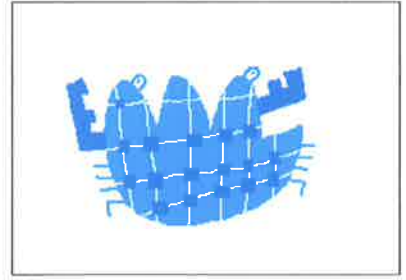
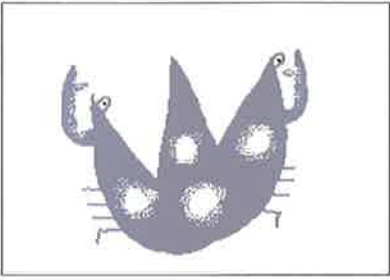
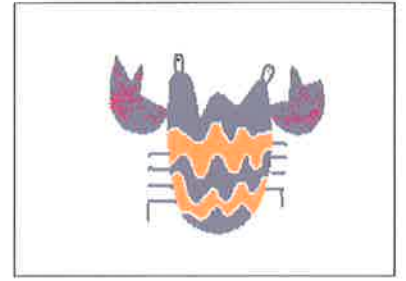
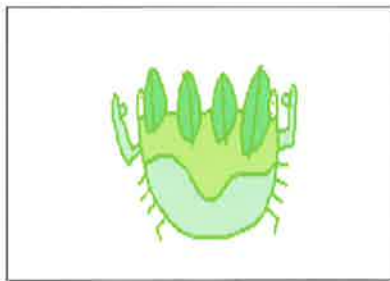
思いやりのココロを育む。

優しさのココロを育む。

そのココロをそっと覗いてみませんか？









NIIGATA SEIRYO UNIVERSITY
CRAB CLUB

Calendar

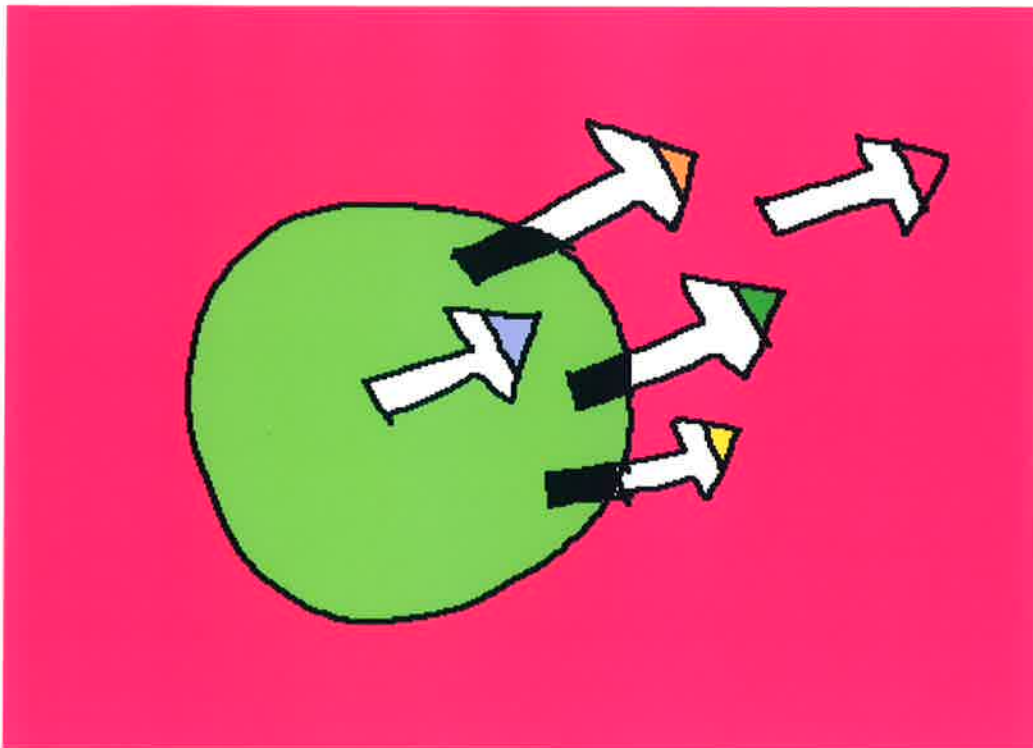
CRAB CLUB
あなたはこの色
「色」のじぶん
を描きますか？

BIRD-KISS Project

007

「BIRD X ネッピー」

リーダーになって、世の中を変えたい。
そのためにいろんな人からいろんな知識を得たい。
そして、いろんな人と語りたい。
そんな人々が集まる2週間プログラム。
彼ら、彼女らをネクストピープル、略してネッピーと呼ぶ。
スタートしてから15年。2400人のネッピーが誕生した。



アイデンティティーズ

同じ刺激を受ける。

だから、違う目的が生まれる。

同じ刺激を受ける。

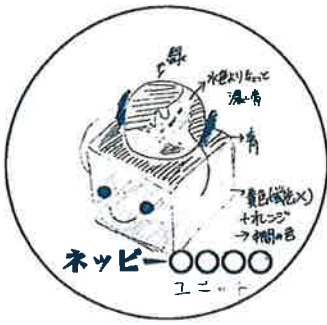
だから、違う主張が生まれる。

同じ刺激を受ける。

だから、違う行動が生まれる。

だから、昨日と違う自分が生まれる。

卒業式の時の、これからの決意を「イラストで表現」。1人ひとりが描いたネッピーを、かんバッチにしたものを胸に生きていきます。すでに2600名以上のネッピーが誕生しています。



誕生のみなさんへ

「ネッピー」のキャラクターをあなたなりに表現してください。

あなたの考えたオリジナル・ネッピーを、大勢さんが作り、かんバッチに仕上げ、プレゼントしてくれます。

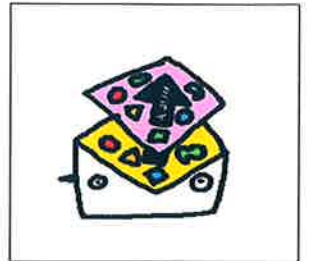
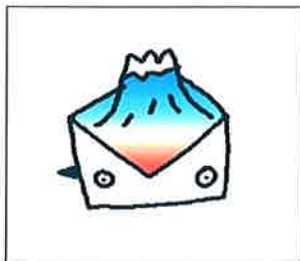
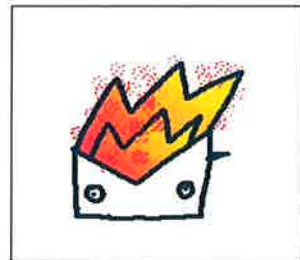
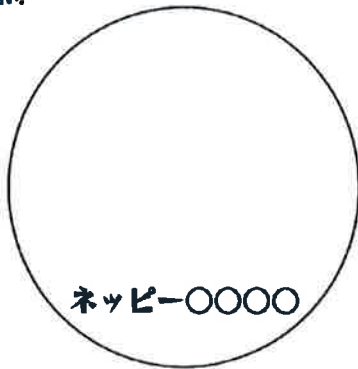
現在のキャラクターは、あなたの部分に英語のスペルが隠っていますが、この部分に自分なりのイラストに変えて、誕生ひとりひとりのオリジナルキャラクターを完成させるという仕組みになっています。大勢さんとのコラボレーションというわけです。リーダー・誕生担当が考えたときの気持ちを、ぜひ表現してもらいたいです。

◎第2期生の例



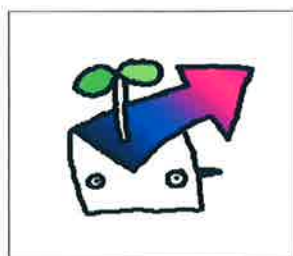
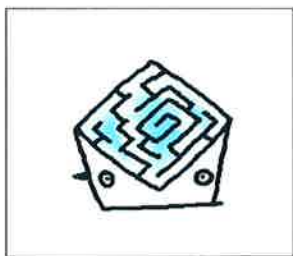
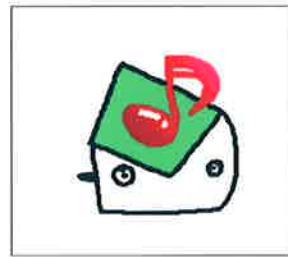
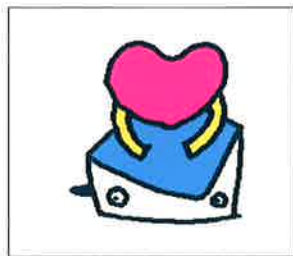
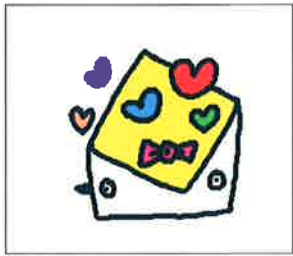
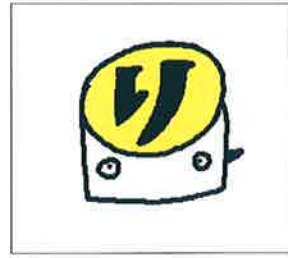
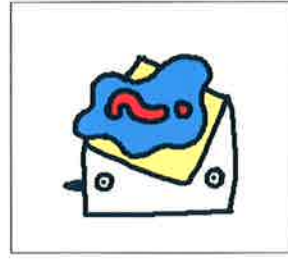
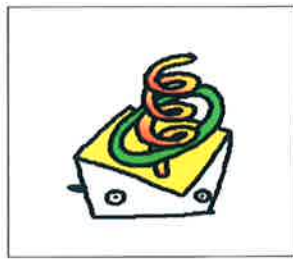
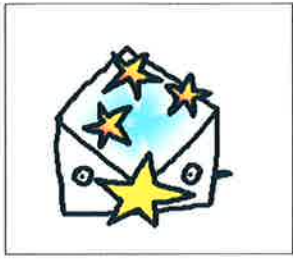
◎かんバッチに仕上げますので、円の中に収まるように描いてください。また、色のイメージもあれば添えてください。

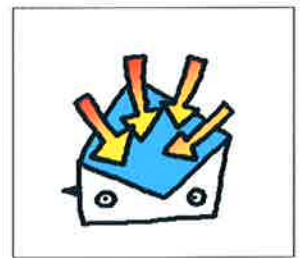
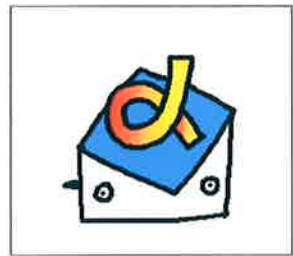
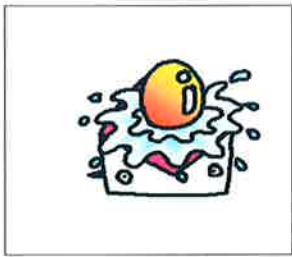
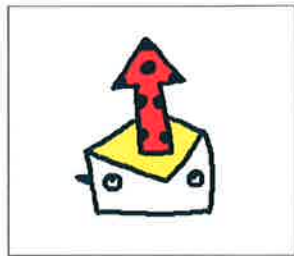
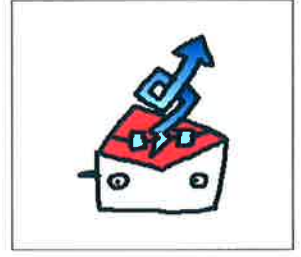
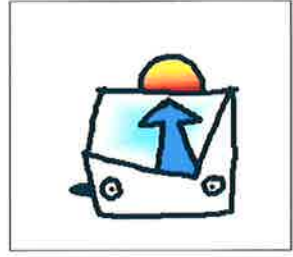
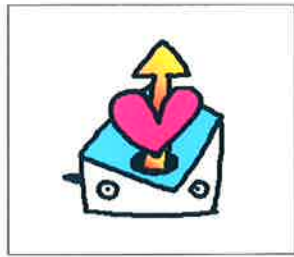
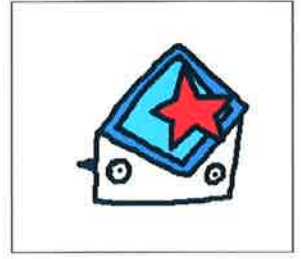
◎描いた意図を書いてください。

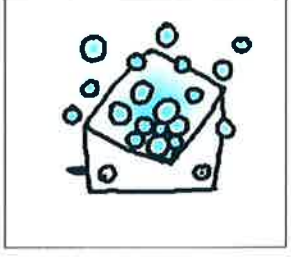
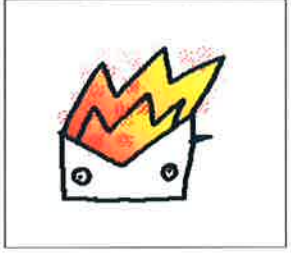
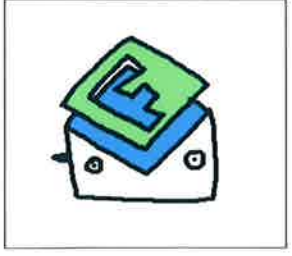
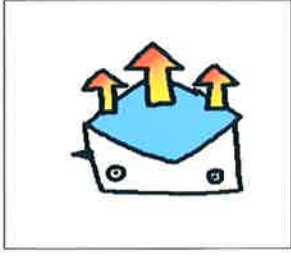
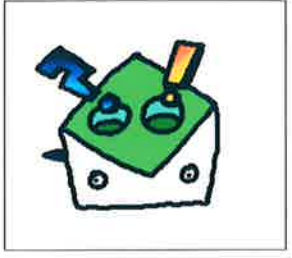
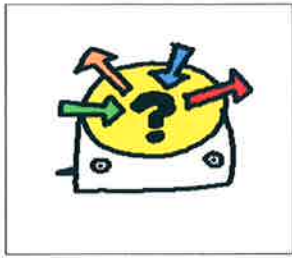
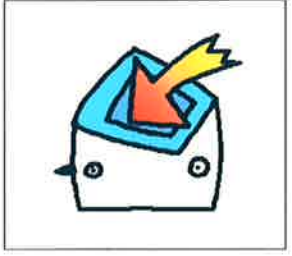
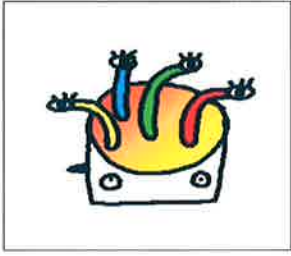
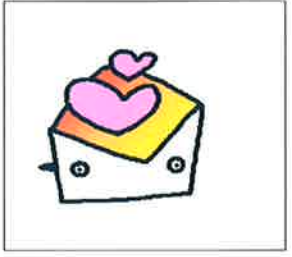
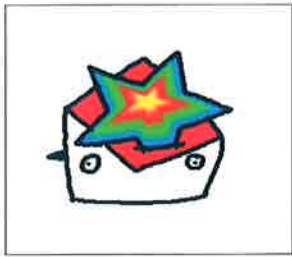
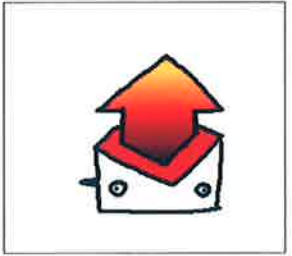


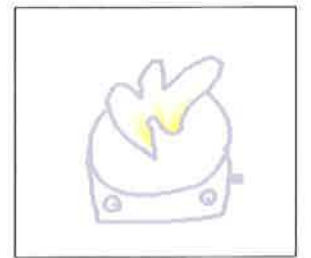
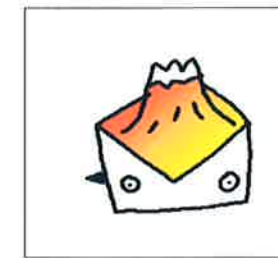
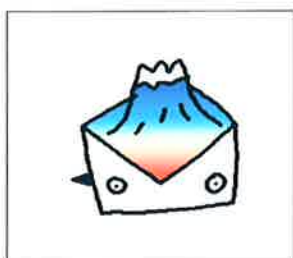
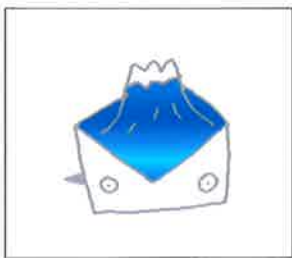
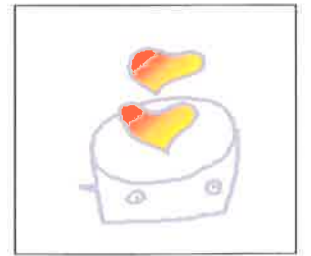
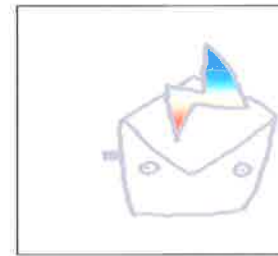
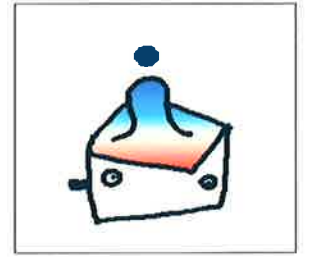
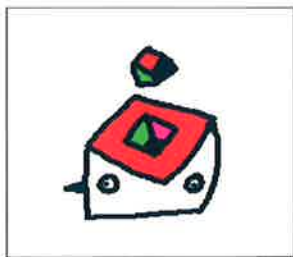
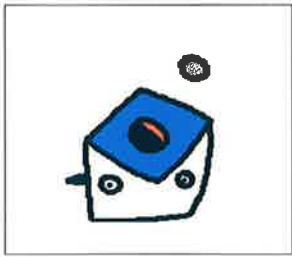
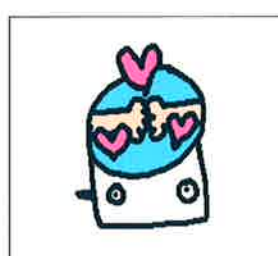
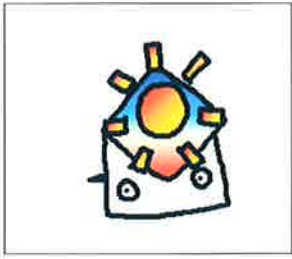
種	名前	○のところにニックネームを入れます。4文字です。	ネッピー
ID No.			

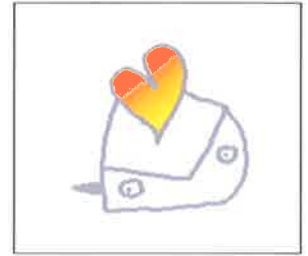
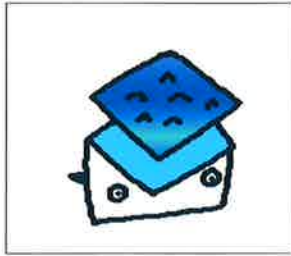






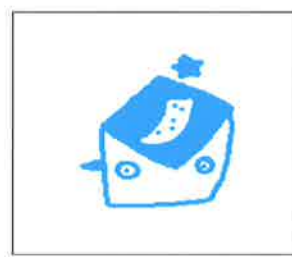
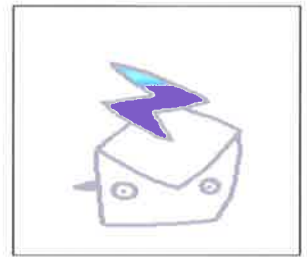






「ネッピー (ネクストピープルの略)」というネーミングは第1回の塾生から公募で決定。





いつか
何かで出会うのだから？



2007年4月10日(水)～10月10日(水)

日本の次世代リーダー育成塾

修了証書

加藤幹子 氏

第一期
日本の次世代リーダー育成塾
において 修了の成績を
修了したことを証する。

2009年8月10日

日本の次世代リーダー育成塾
塾長 加藤 幹子
代表 執行 加藤 幹子

● 独特な想像力が、次の日本を創る。
世界への扉を開き、大いに誇らう、卒業のため。

● 日本のみならず世界で活躍する
国際的、学際を代表する国際力が他のこもった組織を行います。

● 国際人とは一流の日本人、
国際の文化に精通し、
自国の文化を理解する力
が必要だ。
国際文化を
学ぶことは国際社会で生きていく
ための必須条件だ。

● 我々は「世界の中の
日本」に生きている
ことをもっと自覚し
なければならぬ。
何卒、
国際社会で
生きていく。

● 一人の独立は一身の
独立にあり、一身の
独立は学園にあり。

● 映画に登場はない、
人も文化も映画から交
わること、誰かをこ
とで導くことで、
● 塾生
シフトメンタル

● 人間らしい国の活動
は「国をもつ」こと、
いつも国境をみつ
ける努力を！
● 加藤
塾長 加藤 幹子
代表 執行 加藤 幹子

● 人間は「器」が大器、
そして「器」の高さが
文化である。

● 日本文化の精華や本質を
自分と捉えることがで
る機会を身につけること
が、
ますます重要とってくる。

● 小さな器ですべての器は
大きく育たない。自分の心
に器を持つにいて大器の
中で自分を高め、心の大器
な人間になってほしい。

● 国際社会
で生きていくには、
● 加藤
塾長 加藤 幹子
代表 執行 加藤 幹子

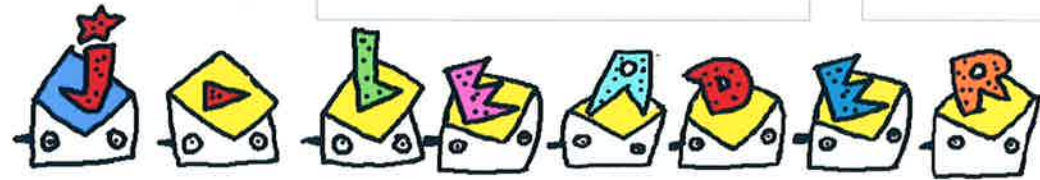
● 映画を全体的ではなく面白い
ものが欲しい。この素晴らしい
個性は日本人の真実だ。

● 加藤
塾長 加藤 幹子
代表 執行 加藤 幹子

2018,7,25日,7
第15回 高校生のための
日本の次世代リーダー育成塾




Japan Future Leaders School
日本の次世代リーダー育成塾



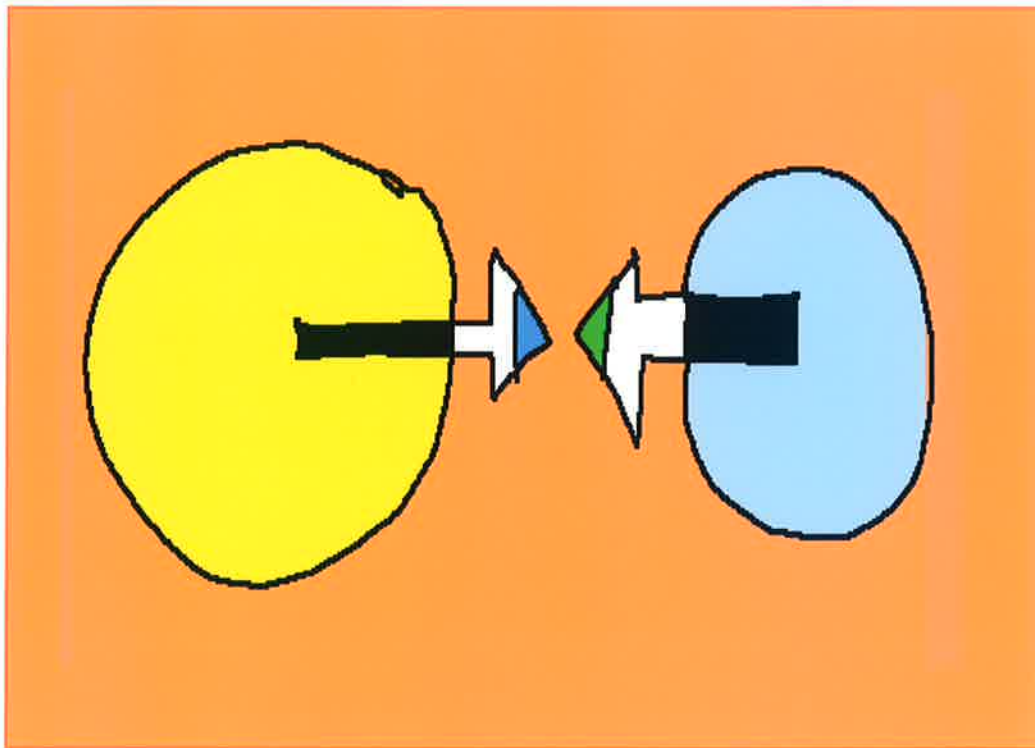


BIRD-KISS Project

008

「BIRD X ありがとう」

あなたは、誰にありがとうを言いたいですか？
あなたは、誰からありがとうと言われたいですか？
ありがとうを言い合う関係は幸せのループ。
まずは、たった1人から、
ありがとうフレンズを見つけませんか？



ハッピー！ハッピー！

ありがとう、がくれる感謝。

ありがとう、がくれる幸福。

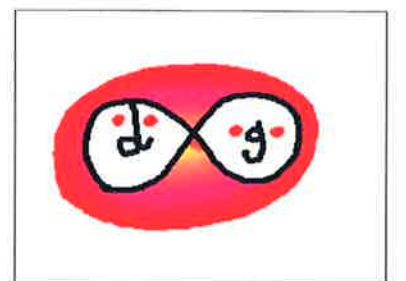
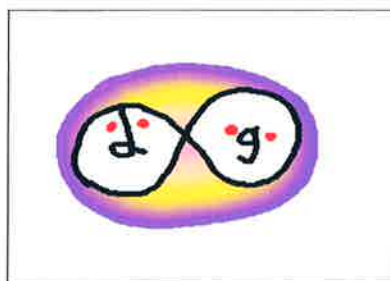
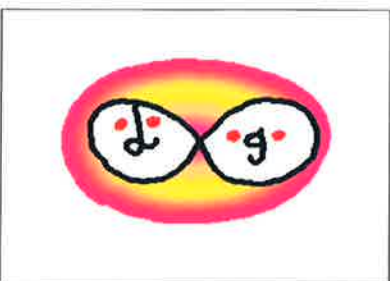
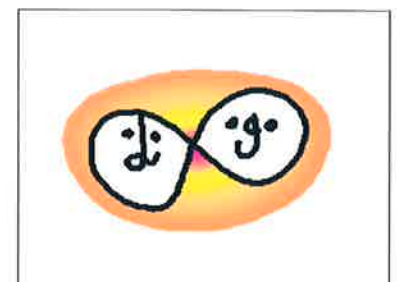
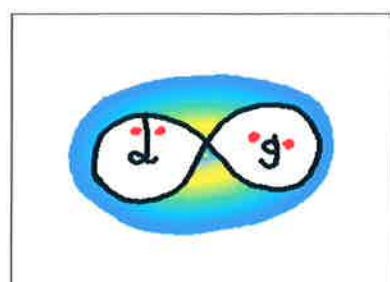
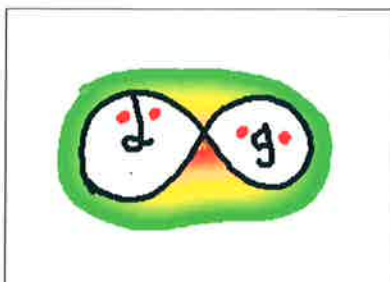
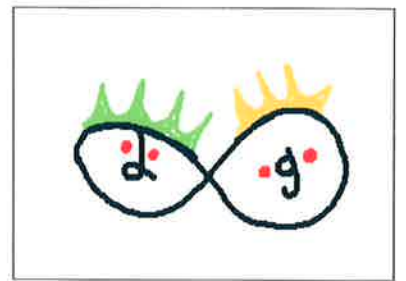
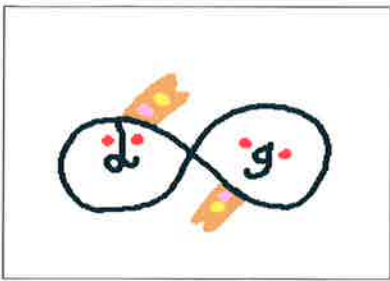
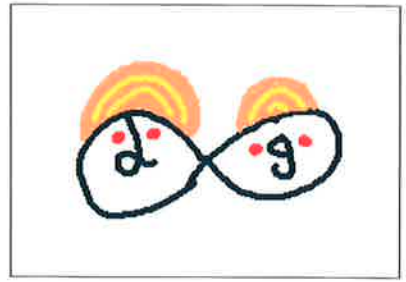
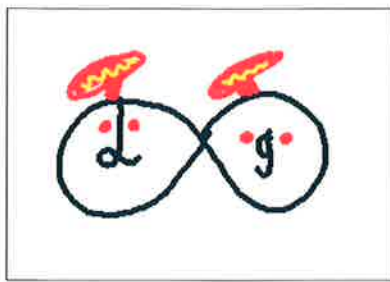
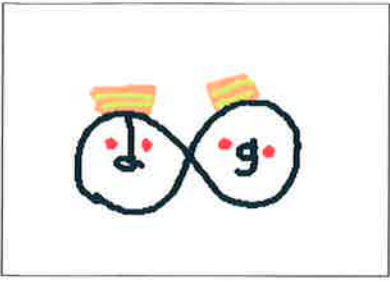
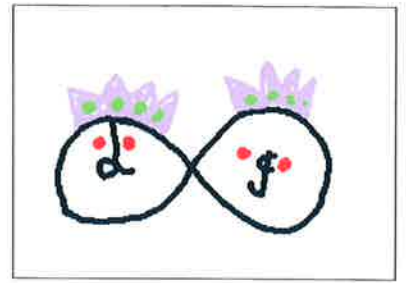
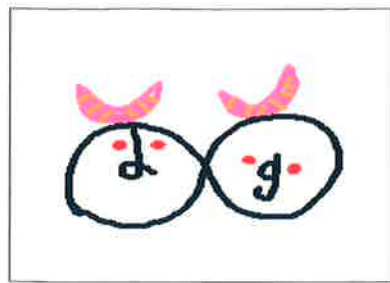
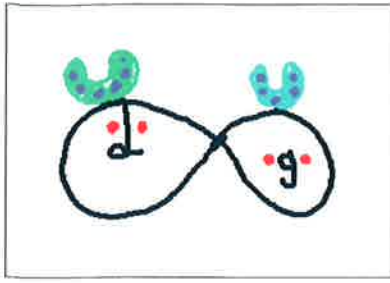
ありがとう、がくれる愛情。

そして、

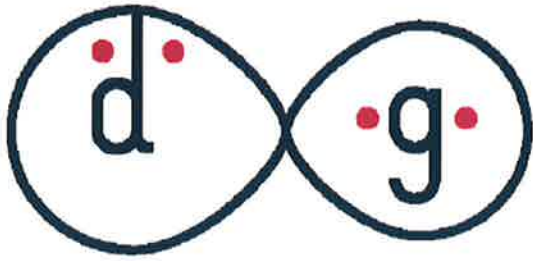
ありがとう、がくれる勇氣。

ありがとう、がくれる決意。

ありがとうっていいな。



ありがとう、と言われること。

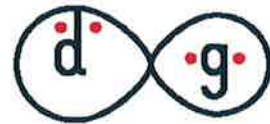


電波学園

ありがとう、と言われること。

電波学園

今、人と人のコミュニケーションが複雑になっていると言われていま
す。インターネット、メールなど、人と会うなくても人と話している気
になる。人と人と向かって話すのがめんどくさい、うざい、実際に会話を
しても、その場限りの会話しかできない。そんな時代、もっと人と人
が心から言葉を話し、コミュニケーションできることが、教育をは
じめ、社会に必要なことだと感じます。そこで、「ありがとう」という言
葉に注目しました。この言葉は、すべての会話の基本。決して家庭に
使うのではなく、人が人から感謝する時に使う言葉です。
さらに、シンボルマークは、2つの顔をつなげるカタチとし、教師と学
生がコミュニケーションをとっていることをイメージしました。
電波学園グループは、学生一人ひとりが心こめて「ありがとう」と
言われる教育を行わなければいけないと思います。確かに一人ひと
り個性の違う学生に、「ありがとう」と言われることは御喜ではありま
せん。しかし、生徒と共に歩み、共に将来を積み重ねるといふ基本姿
勢を貫き、一人ひとりに「ありがとう」と言われる学園であることで、
社会に感謝される学園になるのです。



電波学園



ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。



ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。

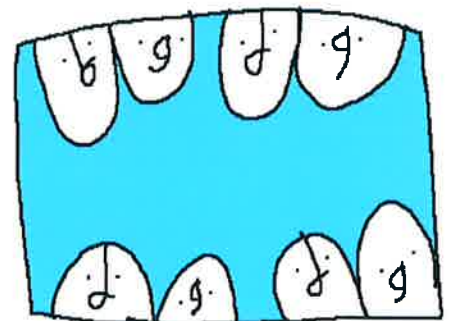
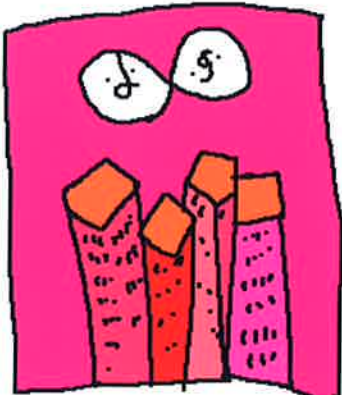
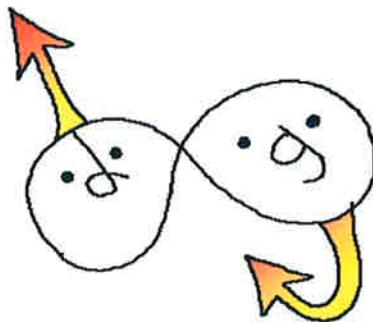
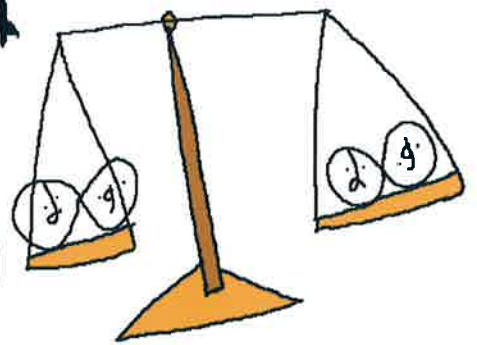
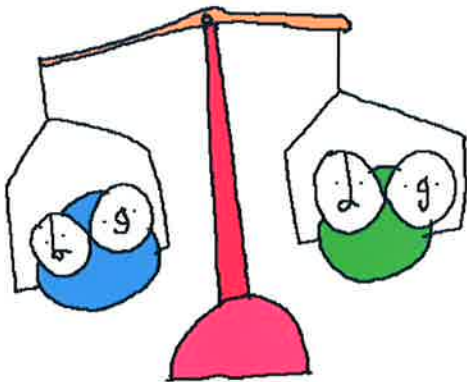
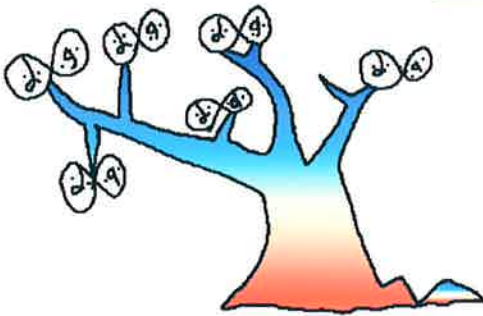
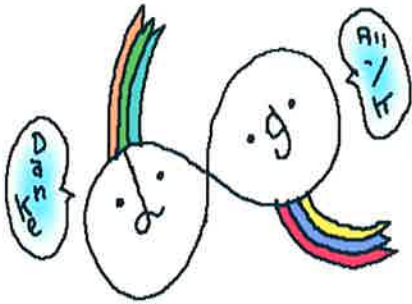
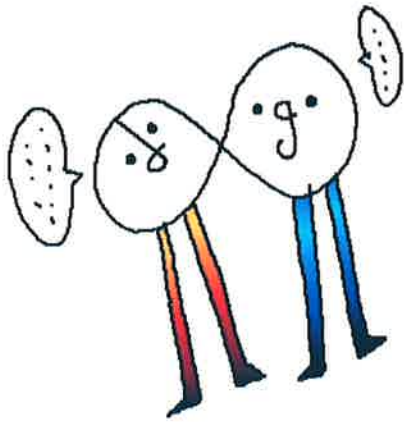
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。
ありがとう、と言われること。



電波学園



ありがとうの タネを蒔こう プロジェクト BOOK



BIRD-KISS Project

009

「BIRD X いきいき君」

自分と会社の関係が、いかにフラットであるか。
自分のしたいこと、自分が信じていることから、
会社の存在価値を考えてみる。
会社評価は、自分評価とのマッチング。
自己成長できる会社かどうか？である。
いきいき生きよう！



脱、平均的日本人。

働くということは、自分発見。

働くということは、自分磨き。

働くということは、自分賛歌。

働くということは、自己成長。

働くという事で、生きていく。



経営哲学BOOK ココロストーリー

「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」を大切にする
人々のココロを育てるための経営哲学を、
経営者としての心構え、社員としての心構え、
顧客との関係性、社会との関係性、などを通じて伝える。



「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」
人々のココロを育てるための経営哲学を、
経営者としての心構え、社員としての心構え、
顧客との関係性、社会との関係性、などを通じて伝える。
日本サービスメントセンター

「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」のための 5つの行動指針

- 1 会社と人間性
- 2 真摯に、一生懸命に
- 3 みんなとやりきる
- 4 ひたつクリアして成長
- 5 切りかえる

※各指針の解説は、本書の別冊「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」の各章で詳しく解説しています。

指針1 自分を大切に。

「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」を大切にする。自分自身を大切にすることは、会社や社会に貢献するための前提条件です。自分自身を大切にすることで、周囲の人々にも良い影響を与え、共に成長することができます。

指針2 真摯に、一生懸命に。

「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」を大切にする。真摯に、一生懸命に働くことは、会社や社会に貢献するための重要な要素です。真摯に、一生懸命に働くことで、周囲の人々にも良い影響を与え、共に成長することができます。

指針3 みんなとやりきる。

「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」を大切にする。みんなとやりきることは、会社や社会に貢献するための重要な要素です。みんなとやりきることで、周囲の人々にも良い影響を与え、共に成長することができます。

指針4 ひたつクリアして成長。

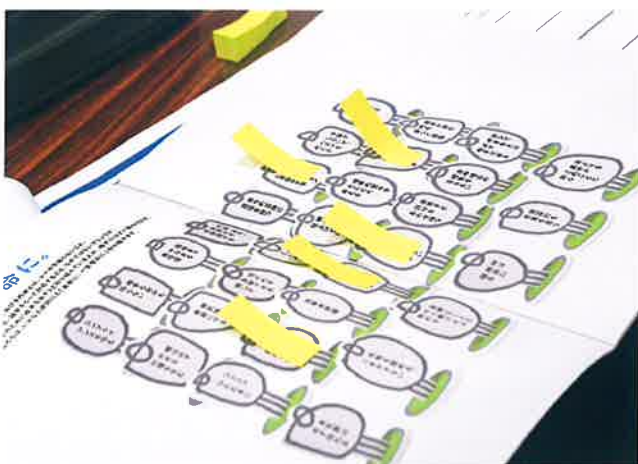
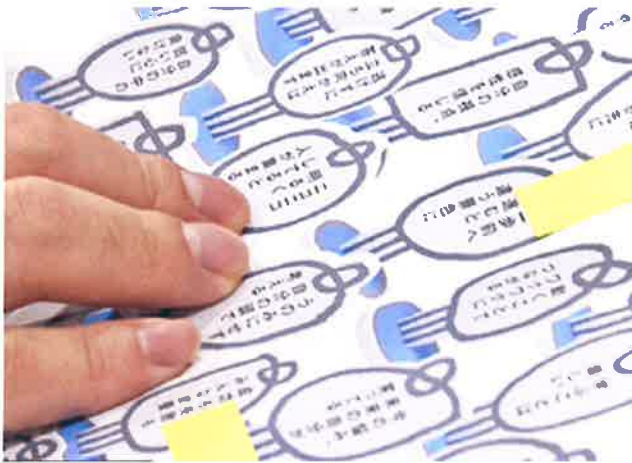
「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」を大切にする。ひたつクリアして成長することは、会社や社会に貢献するための重要な要素です。ひたつクリアして成長することで、周囲の人々にも良い影響を与え、共に成長することができます。

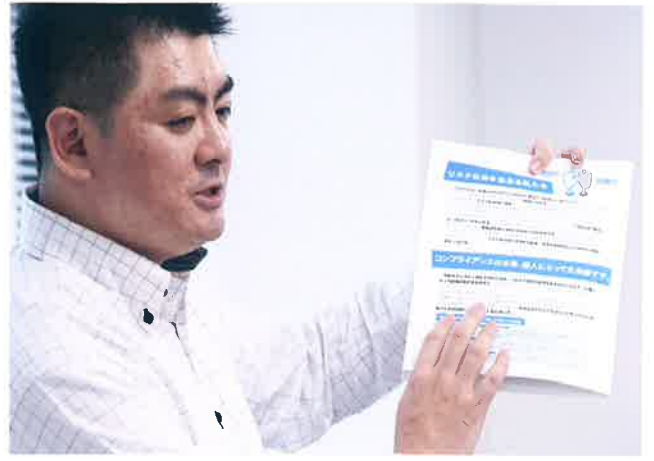
指針5 切りかえる。

「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」を大切にする。切りかえることは、会社や社会に貢献するための重要な要素です。切りかえることで、周囲の人々にも良い影響を与え、共に成長することができます。

「変わる」という選択。 「動く」というチャレンジ。

「いっしょに働く、頑張る、楽しむ」を大切にする。変わる、動くことは、会社や社会に貢献するための重要な要素です。変わる、動くことで、周囲の人々にも良い影響を与え、共に成長することができます。



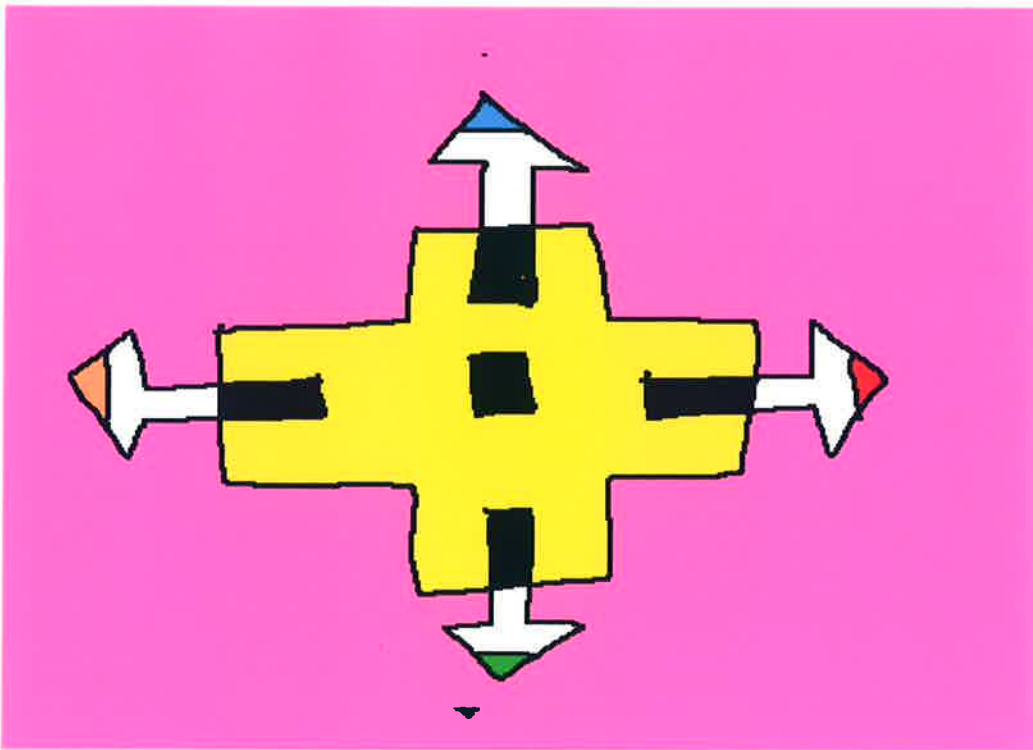


BIRD-KISS Project

010

「BIRD X ING-01」

何が同じで、何が違うといいのか？
何が一緒に、何が一緒にダメなのか？
みんながみんな「いいね」というのは、単なるブーム。
ライフスタイルを変えるような、
そんな「主体性」をもつことで、
おおきなムーブメントを起こそう！



フラットなヒエラルキー。

みんなが集まると、わからなくなる。

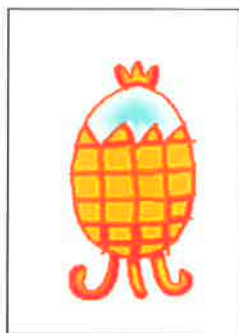
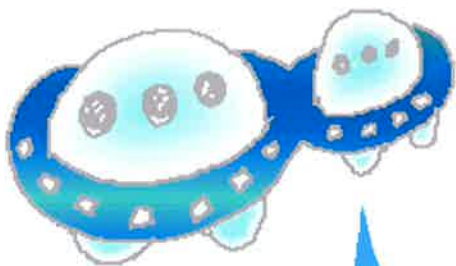
みんなが集まるからこそ、わかってくる。

みんなと自分の関係。自分とみんなの関係。

自分=みんな。みんな=自分。

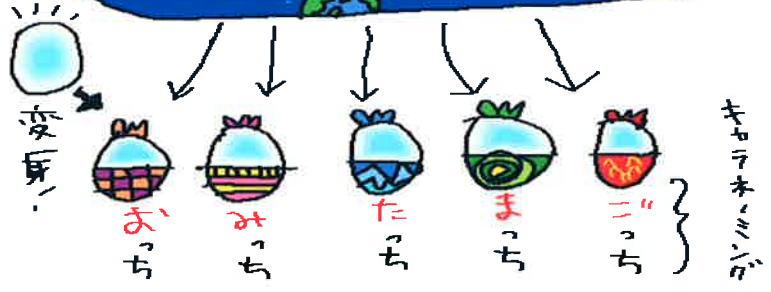
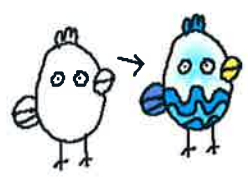
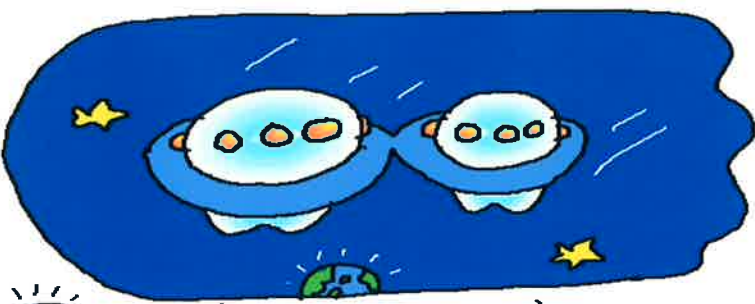
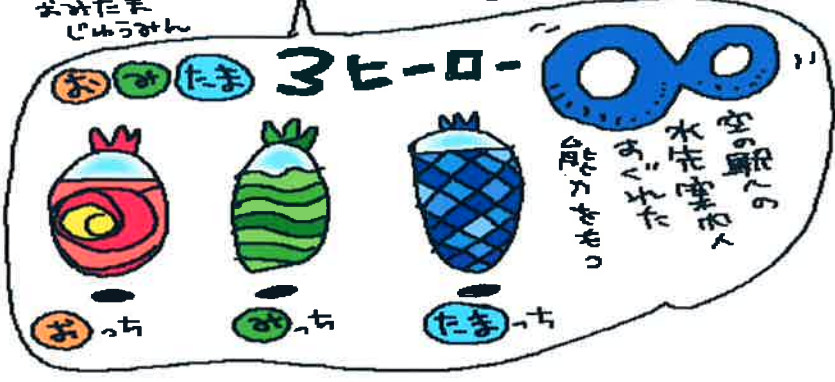
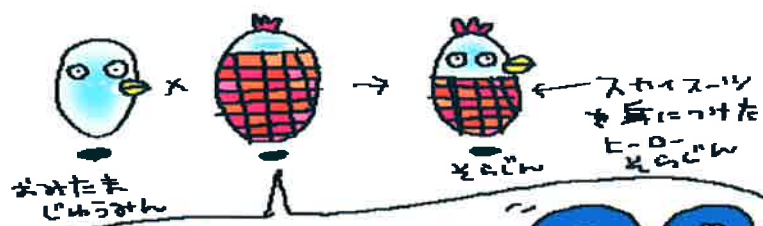
それぞれの存在意義を探ってみよう。

空の駅

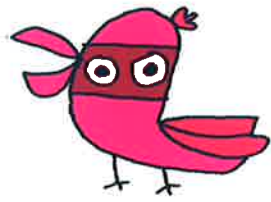


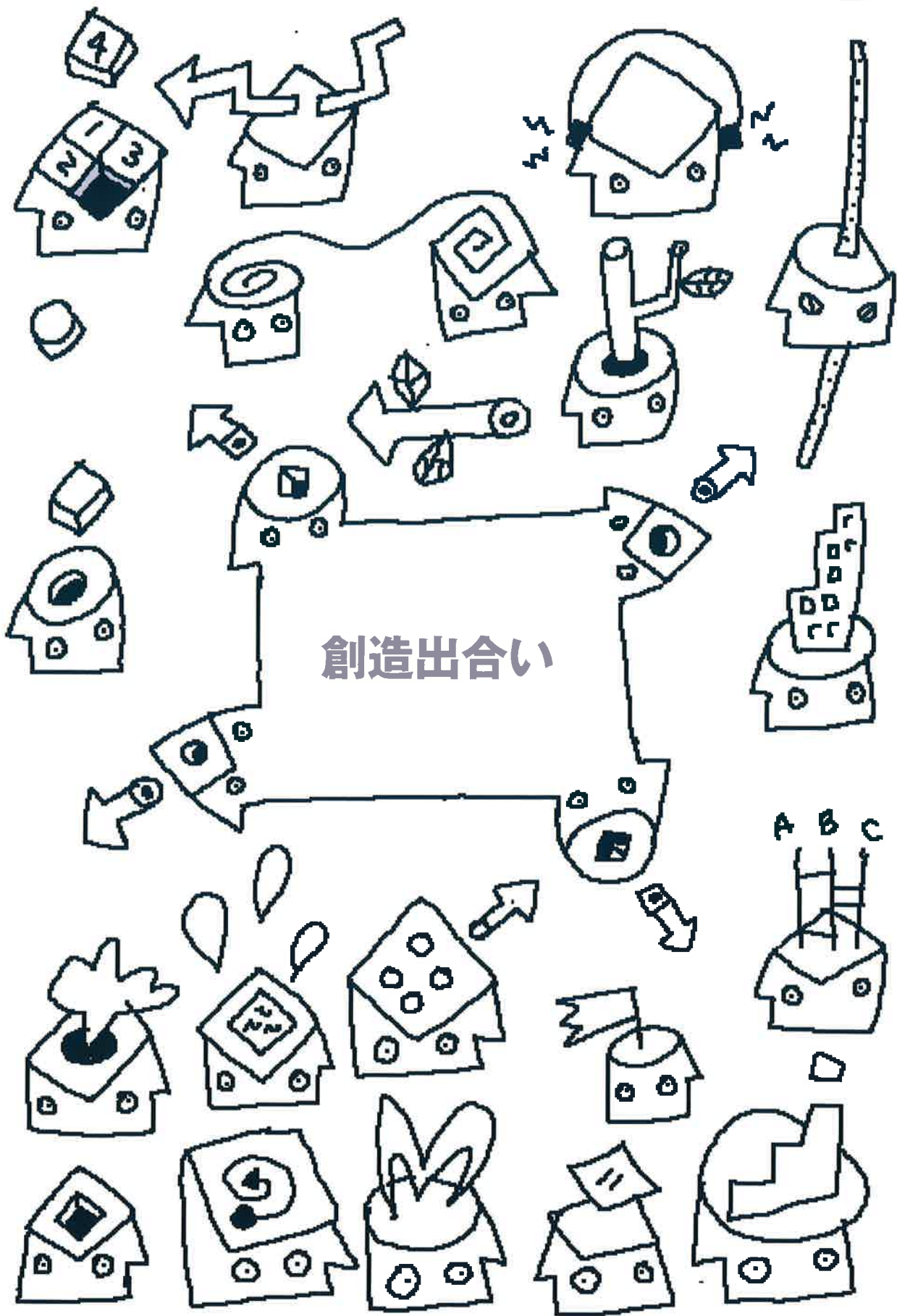


おみたまの卵は、スカイステーションで孵化する。おみたまの卵は、スカイステーションで孵化する。おみたまの卵は、スカイステーションで孵化する。



karasu

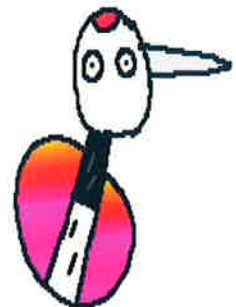
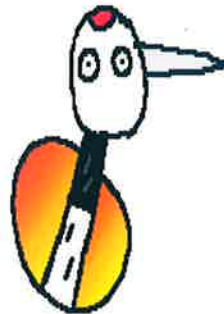
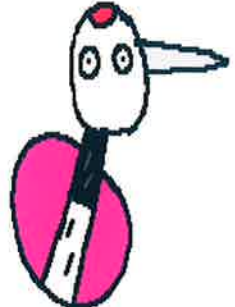
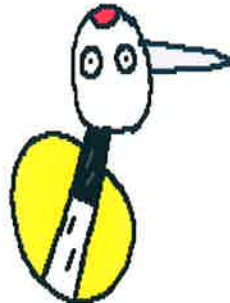
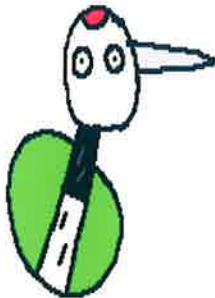
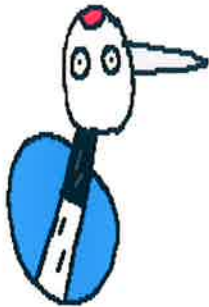
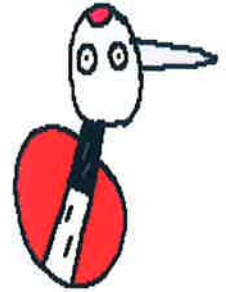
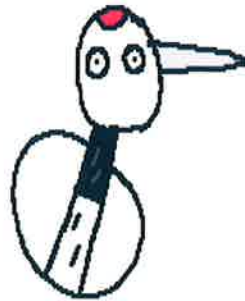
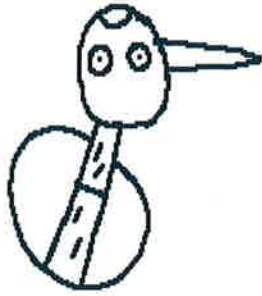




創造出合い

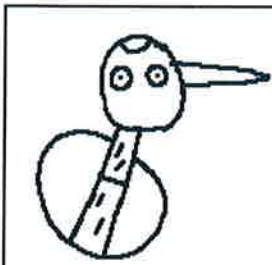


鶴居町



鶴居村のタンチョウ「ぬり絵」コンクール

あなたのイメージで、鶴居村のタンチョウに色をつけてみませんか？
もっともっとほしい鶴居村キャンペーン！！



※タンチョウについて書いてください

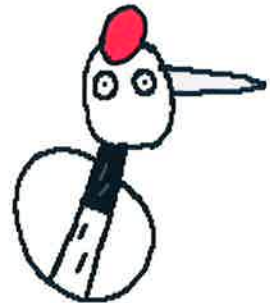
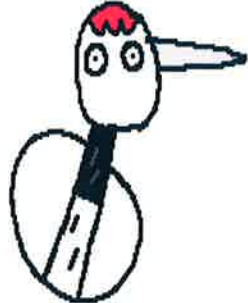
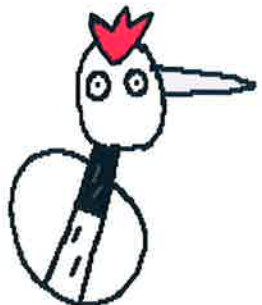
※鶴居村について書いてください

鶴居村について

！中野キョウコローのマーク
によってしるすを認める
す。"鶴居のカラー"は認定する
(図例1) 色の、ある程度
ぬり絵を塗りかたで塗りし
るようにして、(図例1-a)
！認定の枠が認定する
(図例1) 色の、ある程度
ぬり絵が認められるようにし
す。(図例1-a、1-b) によ
て、アプリアーシヨンの調
(たとえは) 別のしるす



！中野キョウコローのマーク
によってしるすを認める
す。"鶴居のカラー"は認定する
(図例1) 色の、ある程度
ぬり絵を塗りかたで塗りし
るようにして、(図例1-a)
！認定の枠が認定する
(図例1) 色の、ある程度
ぬり絵が認められるようにし
す。(図例1-a、1-b) によ
て、アプリアーシヨンの調
(たとえは) 別のしるす
マークを認める。別のしるす
を認める。他、別のしるす
くて、登録しやういふ
て、登録しやういふ



BIRD-KISS Project

011

「BIRD X ING-02」

ひとつにまとまると、安心する。
同じだという安心感。
ひとつにまとまると、不安になる。
同じだという恐怖心。
あなたは、どちら派ですか？



同じは、違う。

同じだから、違う。

同じだから、それぞれ違う。

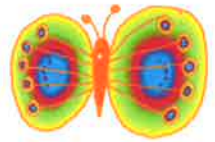
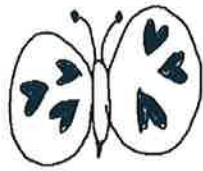
同じだから、みんな違う。

同じだから...

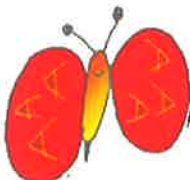
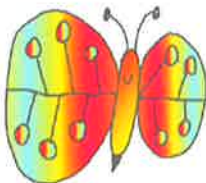
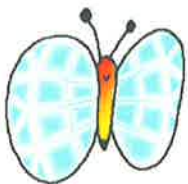
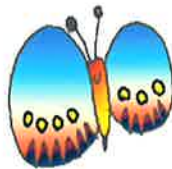
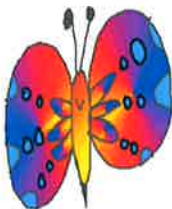
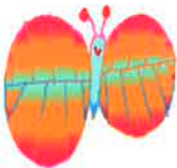
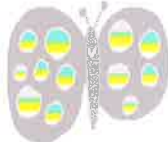
同じだから...

同じだから...

羽化



キミの羽化ボタンを、
探してあげる。





教より、育。

あきらめない教育。

つなげ、変化。

わかる=つながる。

脱皮力。

成長の糸。

忘れられない学校が、ありますか。

がわかる=つながる。

三幸学園

成長は、ストップしない。

脱皮力。

三幸学園

ひとりにゃ、夏えらわれないあなたがいる。

成長の糸。

三幸学園

卒業後のあなたに話したい。

つなげ、変化。

三幸学園

人に、茶食品という言葉はありません。

あきらめない教育。

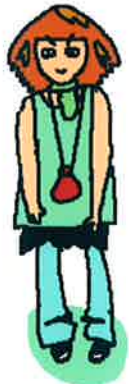
三幸学園

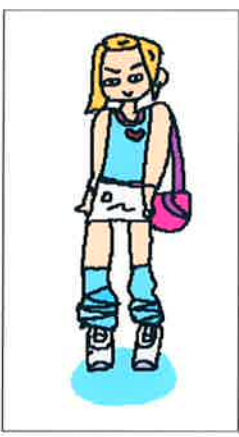
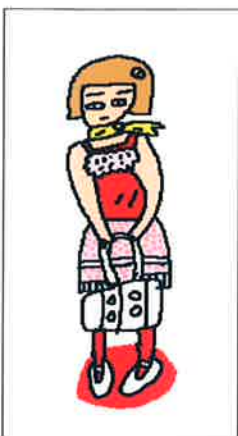
指を止めるから、夏入があるから。

教より、育。

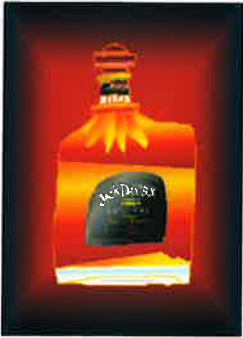
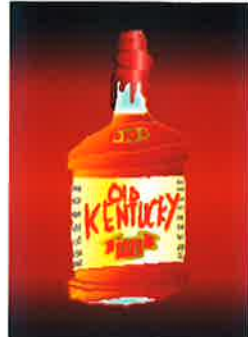
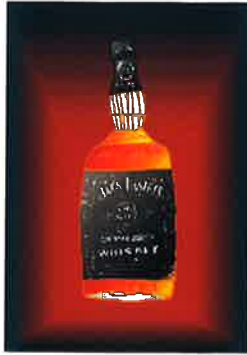
三幸学園

POP





BOURBON







「BIRD-KISSホームページ」
www.bird-kiss.com



BIRD-KISS
/FB



BIRD-KISS
/美術館



Home

- BIRD人気投票開催
- カレンダープレゼント企画
- カレンダーフォト投稿企画
- 世界のコトを考える
- おりがみプロジェクト
- あなたのBIRD活用術は？
- カレンダー&おりがみ
- お問合せ
- IN・COMサロン
- IN・COM所在地
- BIRD-KISSとは
- BIRDシェア/パッチ
- 1998日経BP部門大賞
- 大阪一省ワールド
- 作者プロフィール
- 作者ブログ
- BIRDについて
- BIRDコレクション
- BIRD Creative Style
- BIRDワークショップ
- BIRDステーション



BIRD WEB 美術館がオープン致しました。 >>
ご来館をお待ちしております。 >>

現在までFacebookページにて、皆様から撮影して頂いたBIRD折り紙写真を紹介していましたが、これからは、新たに「BIRD WEB 美術館」として独立したサイトを立ち上げ、「BIRD 100」「新BIRD」の美術館として、そして皆様からの投稿BIRD写真を企画展として、展示させて頂きたいと考えています。
投稿もシンプルにダイレクトに写真データを送信できるようにいたします。
8/6(月)から、皆様からの「BIRD WEB 美術館」へのご参加をお待ちしております。

BIRD-KISS モンゴルレポート

6/18(月)~22(金)、
モンゴルでのBIRD-KISS活動について、レポートとしてまとめさせていただきました。ぜひ、興味のある方はご覧ください。
よろしくお願ひ致します。

※PDF版は下記よりダウンロードしてください。

BIRD-WSモンゴルレポート-0630.pdf
PDFファイル 7.4 MB
[ダウンロード](#)



BIRDって何た?

BIRD攻略: 5つのHINT!!!!

君はもう見ましたか? BIRD100変化!

BIRD映像 スライドショー

BOURBON映像 スライドショー

BIRDが羽はたく! コラホレーション実例

BIRD日経BP大賞受賞

文化庁 BIRDは「大賞」部門として受賞している。 登録年: 2001.10.16 登録番号: 0177014-1

BIRDをシェア!

BIRD-KISS BIRD写メ募集中!

大賞の栄冠と カレンダーシェア

BIRDを使って作られた「パッチ」 [DALJYOUBU/パッチ] を送りませんか?

おりがみをするための BIRD CLUB



BIRDって何た?

BIRD攻略: 5つのHINT!!!!

君はもう見ましたか? BIRD100変化!

BIRD映像 スライドショー

BOURBON映像 スライドショー

BIRDが羽はたく! コラホレーション実例

BIRD日経BP大賞受賞

文化庁 BIRDは「大賞」部門として受賞している。 登録年: 2001.10.16 登録番号: 0177014-1

BIRDをシェア!

BIRD-KISS BIRD写メ募集中!

大賞の栄冠と カレンダーシェア

BIRDを使って作られた「パッチ」 [DALJYOUBU/パッチ] を送りませんか?

おりがみをするための BIRD CLUB

BIRDをお手元に!

アートで自分らしさを。オンタメント専門サイト「Jamaru」からGET!

アートでコミュニケーション。BIRDポストカレンダー「Jamaru」からGET!

祝賀と御賞から自分らしさを高めるサイト「ecotova」からGET!

日常の中にアートを。セレクトBIRDポストカード「Houshi」からGET!

オリジナル立牌BIRDやオリジナルハンダは「BIRD-KISS」からGET!

BIRDに逢おう!

住民参加のまちづくり。BIRD文化館「あいのれ」のあるBIRD美術館へGO!

職業界の教育施設。オオサマフォーラム内BIRDステーションへGO!

経済界の新しい顔の中でBIRDにふれてませんか? トミー倶楽部へGO!

中野ステーションから3分。コーヒーブレイクにBIRD! BIRDサロンへGO!

オリジナルキャラファイル

CLUB

WASH

ART

POST

GO!

Facebookでは日常的に情報発信しています。

[大阪一省 Facebookページ](#)

[BIRD-KISS Facebookページ](#)

IN・COM 株式会社

BIRD

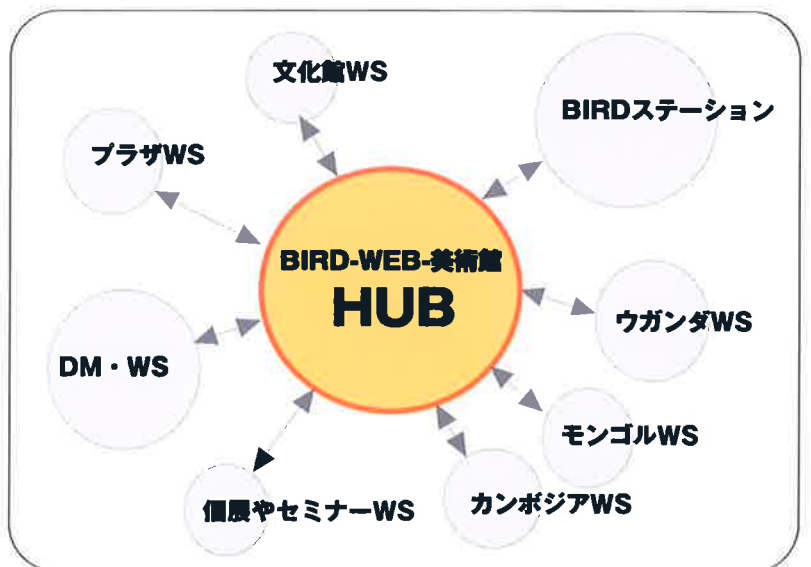
WEB

美術館

世界中にBIRDの輪を広め、
世界中からオリジンBIRDを
集めたい。世界の人々のBIRDを世界中の人が
見ることができるBIRDのHUBステーションです。
BIRDWEB美術館にあなたのBIRD作品を飾りませんか？



自分発見!?
BIRD WEB 美術館



私達は、21世紀を生きる子供たちのためのBIRD-KISS（アートコミュニケーションプロジェクト）として、100種類の創作BIRDのぬり絵や折り紙を中心としたワークショップを各地で積極的に展開しています。「自分らしく、他人を認めあい仲良く」をテーマに、セルフエドケーション（しなやかで、自由で、生きること自体が、知らない間に、学ぶことになっているようなスタイル）の大切さを伝えていきたいとおもっています。詳しくはぜひホームページをごらんください。

●BIRD-KISSメソッドについて
たかがぬり絵、されどぬり絵。子供や家族だけでなく、企業の研修で社員や職員にもぬり絵を実践し、自分と向き合ってもらうところから、いろんな課題に取り組んでもらうというプログラムを実施しています。

自分らしいBIRDとは？というタイトルでぬり絵にトライしてもらい、なぜ自分はその色を選択したのかを徹底して自己追求してもらおう。それをグループなどで共有し、お互いの理解を深める。その上で、社員としての行動指標を考えてゆくというものです。

21世紀を生きる 子供たちのための のBIRD-KISS

Art Communication
Project  Hello!
Kazumi
Otake

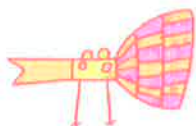
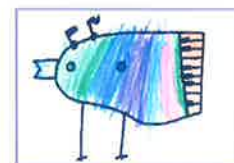
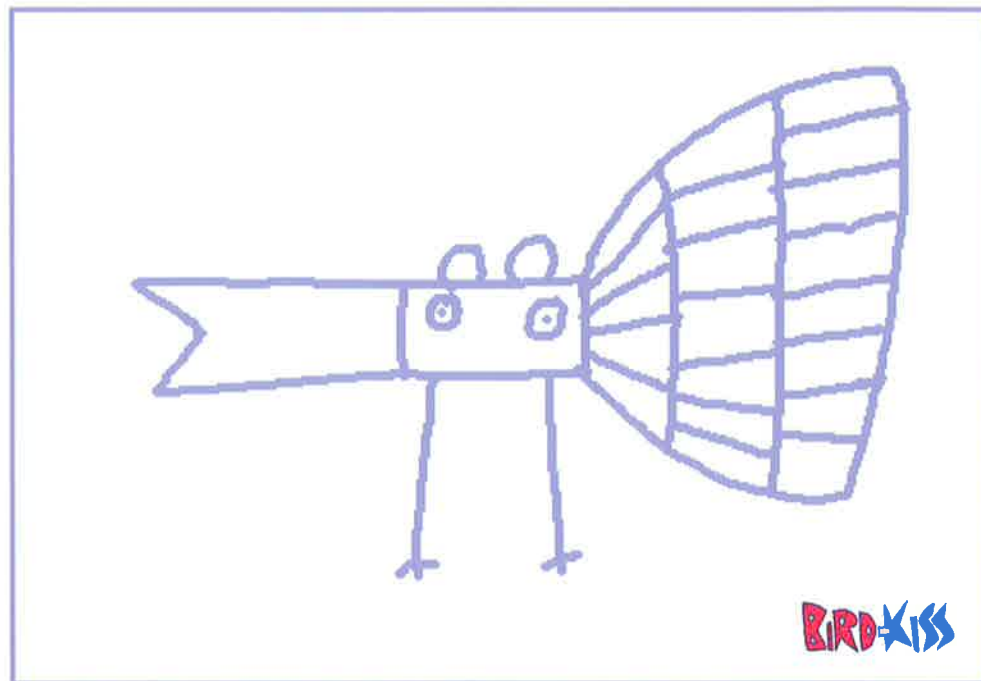


知らないうちに、いろんな経験や知識が生まれますが、ときにそれは、イノベーションにとって障害になります。時代の変化に対応するためにはアンラーニングがラーニングの前に必要です。BIRD-KISSメソッドを、そのきっかけにしたいと考えています。

BIRD-KISS Workshop「WEB用」

ぬり絵とORIGAMIの写真をWEB BIRD美術館へ応募しよう！

TRY!



WEB BIRD美術館へ投稿しよう！

www.bird-kiss.com



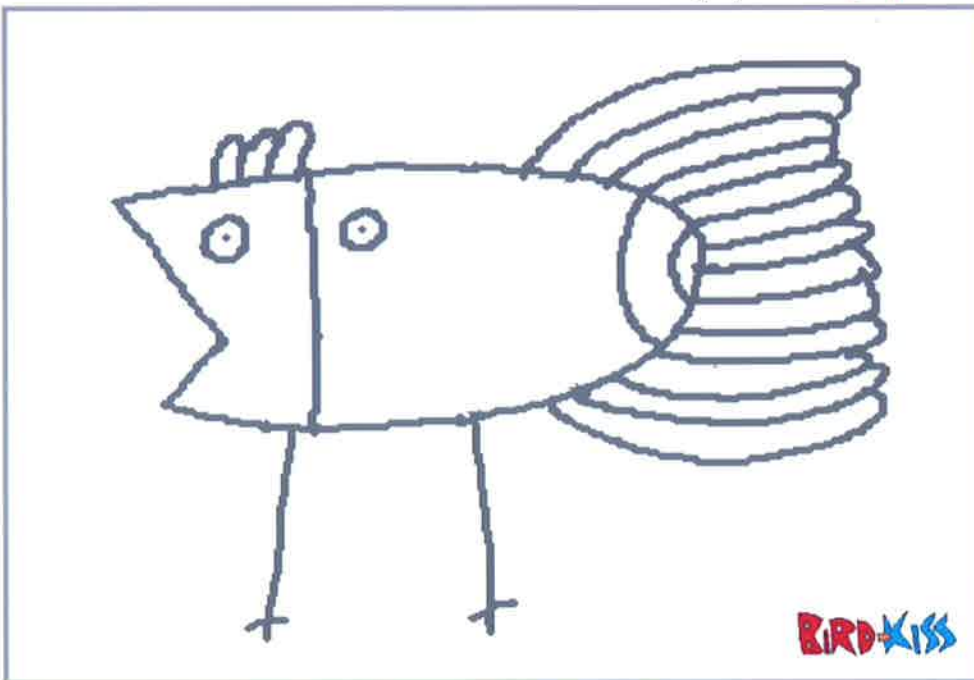


[ORIGAMI]

「BIRD-KISS World」は、「愛と信頼」をコンセプトにした世界をつなぐアート活動です。地球を大切にしたい。愛を語り、信頼でつながる世界でありたい。そんな想いをアートで結びつけていければと考えています。たとえば、モンゴルのゲル（遊牧民）ではBIRD-KISSオリジナル折り紙を使って、現地の子供たちと一緒に紙飛行機を飛ばすという活動など。この折り紙を、もっともっと世界の子供たちの手に届かせたいと思っています。ぜひ、あなたもそんなBIRDを手にしませんか？

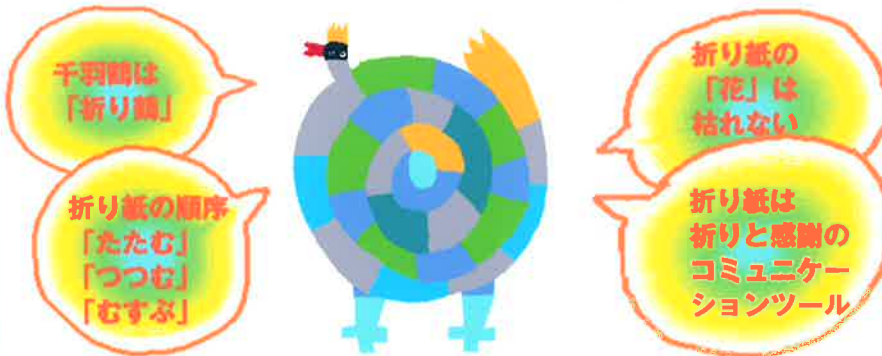
WEB—BIRD美術館へ あなたの作品を飾りませんか？

BIRD-KISSのホームページでは、みんなが参加できる「BIRD美術館」を開設しています。「考え。折り。伝える」。折り紙はあなたとあなたの周りの世界を広げます。ぜひ折り紙作品を投稿してください。また、リーフレット内の「BIRDぬり絵」にもチャレンジしてください。世界中のBIRD仲間といっしょに「平和」や「愛」について考えませんか？なお、「ORIGAMIは」は、ホームページから入手（無料）できます。お友達と折り紙あそびをしてみませんか？



折り紙は「折り」。

「ORIGAMI」は世界共通語になっています。なぜでしょう？愛に満ちた平和な世界は世界中の人が望むところです。BIRDから「折り」を伝えたい。



BIRD「ORIGAMI」は、BIRD-KISSサイトで無料で差し上げています。●www.bird-kiss.comぜひ、私達の取り組みにご参加ください。



IT時代の21世紀は、まさにデジタルの時代です。ITの波は好むと好まざるとに関係なく僕たちそして子供たちの生活になだれこんでいる。そんな時代に「優しさ」「暖かさ」「思いやり」「感動」といったいわばアナログなことがデジタルに変換されたときその思いは、どれだけ失わずに伝えられるのだろうか？ 創作活動の周辺をみてもデジタルツールやソフトが高度になったことで誰もが表現者になれる反面、作り手も表面的にしか理解できなくなってしまうかもしれない。また21世紀は共生の時代でもある。共生の時代とは、地球のあらゆる生き物と共に生きること。21世紀を担ってゆく子供たちには、優しさ、暖かさ、そして感動することの大切さを自分なりの方法で伝えていきたいと思う。

ぼくが生み出す作品はメディアである

僕のビジュアルづくりの特徴は、まず、ひとつのモチーフで、数多くのバリエーションを制作することです。「BIRD」に代表されるように、ある共通のイメージを意識しながらも、ひとつひとつのビジュアルが、表情豊かでそして個性的である事を大切に100点単位で制作しています。また線画をベースに作画し、ぬり絵の手法で制作しているので、ご覧いただいた方にも同じように、好きな色をぬっていただくBIRDワークショップも開催。新たにオリジナルなビジュアルが、100点、150点、200点とどんどん生み出されていく。こうしてひとりひとりが創ったBIRDたちは新しい生を受け、飛び立ちます。単に制作した人とそれを眺めるだけの人という関係ではなく、BIRDを通じて、よりあたたかいつながりを持ちたい。同じメッセージャーとしての「輪」をいっぱい広げていければいいと思います。

21世紀を生きる子供たちのためのBIRD-KISS

Art Communication Project

Kazumi Otake



20年前、那須高原のオルゴール美術館で「BIRD」の個展を開催しました。その際、創作時点から考えていたワークショップ（作品にふれた人が容易に作品作りに参加できる試み）を同時にオープン。個展会場に2台のコンピュータを設置し、「BIRD」の輪郭を自由に取りだし、自分の好きな色に彩色する。そうして仕上がったオリジナル「BIRD」を個展会場の壁に貼るというもの。基本のアウトラインをベースにしているため、参加した人が僕の作品に親近感を仲間意識を感じてもらいやすくていい。そうして、約20,000人の来場者、そしてワークショップに600人に参加して頂いた。僕の作品「BIRD」約100羽に参加者の600羽が1ヶ月の間にどんどん増えていきました。年齢・性別そして国籍を超えて、本当にいろいろな人の個性的な「BIRD」が生まれました。

僕の作品と来場者の作品。みなさん、自分の作品のほうがいいと大喜びでした。(笑)

那須オオシマフォーラム BIRDステーション

那須高原での個展を契機に、那須オオシマフォーラムとのコラボでBIRD美術館を開設。のちにBIRDステーションとして、ワークショップが体験できるコミュニティ広場としてリニューアルしました。訪れた方の心を自然でいいし、楽しみながらリラックスできる。旅する駅の待合室というのがコンセプトです。

小美玉市四季文化館 みの〜れ・BIRD美術館

2001年1月より、茨城・美野里町の「文化センター建設プロジェクト」においてアートプロデュースを担当しました。文化センターが建つ場所は、豊かな森を再生し、自然に彩られた美野里のイメージを高める場です。そこで森の象徴である「BIRD」を通じて、住民のみなさんと共に文化センターを創り上げていこうというプロジェクトでした。メインビジュアルである「BIRD」を通して子供たちの感性を空にして親子の共生を創造する場を提供していく参加型アートを推進し、15年目を迎えます。

進学プラザグループの マスコットBIRD

20周年を契機に、ロゴマークの制作を担当。と同時にBIRDをマスコットとしてコラボしました。予備校教育に新しい価値を提供したいという思いに応える形で参加。先生と生徒、保護者、そして地域とのコミュニケーションとしてなじんでいます。



Self education

セルフ・エドケーションとは、しなやかで、自由で、生きること自体が、知らない間に、学ぶことになっているような、最も明るいトーンのエドケーションである。

bird-kiss.com



脱
平均的な大人

自らが自らの力で学ぶ

アイデンティティーズ

受け手と送り手

違う は 同じ

まなざしの共有

フラットなヒエラルギー



BIRD
グッズ

SUZURIの通販サイトでお求めいただけます。 <https://suzuri.jp/BIRD-KISS/>



- トートバック
- サコッシュ
- スマホケース
- ステッカー
- タオルハンカチなど



好きなBIRDを選んで着て下さい。BIRD Tシャツ、種類・サイズ豊富にラインナップ。

Art Potluck

BIRD-KISS 「同じは違う。」

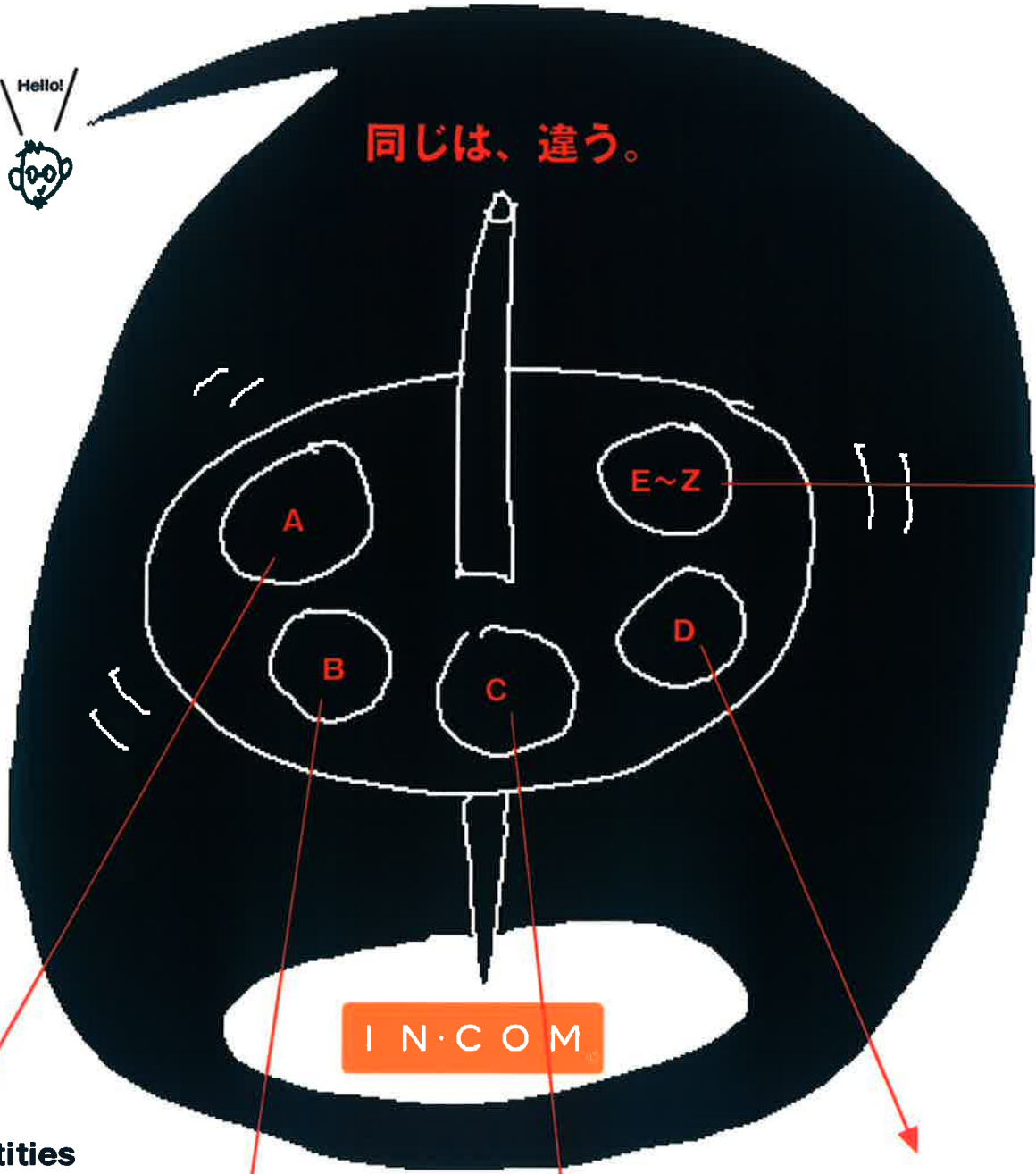








同じは、違う。



NEXT

identities
visual thinking
contact
field works
process
paratexts

context
child media
art literacy
thinking<fantasy
collaboration
new minority

self education
changing
deep fantasia
autopoiesis
traï and error
political collectives

without objects
artless
jamming
threads & traces
mindmap
ambidextrous thinking

identities

絶対的な「私探し」ではなく、
多様な関係の中の
「私」へ「私」が帰属する性、民族、
関係する他者への着視点へ

visual thinking

ビジュアルシンキングのコアは、
見る、描く、想像するの3つの行為。
さらに
表現する、評価する、繰り返すという
フィードバックループに組み込む。

contact

人と人、
人とモノとのコンタクトをきっかけに
発展させていく。
他者と出会うことによって
本質的な位差を照らし出す。

field works

原則は「点数ではなく」質、
「競争ではなく」共働、
「手段ではなく」目的・プロセス、
「計画ではなく」プログラム・遊び、
「効率ではなく」無駄失敗、
「禁欲ではなく」快楽。

process

プロGRESS。
たえず工事中であり続けることに
本質が高まる。
一人ひとりの試行錯誤に
共感をもつことから
新しい創造性が生まれる

paratexts

1つのメッセージ効果は
主要な本文
「テキスト」のみではない。
補助機能を担う領域
「パラテキスト」の存在が
欠かせない。

context

情報デザインは、「コンテンツ」ではなく「コンテクスト」のデザインである。

文脈こそが、

自覚的な情報デザイナーの目覚めである。

child media

現在の教育は、「子どもというメディア」という形式へと子どもたちを変容し適合させていくプロセスである。

ゆえに、オートポイエーシス（生命の有機構成）な教育から学ぶことが大切。

脱資本主義社会的教育の提案。

art literacy

誰にでも才能がある。

芸術を通して、

学生一人ひとりがそれをわかること。

そこから

なりたい自分になろうとすること。

thinking<fantasy

考えるということは、

夢を見る、想像する、理論づける、

期待するという活動を含む。

考えるといわずファンタジーと呼ぼう。

collaboration

現場には交わると同時に断絶や葛藤がある。

自己コントロールできないからこそ、

さまざまな価値（多元主義）を

受け入れられる。

new minority

自力で立ち、

他力との関係性の中で

折り合いをつけてゆくネゴシエーション。

マイノリティの自覚から

保証なき主体を考える。

self education

自分の周りにいる
すべての人から学ぶ（盗む）。
すべての人／モノが師匠。
中心になる人物は存在せず、
機会均等から生み出される集団、
共同への取り組みで生み出される
アートへのトライアル。

changing

平等主義は、固定的な理想主義ではない。
反対にダイナミックで、目的や理想が高い。
それゆえ、各自が責任を持って、
発言し行動しなければ動かない。
平等とは、維持される状態ではなく、
作り出されるもの。

deep fantasia

考えることを、
頭を中心にした狭い枠組みでとらえない。
意識の下にあるもの、
ざわめき、怒り、夢、ユーモア、
エロスなどを含んだ潜在するところを
大切にシンキングする。

autopoiesis

現場には、交わりがあると同時に
断絶や葛藤がある。
その場の力と流れが教えることは多い。
自己コントロールできない未完なもの、
完全ではない状態の中にこそ、
さまざまな価値を受け入れる可能性がある

trai and error

私は天才じゃない、
有能じゃないし、アーティストでもない。
その息苦しさからの解放を求めて調整する、
交渉する、プレゼンする失敗する。
そんな一人ひとりの「試行錯誤」を
共感支持することが新しい創造性である。

political collectives

価値とは、すべてコンテクスト
（文脈、背景）によって決まる。
PCの対象に入るほど、静的ではなく、
定義が絶えずずれていく。
日常と非日常、孤独と集団、政治と非政治、
美と美ではないものの境界線で生きる時代。

without objects

21世紀はアートが
なくなるかもしれない。
なぜなら、
人々が高次の意識と感情をもち、
コミュニケーションを
とり始めるからだ。
すでに始まっている。

artless

なんの負のイメージを持たないで、
新しいマイノリティで活動する。
自他を育てるとはどういうことなのか、
目に見えない心理をもち
外へ向かって、
コラボレーションしていく。

jamming

物語と日常生活を結び、
愉快地にドロージングする。
本は読むための物ではなく、
今日の我々にとって
関わる具体的なものであって、
芸術作品に転換され、
社会的に使われるものである。

threads & traces

個々の生まれた動きを紡ぐ、紡ぐ。
他者との関係を結び、
いかにコミュニケーションを成立させるか。
言葉を費やすより皮膚感覚での
コミュニケーションの方が
社会の価値を変える。

mindmap

大きなスケッチブックの中央から放
射状に思いついた
アイデアの連続を描き込んでいく。
思考の枠組みを可視化することで
自らの想像力を
ネットワーク状に組織化する。

ambidextrous thinking

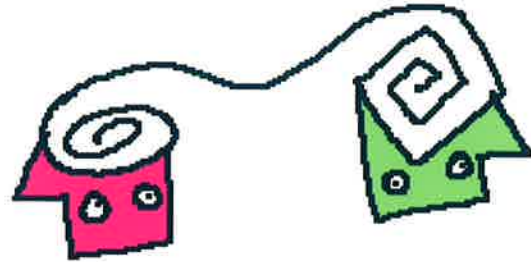
両脳思考。論理的、
デジタル思考の左脳と情感的、
アナログ思考の右脳。
創造性とは、この2つの脳の双方が
活性され発揮される。
身体全体で思考するセンスやスキルが
デジタル社会の生き残り策。



学校広報をベースに「行政と住民」「企業と消費者」や「大人と子供」「親と子」「自然と子供」そして「日本と世界」「地球と宇宙」の関係のコミュニケーションへ・・・情報の共有化はもちろん、視点（価値観）の共有化をめざしたコミュニケーションを、創作活動から得た手法を用いてさまざまな分野で提案しています。

●仕事の考え方（1）

自分たちで解決しようとしているが、うまくいかない。時間もない。だったら、プロに任せませんか？プロに任せた、教わった、よくわかった、今度は自分たちでやってみよう---というサイクルソリューション、つまり「セルフソリューション（自己解決）」と「プロソリューション（他者解決）」が行ったり来たり、まるで循環しているように回り、課題を解決に導いてゆく。私たちIN・COMの考える広報コミュニケーション・プロデューサーとしてのスタンスです。どうぞ、お声をかけてください。



●仕事の考え方（2）

「進学希望者から選ばれる」教育機関として生き残っていくためには、学校自身の理念・ドメイン・ビジョンなど、学校の存在の根幹をなすアイデンティティの創造が必要であり、コミュニケーションレベルにおいても、オリジナルなイメージ作り、顔作りへのトライアルが急務です。私の担当したことのある教育機関の方々から、「現在の広報戦略、施策について、どう思うか」という投げかけをされることがままあります。そんな時、いつもこうお答えしています。「この学校は、本当に世の中に必要ですか」と。この本質的なテーマと一緒に考え、突き詰めていくことで、新たな存在価値を発見し、価値づけしていくことができると思っています。

伝え方や、表現からの展開ありきではなく、何を伝えていくのかという、いわゆるアドミッションポリシー作りから始めようということをご提案していきたいのです。その上で、その延長線上にあるクリエイティブ表現への連動、コミュニケーション・スキルの展開といった伝え方の手段の構築についてオリジナリティを大切にしながらプロデュースしていきます。私たちが関与するかぎり、情報は「製品」であり、そこには、当然「品質」があります。品質のよい情報とは、とてもスムーズでストレスのない情報だと考えます。これからの学校広報プロデューサーの役割は、学校の本質をしっかりととらえ、それを整理整頓し、高校生をはじめ、学校を取り巻くコミュニケーション対象に「品質のよい情報」を提供してゆくことだと思っています。

●仕事の考え方 (3)

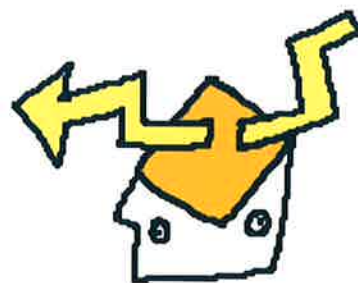
学生募集の広報プラン、新設広報や周年事業をUI (ユニバーサル・アイデンティティ) SI (スクール・アイデンティティ) やVI (ビジュアル・アイデンティティ) の視点でプランニング、さらにはブランディング 広告や、周年事業の募集基金プランなど、幅広く活動させて頂いておりますが、特に学校の情報をただ提供する広告のような直球だけでなく、気づいたターゲットと深いところでコミュニケーションできる、いままでトライアルしてきたインボルブメント広報 (2 way) と平行してアートのもつ特性を生かしたオリジナルな広報戦略を提案しています。アートとは、「あっ、こんな世界知らなかった!」という、なにかニマリとした喜び、未知の世界を覗きただけでなく、五感で感じることができるもの。これからの学校広報は、高校生や社会人などの気持ちに深く訴えることで、学校と結びつけることが最も大切です。進学や入学までの課程に見られるターゲットの現実的な変化に対応して、個人との関係にまで幅を持たせた会話 (情報の送り手と受けてのギブ&テイクの関係を築く) を、双方向コミュニケーションという視点で、幅広くご提案させていただきたいと考えています。さらには、「学校と高校生・社会人」という関係のコミュニケーション軸を「学校と在校生・受講生」「学校と卒業生」「学校と社会」という関係のコミュニケーション提案へコマを進めて、最終ゴールを「ファンづくり」「ブランドづくり」にまでミッションをもったお手伝いをしたいと思っています。

また、学校広報に限らず、「行政と住民」「企業と消費者」や「大人と子供」「親と子」「自然と子供」そして「日本と世界」「地球と宇宙」の関係のコミュニケーションへ・・・情報の共有化はもちろん、視点 (価値観) の共有化をめざしたコミュニケーションを、創作活動から得た手法を用いてさまざまな分野で提案しています。

●仕事の範囲

学校広報を効果的に推進してゆくために様々な課題解決型広報プロジェクトを推進します。

- 募集ブランドを確立するための広報戦略提案
- 学園全体のグランドデザインを軸にした広報提案
- 顔づくりのための提案 (広報表現スタイルの統一・継続)
- 個性を引き出し、積極的な広報を展開していく提案
- 新増設を契機に、学校全体のイメージUPをはかるための提案
- 周年事業を契機とした新たな広報戦略の提案
- 学校広報をベースに、学内の活性化を狙った戦略提案
- 地方の学校ならではの独自の広報戦術の提案
- コミュニケーションをスムーズにするための戦略・戦術の提案 (インボル、2WAYコミュニケーション)
- 高校生をターゲットにした入学案内制作ディレクション
- トータルプランニングを軸としたメディアプランの構築
- ブランド戦略による募集促進策の提案
- UI・SI (VI) をベースにした広報提案
- キャラクターコミュニケーションを軸にした広報提案
- キャンペーン展開を柱にした広報提案
- OBネットワークの構築をねらった募集広報の提案 (OBをこれから輩出していく学校の基盤作り)





Kazumi Otake

IN・COM株式会社 代表取締役社長 大塚 一省
164-0001 東京都中野区中野2-29-15-807
会社 03-6304-8770 携帯 080-5683-7022
BIRD-HP www.bird-kiss.com
事務所-HP www.in-com.jimdo.com
E-mail 0117110911@jcom.home.ne.jp

IN・COM